

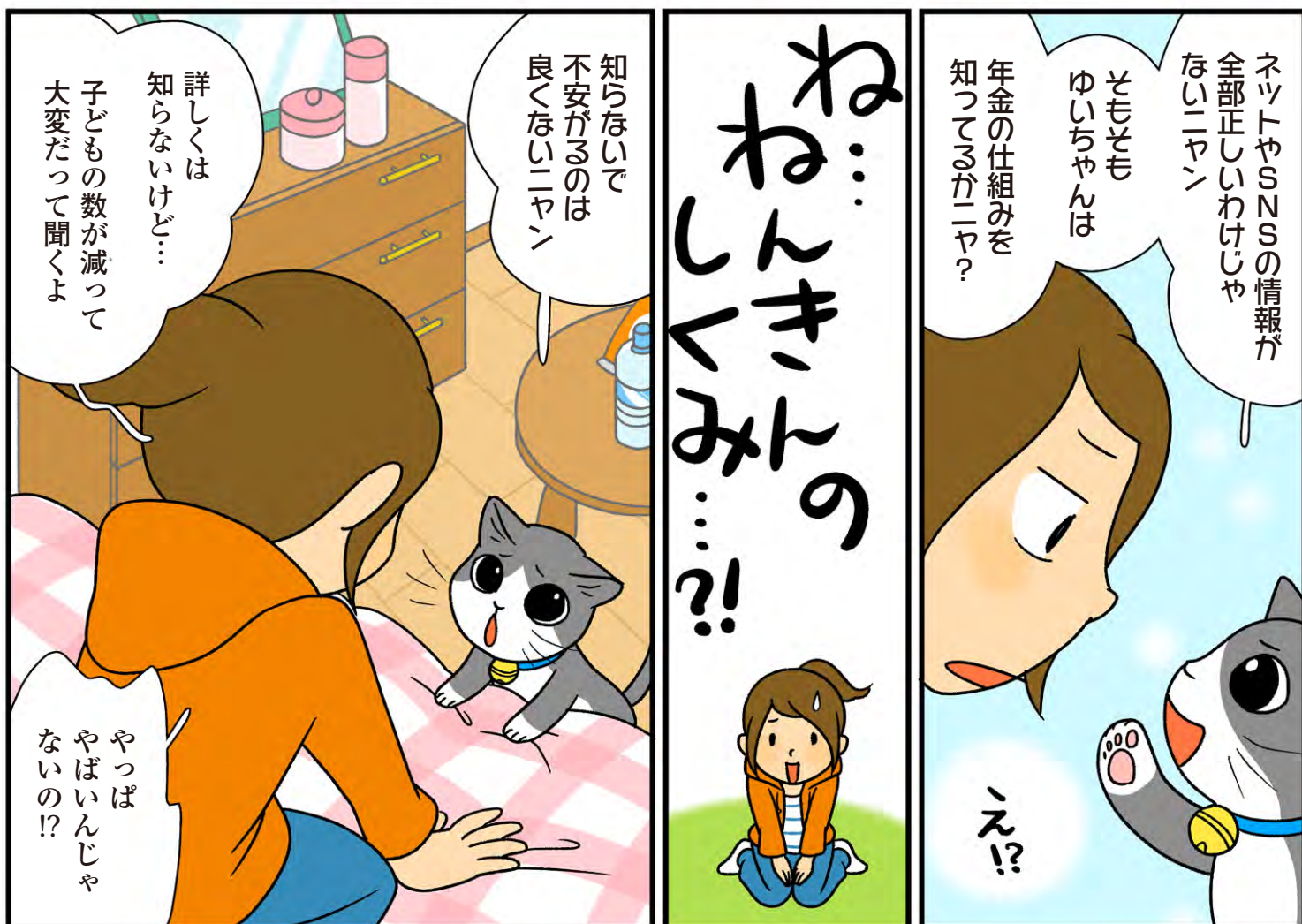
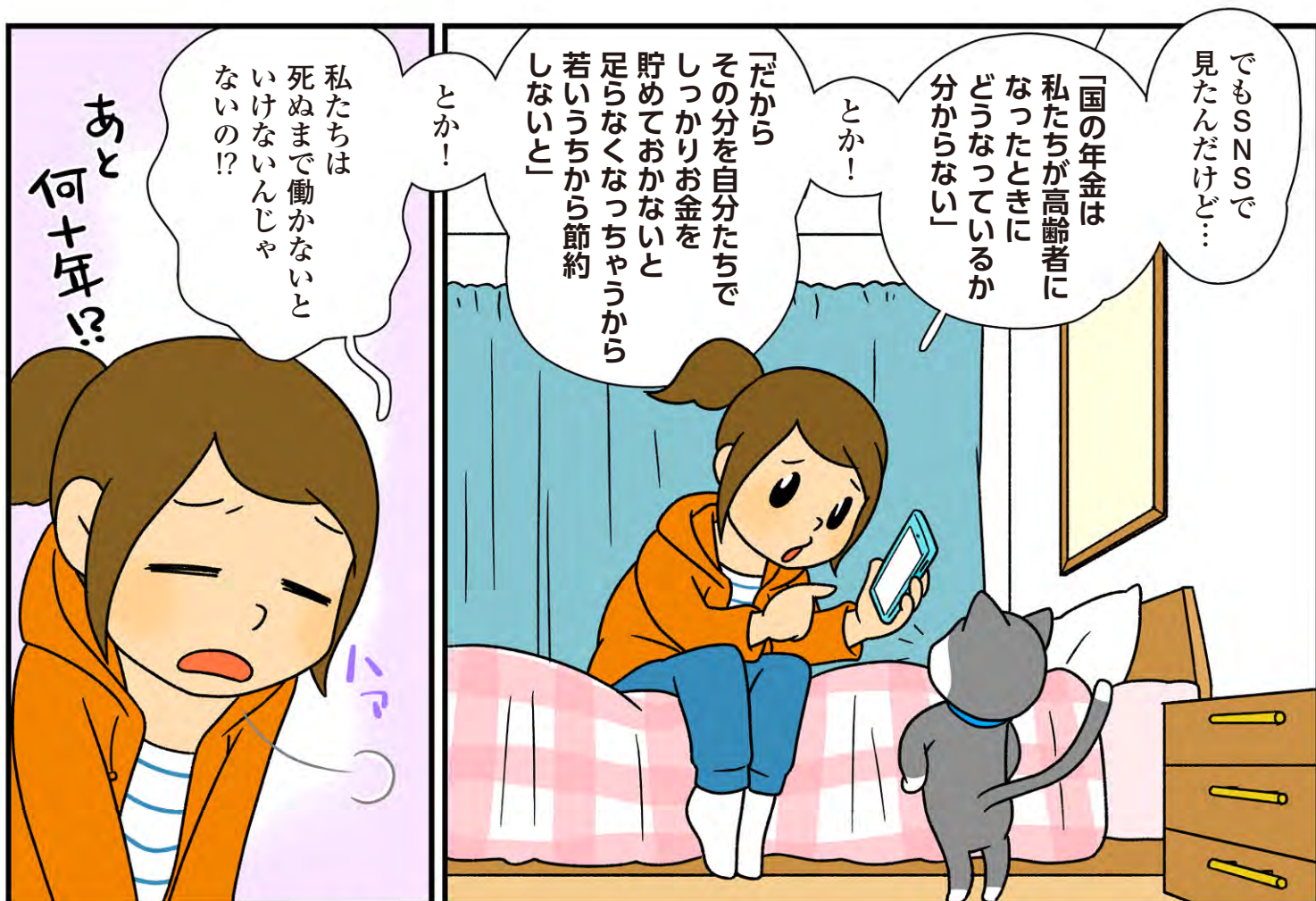


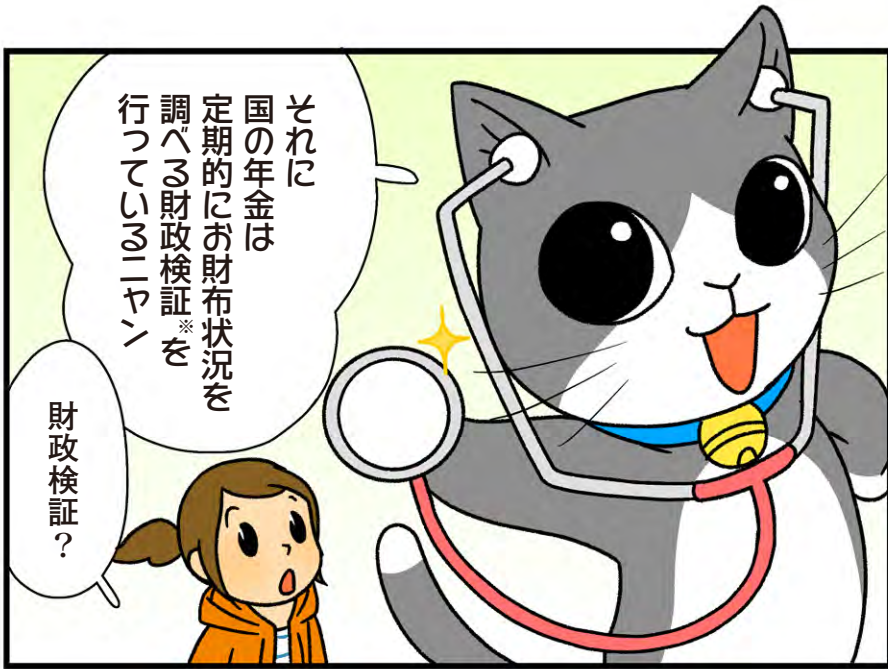
Q.01

老後は、すべて自分で備えなければいけないの？









それに
国の年金は
定期的にお財布状況を
調べる財政検証※を
行っているニヤン

財政検証？



確かに
少子化は年金に
影響するけど
年金がもらえない
なんてことはない
ニヤン



どこが悪い
ところがないか
調べるってこと？

でも
悪いところが
見つかったら
どうするの!?

そのときに
必要な対策もちゃんと
考えてるニヤンよ



いわば
年金の定期健診
みたいなものだ
ニヤンね!

定期健診
って…



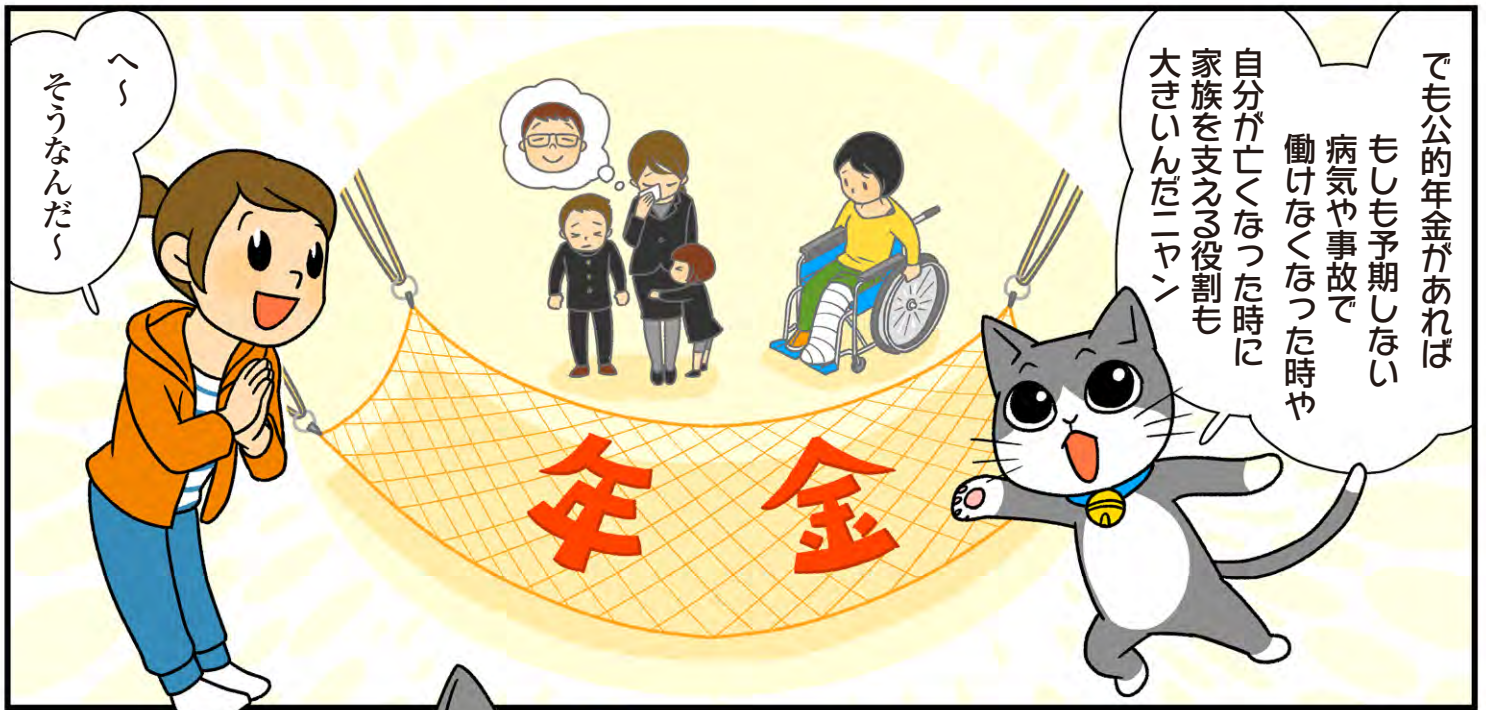
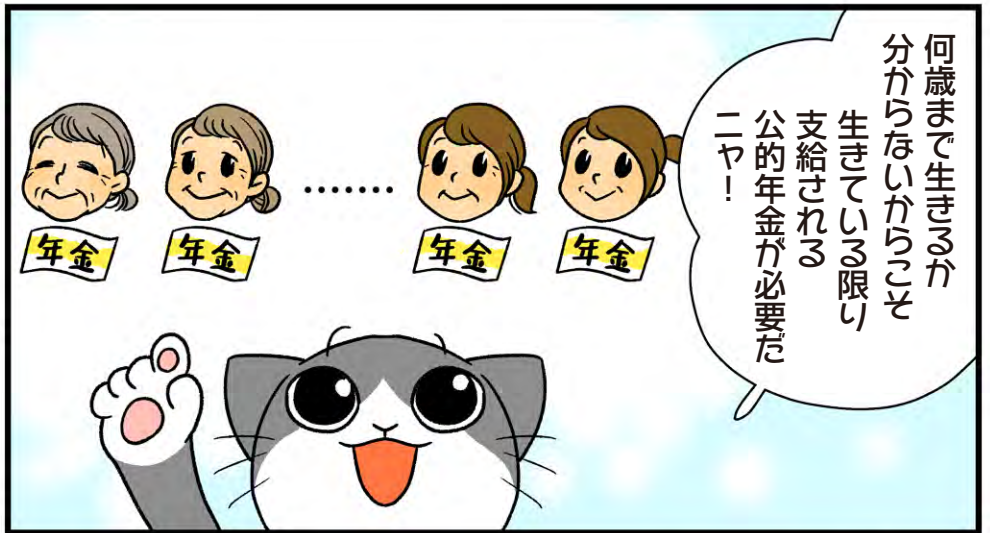
でも年金って
よく分からないし…

いつまで
生きるかも
分からないのに
保険料納める
のものー

って感じ



ゆいちゃんも
年金制度と財政検証の
仕組みが分かれば
ネットの情報に
慌てなくても
よくなるニヤン



A.01

「公的年金」があることをまず意識しよう。「公的年金」なら予測できない将来のリスクに対して、社会全体であらかじめ備えて保障してくれる。

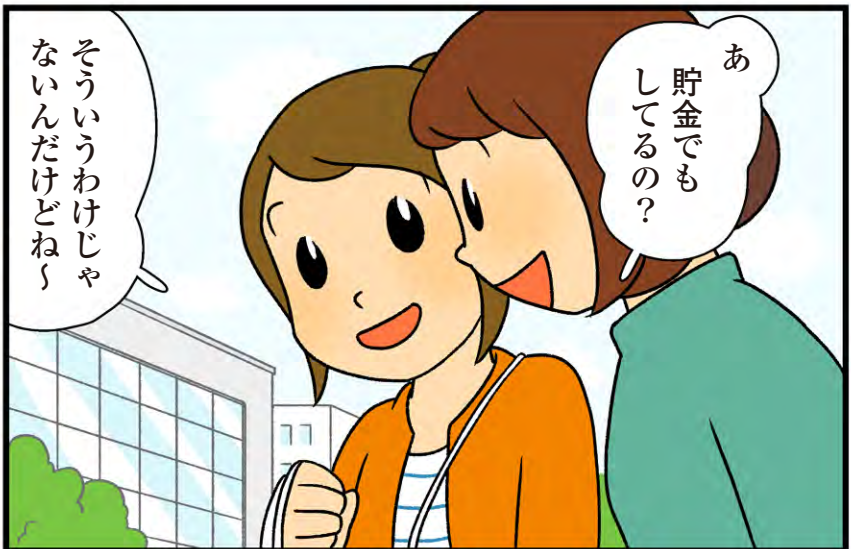
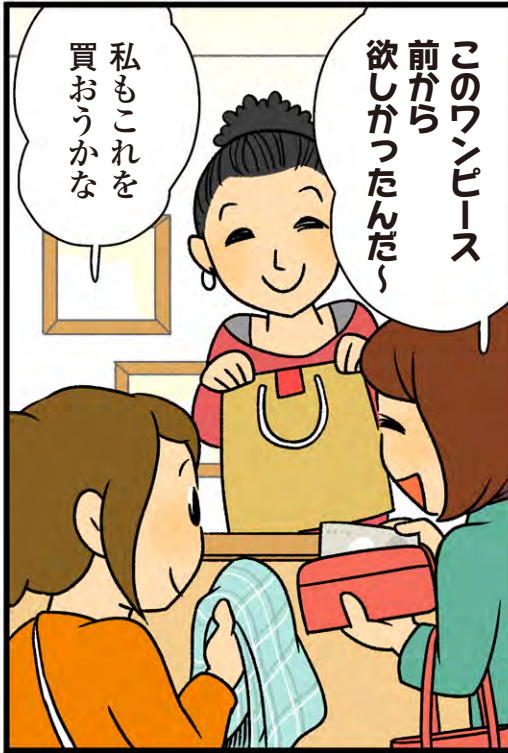


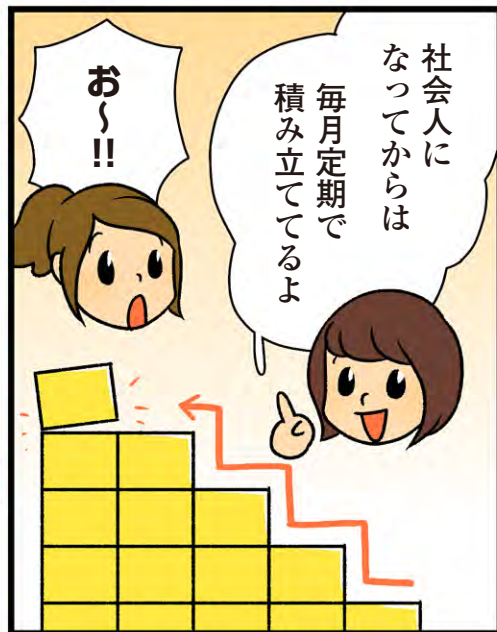
※詳しくはこの話を参照

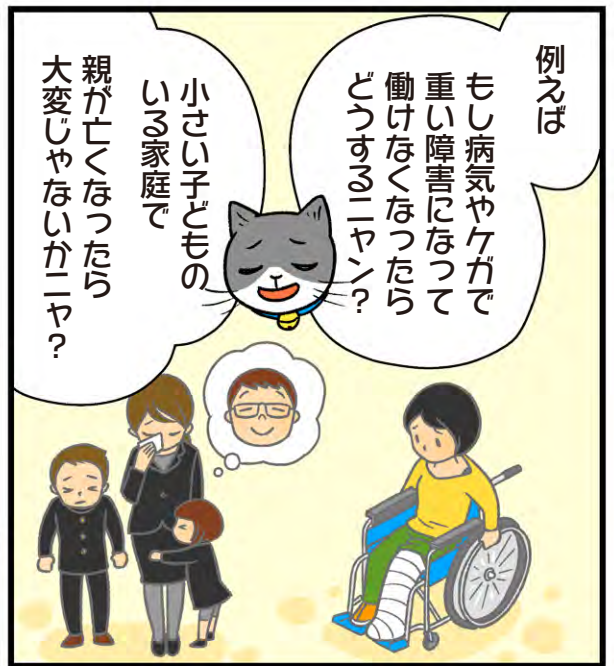


Q.02

年金は老後のためっていうけど、貯金しておけばいいよね？







老齢年金

65歳から亡くなるまで受給できる年金。「年金」というと、この老齢年金のことを指す場合が多い。

公的年金には大きく3つの種類があるニヤン

障害年金

加入中に病気やケガなどで一定の障害を負った場合に受給できる年金。

高齢者だけに支払われるものじゃないニヤン

遺族年金

年金受給者や被保険者が亡くなった場合、その遺族が受給できる年金。

へえー
年金って3種類あるんだね!

※制度の詳細は日本年金機構のホームページを参照





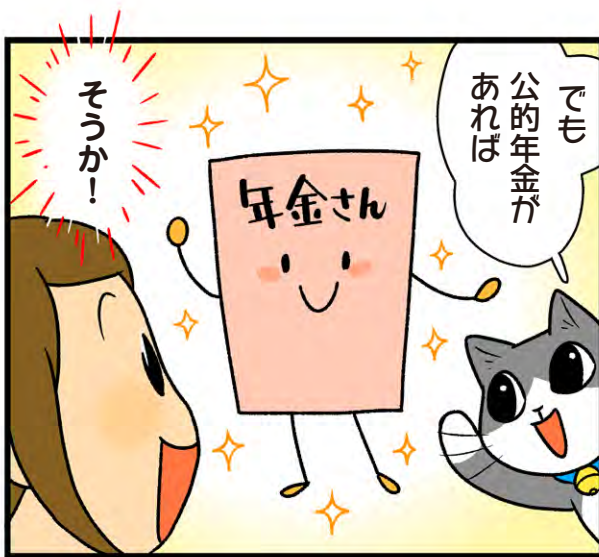
公的年金の主な特徴

- 年齢にかかわらず、生涯にわたって受け取ることができる。
- 賃金や物価の伸びに応じて年金額が改定されるため、経済変化に比較的強い仕組み。
- 重度の障害を負った時や家計の担い手が亡くなった遺族も受給できる。
※受給には一定の要件が必要

なるほど…！
公的年金
ならではの
大きな役割が
あるのね！

これが
公的年金の
特徴ニヤン！





A.02

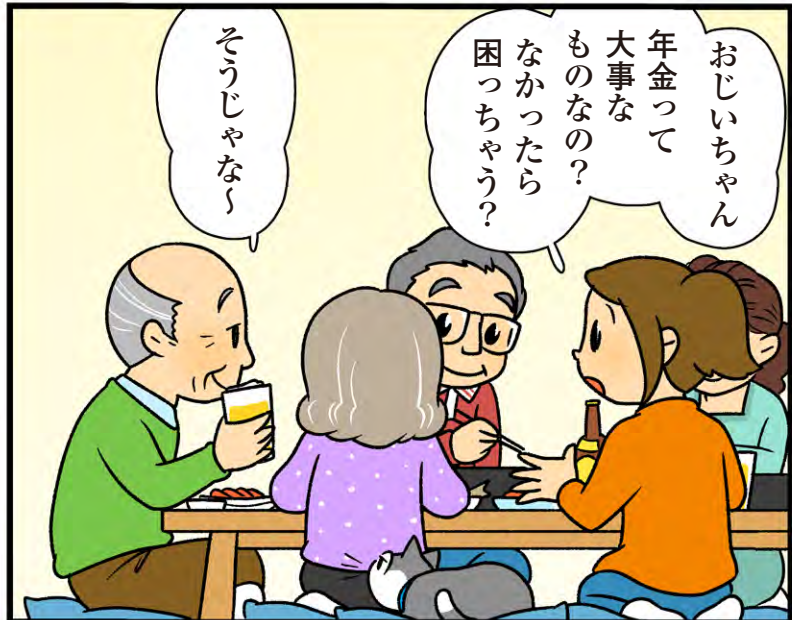
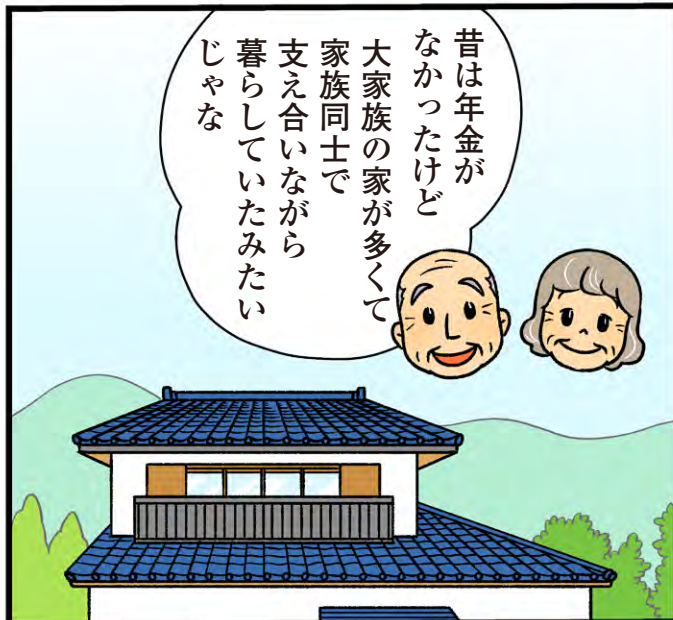
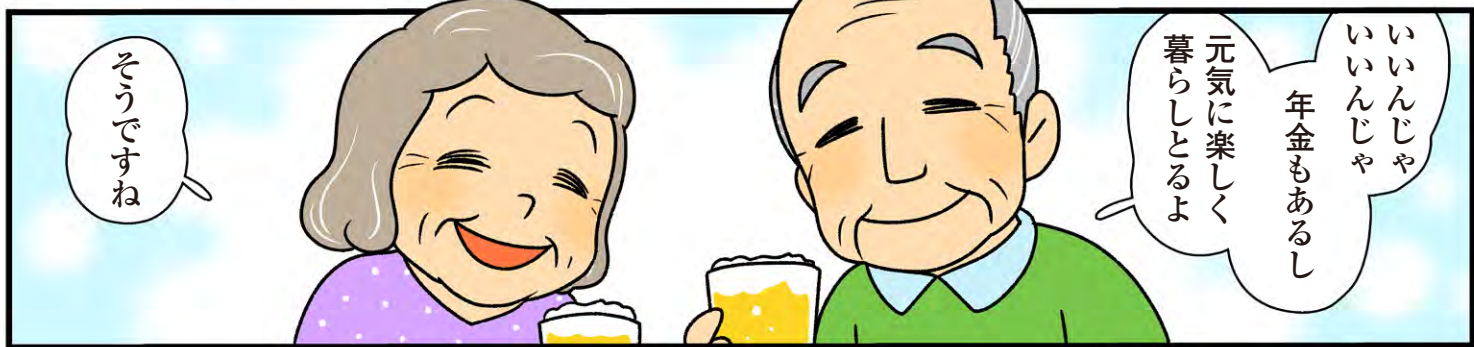
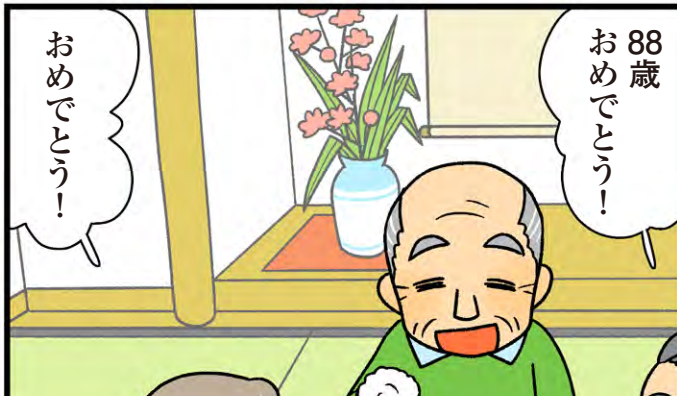
公的年金は預貯金ではなく、リスク（不確実性）に備えるための保険。預貯金だけでは想定外の出来事に対応するのは難しい。

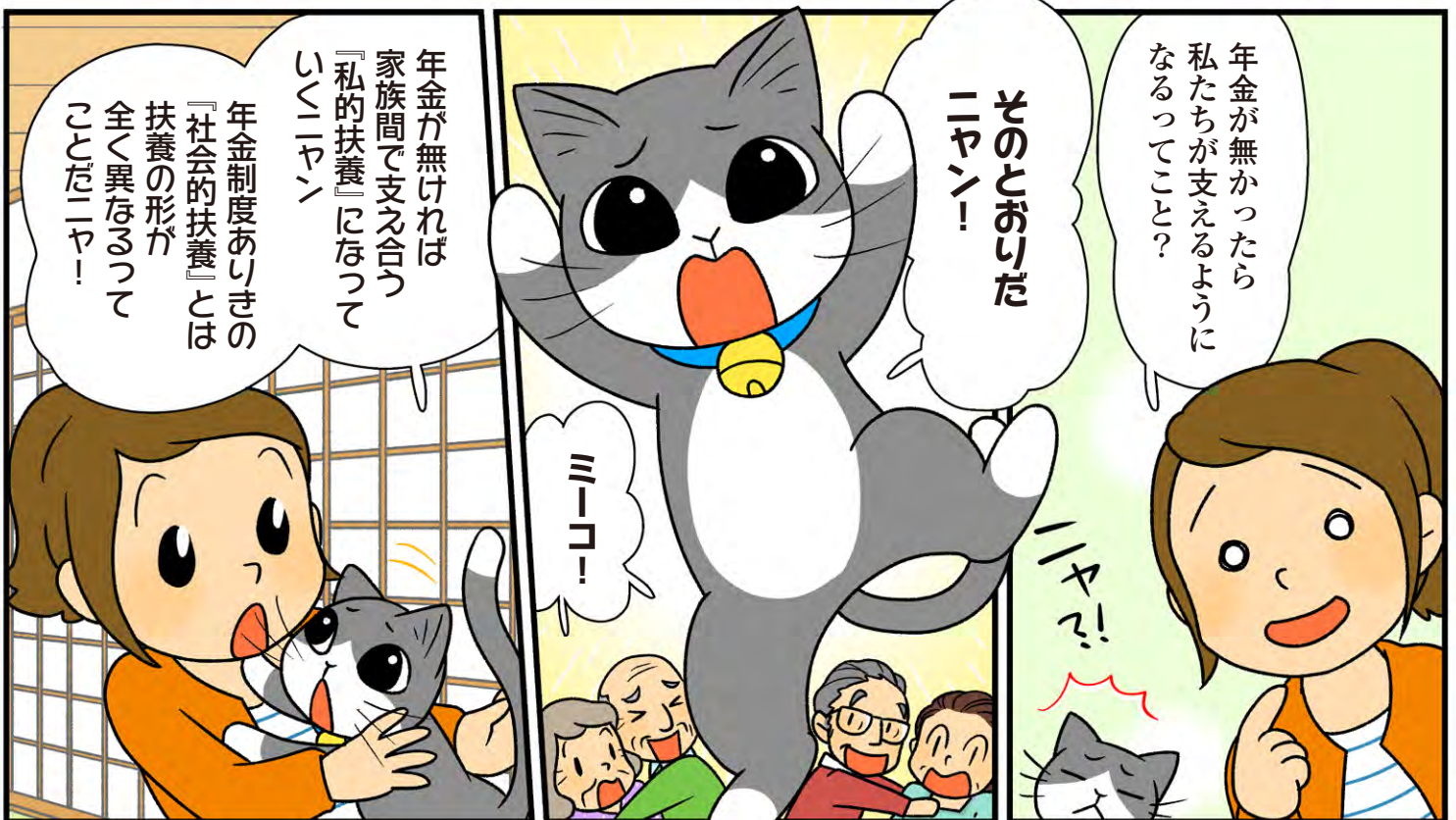


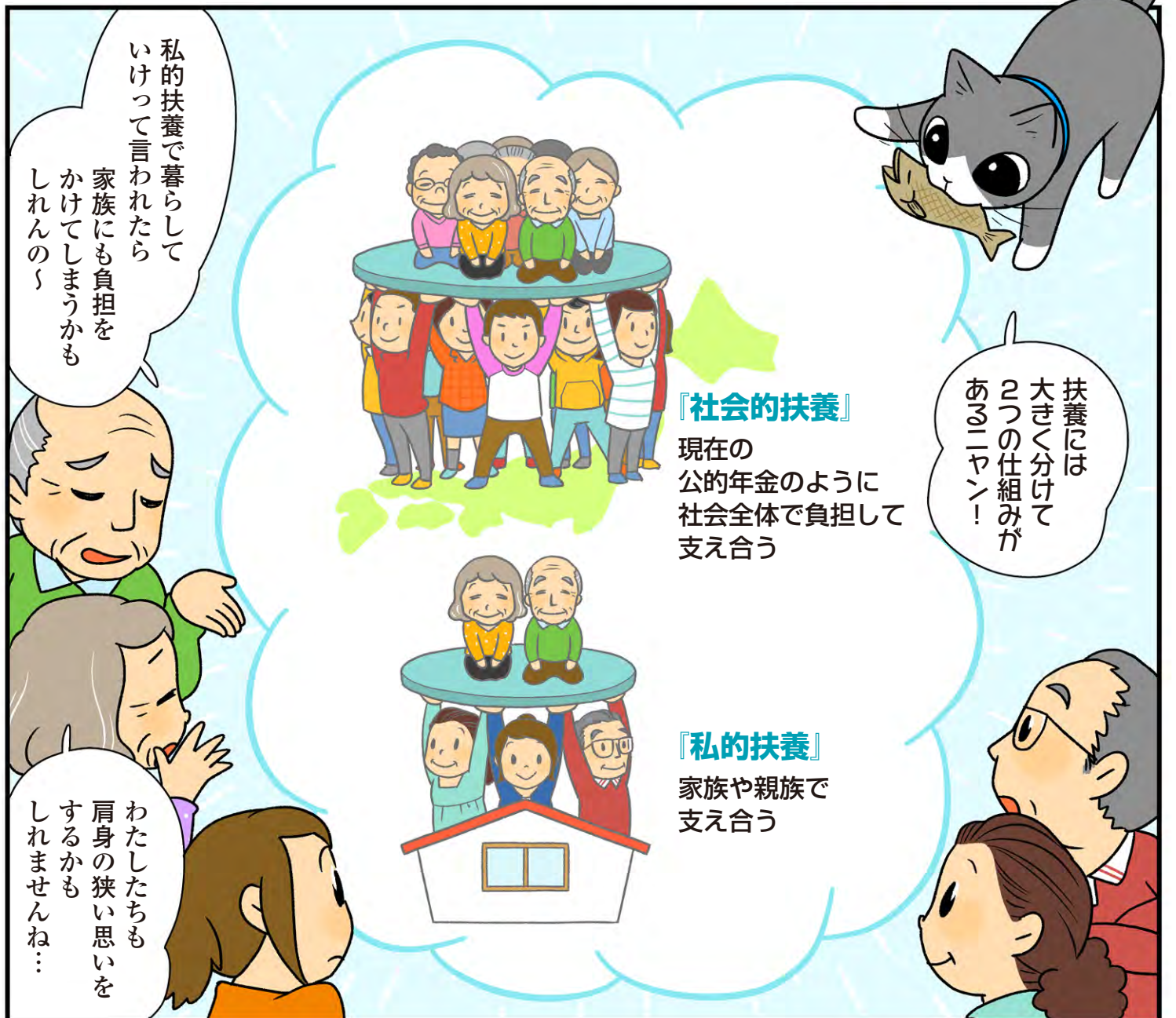
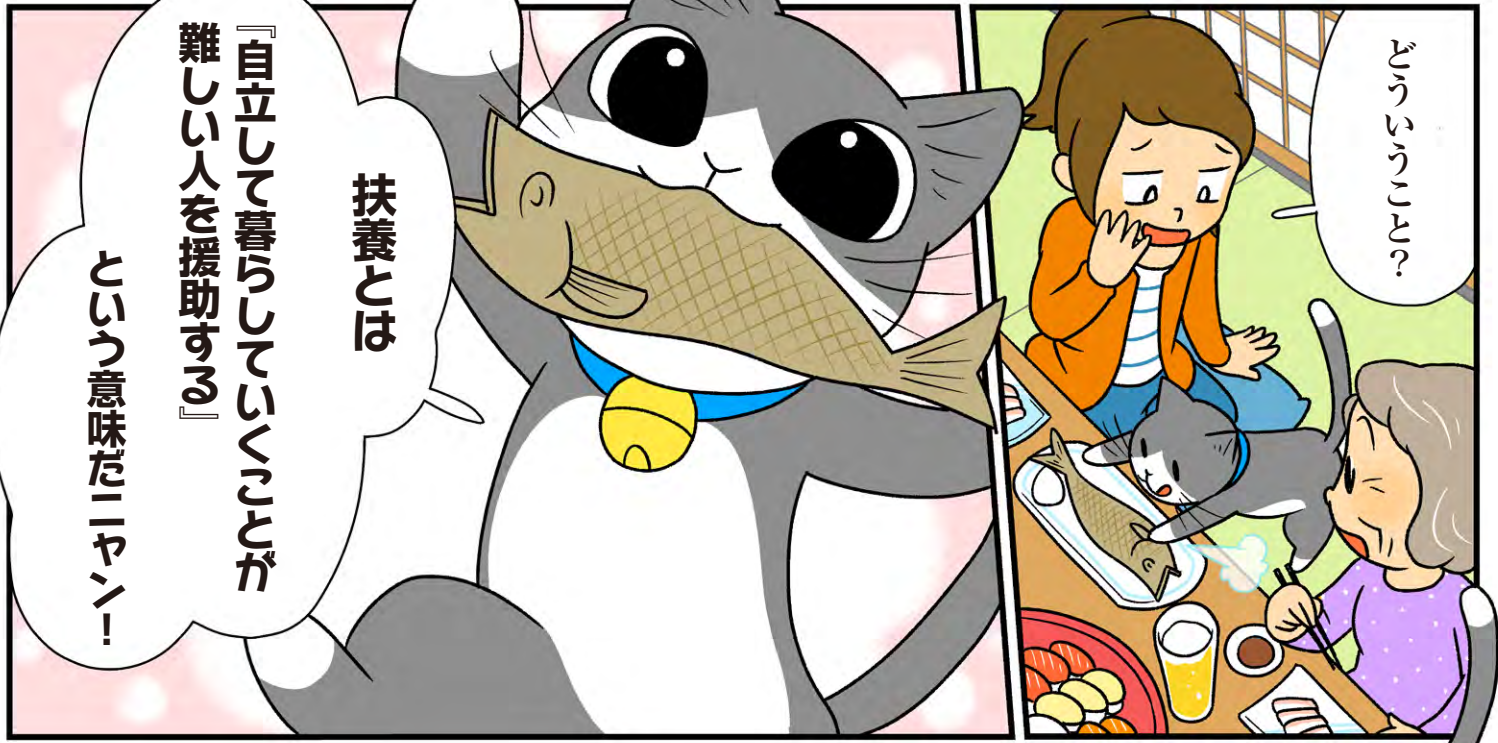


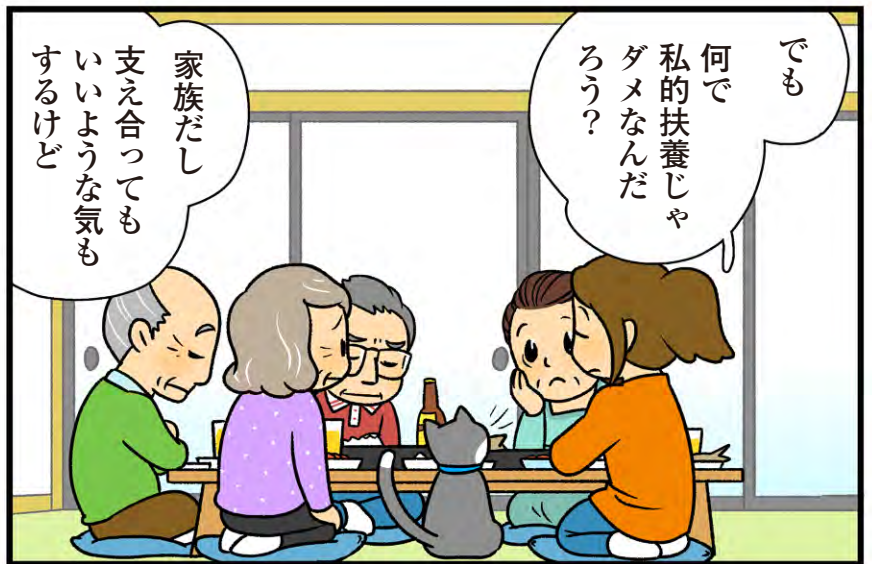
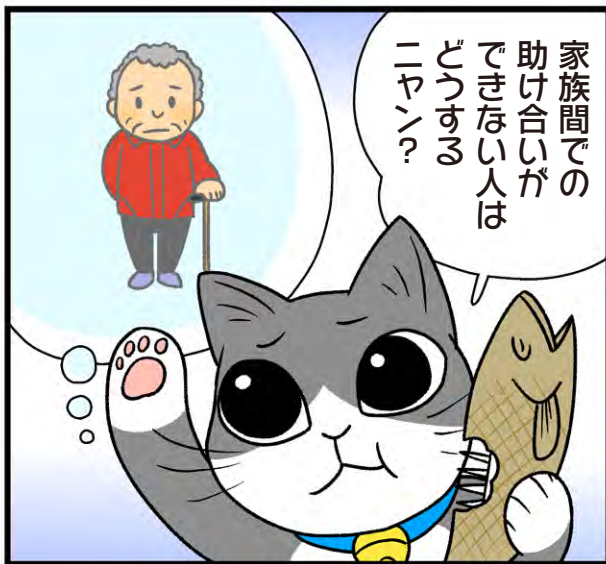
Q.03

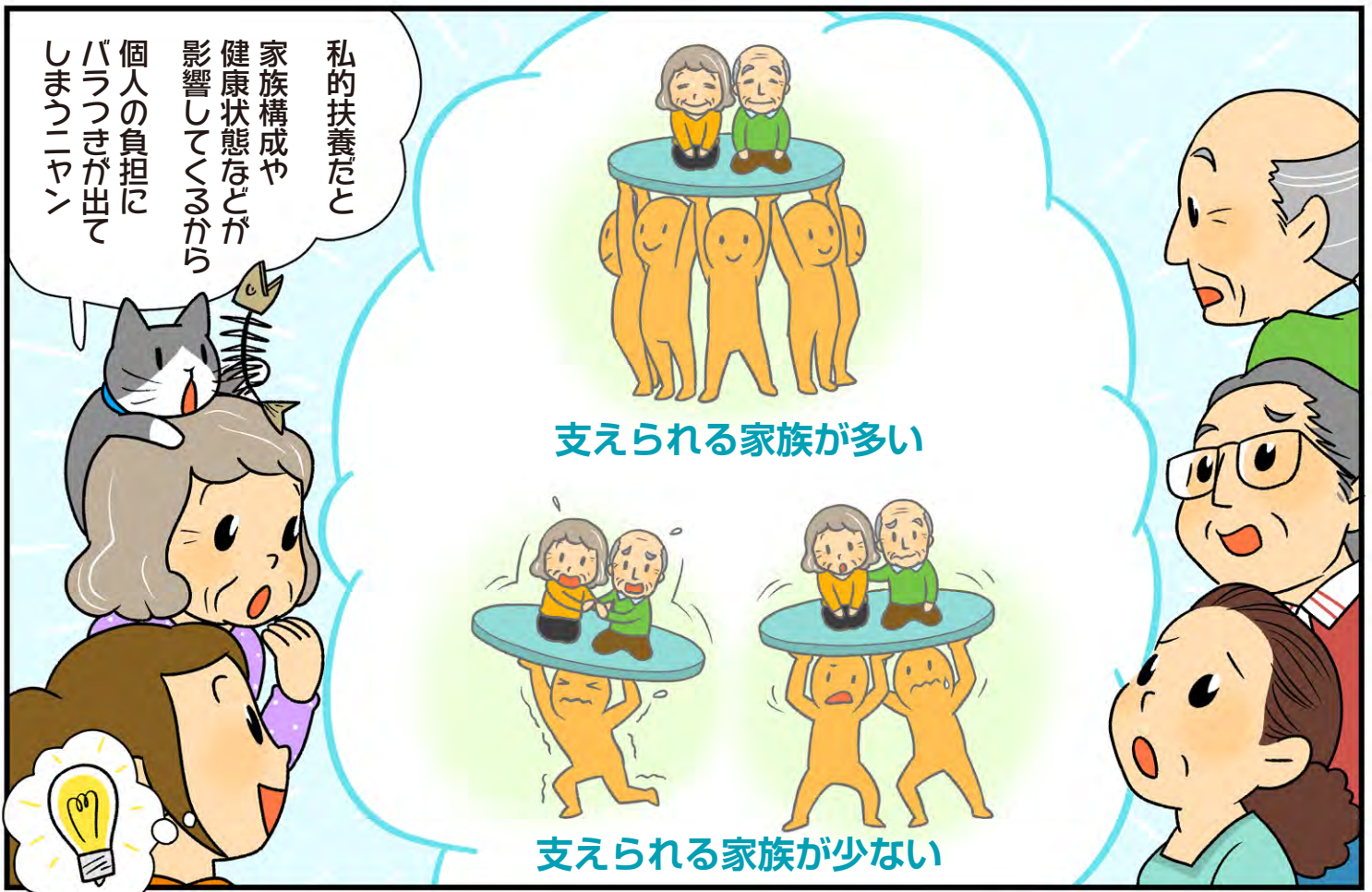
もし年金がなかったら どうなるんだろう？











A.03

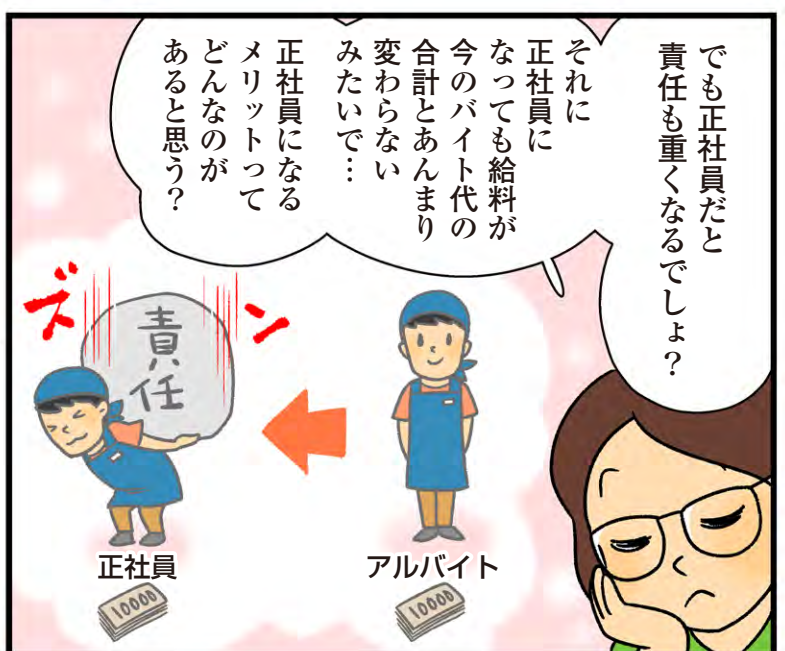
公的年金がなければ、家族構成や健康状態によっては家族にとって大きな負担となる場合がある。

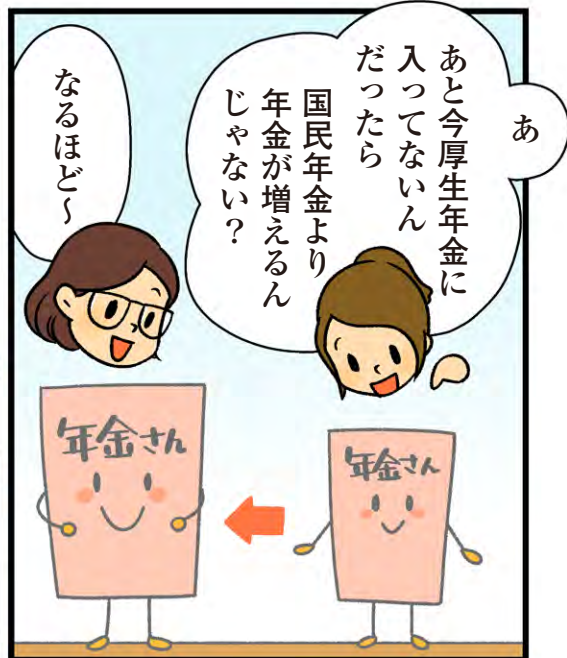




Q.04

公的年金ってどんな制度なんだっけ？





日本の年金制度は
国民年金と厚生年金の
2階建てになってる
ニヤン!

国民年金!
1階部分は
日本に住む
20歳以上の人
全員が加入する

厚生年金!
2階部分は
企業などに
勤務している
人が加入する

2階部分の
厚生年金に加入
している人は
同時に1階部分の
国民年金にも加入
しているから
給付が厚く
なるんだニヤ!

厚生年金

国民年金 (基礎年金)

1階部分

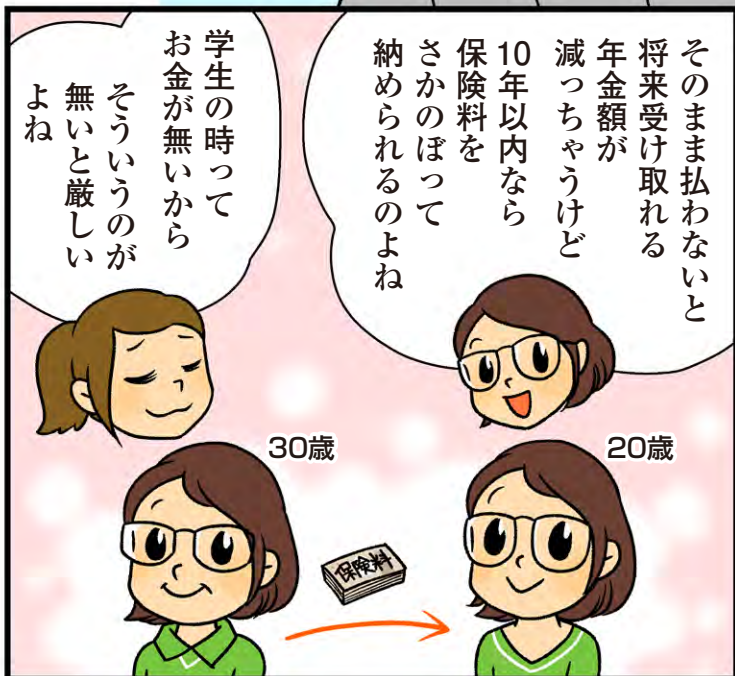
2階部分

そう
そう

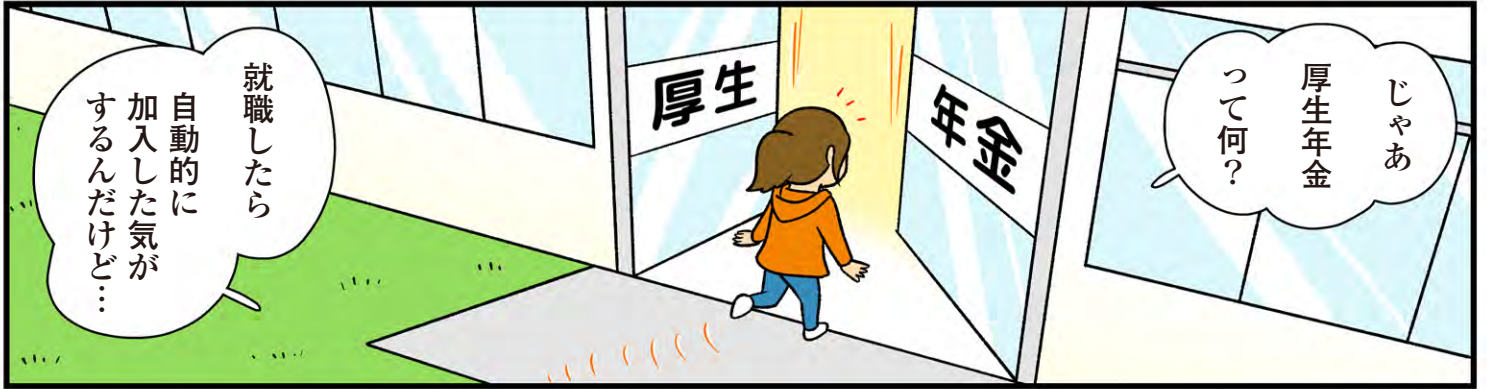
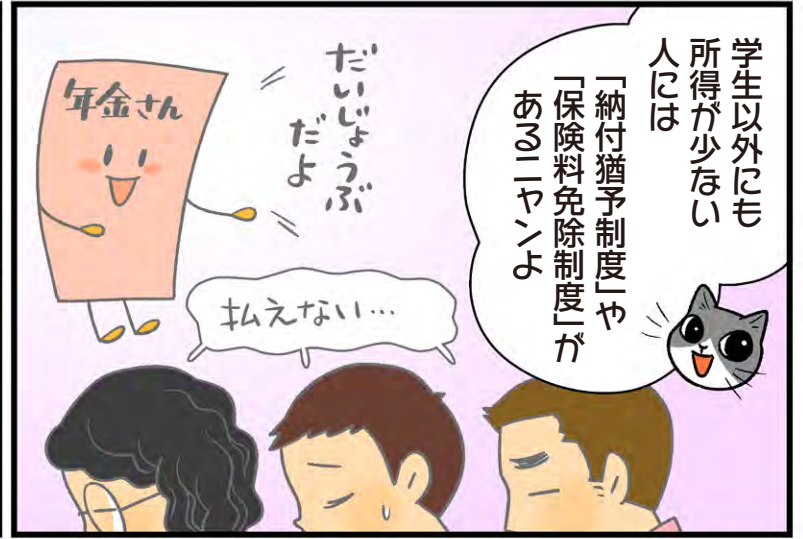
自営業者、学生など

公務員、会社員など

専業主婦(夫)など
(会社員などの配偶者)



※免除や納付猶予には一定の要件があります。詳しくは、日本年金機構のホームページを参照



厚生年金

企業などに勤務している
人が対象

勤務時間等の要件を満たせば
自動的に加入(正社員に限らない)

保険料は賃金に対する定率(18.3%)
国民年金(基礎年金)分も含まれる
(保険料の半分は会社が負担)

厚生年金の
保険料の半額は
会社が負担して
いるニヤン

厚生年金って
毎月の賃金に対して
保険料率が
決まってるんだね





給付 = 厚生年金 (賃金に比例) + 基礎年金 (定額)

給付

厚生年金 (賃金に比例)

基礎年金 (定額)

月収 A/2 月収 A

保険料 = 賃金に比例

保険料

月収 A/2 月収 A

例

例えば賃金が
半分になると
保険料は
半分になるけど
受け取る
年金額は
半分よりも
多くなる
ニヤン



それに
正社員じゃなくても
条件によっては
厚生年金に
加入できるから
どういう働き方を
したいかも含めて
考えてみるこ
うニヤ!



厚生年金は現役時代の
賃金が低い人に
配慮がある仕組みに
なってるって
こと?

そうだニヤン
賃金が低い人でも
年金額が下がり
すぎないように
みんなを支えている
ニヤン
これを
所得再分配
というニヤ!



厚生年金に入れることも
ひとつのメリットだし
これを機に働き方を
変えてみるのも
いいんじゃないって
アドバイスして
みようかな!

がんばらって
言っておいて!



国民年金より
2階部分が
増える分
もらえる年金も
増えるし

その方が
いいと
思うニヤ



収入が
少なくても
厚生年金は
できるだけ
入った方が
いいのかな?

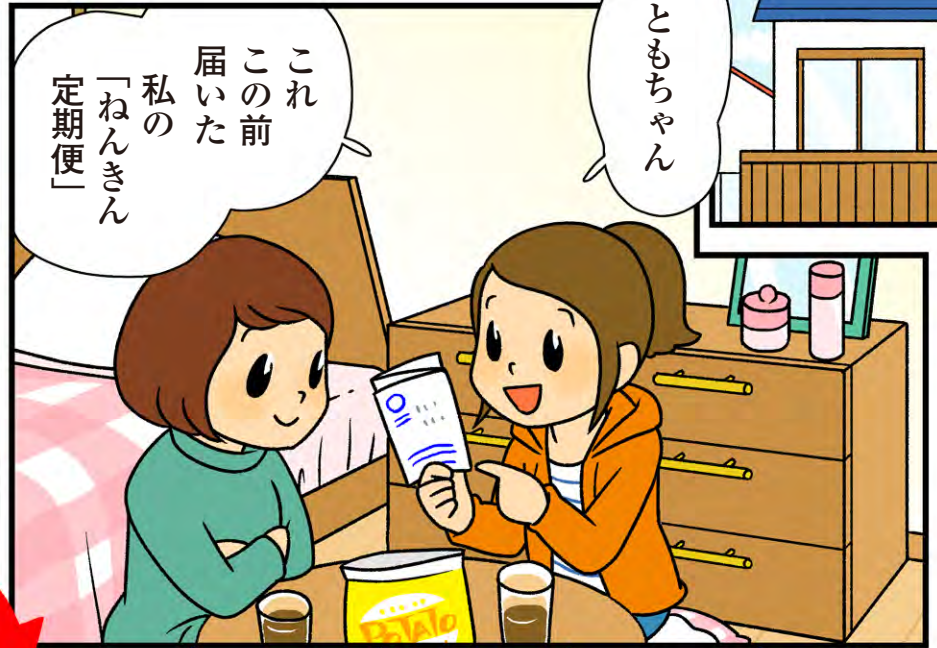
A.04 公的年金は「2階建て」。「1階」の国民年金(基礎年金)は納付した期間に応じた一定額を受け取る。会社員や公務員は、現役時代の賃金に比例した「2階」の厚生年金も受け取る。





Q.05

払った保険料はどう使われているの？



3. これまでの加入実績に応じた年金額

(1) 老齢基礎年金	〇〇〇〇〇〇 円
(2) 老齢厚生年金	□□□□□□ 円
	○ 円
	○ 円
(1) と (2) の合計	△△△△△△ 円



自分が納付した
保険料をそのまま貯めて

その積み立てから
将来の年金を受け取る
わけではないニヤンよ

年金は
納めた保険料に
応じた額を受け取れる
仕組みだニヤン！

なんで？

年金って
貯金みたいに
老後のために
積み立てておくもの
じゃないの？

積立方式

年金の財源を
準備する方法は
大きく分けて
2つあるニヤン！

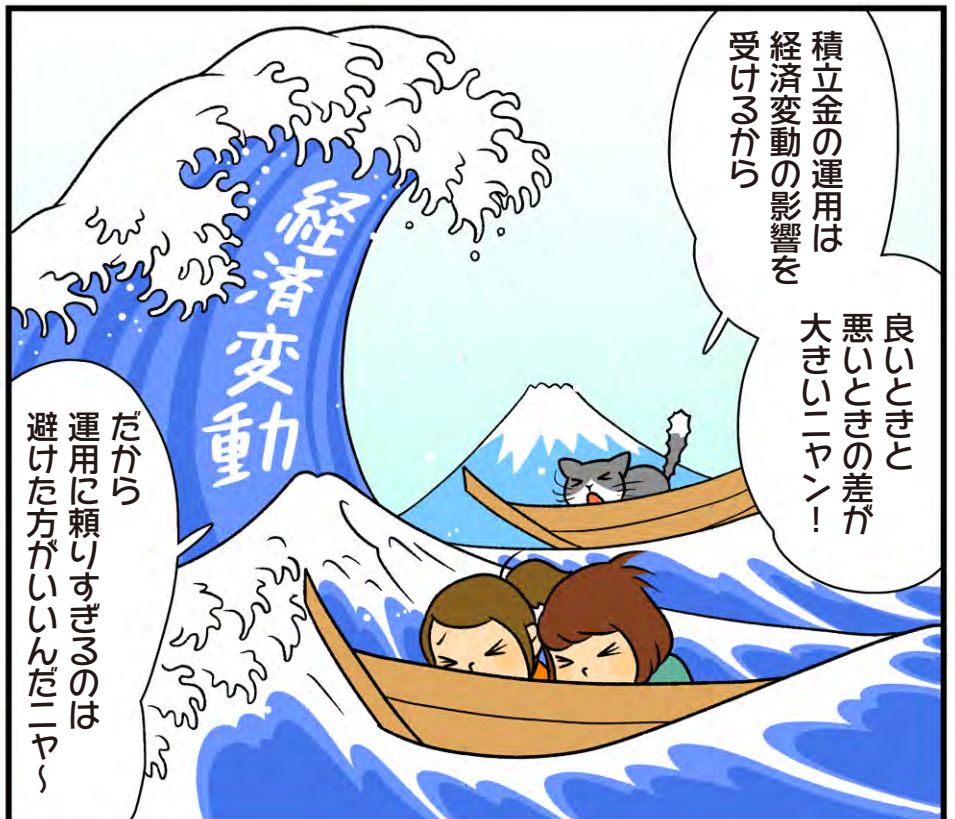
日本の公的年金は
この『賦課方式』を
採用している
ニヤンよ

現役時代に払った保険料を積み立て、
老後にそのお金を受け取る仕組み。

賦課方式

なんで
積み立て
方式
じゃなくて
賦課方式
なの？

今の現役世代が払っている保険料は
今の年金受給者に給付される仕組み。
今の現役世代が年金を受け取るとき、
そのお金を払うのはもっと下の世代になる。





賦課方式は
その時の賃金が
保険料の基に
なっているから

その時の
現役世代の
生活水準に応じた
年金を受け取る
ことができるニヤ

賦課方式の特徴

- 景気変動に強いため、年金の価値が変わりにくい
- そのときの現役世代の賃金の一定割合が財源になっているため、急激なインフレがあっても、現役世代の賃金に応じた年金を受け取ることが可能

景気

ふか

年金たん

年金たん

インフレ

賦課方式なら
インフレがあっても
年金による生活を
安定させやすいニヤン

そうなんだ



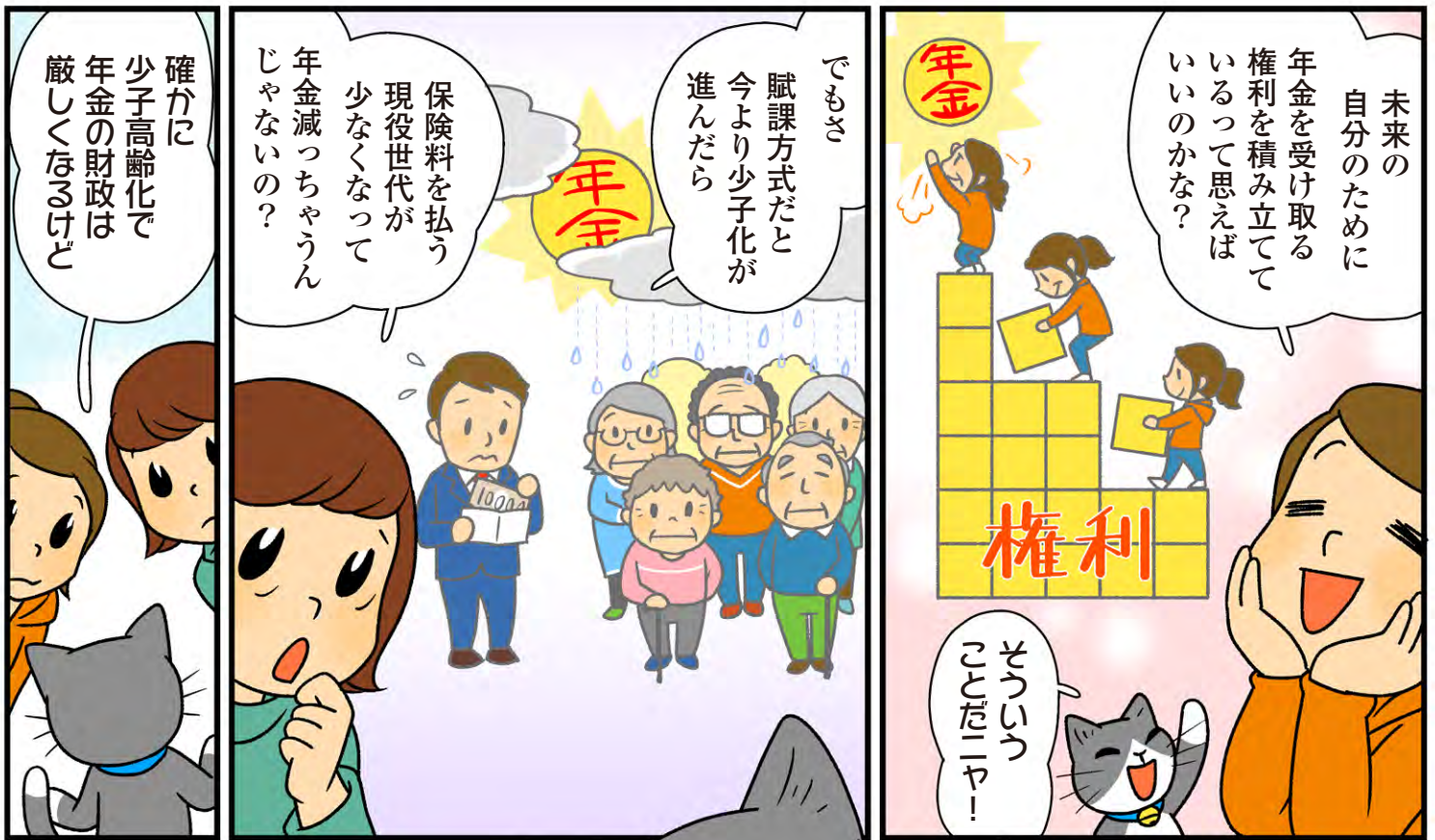
きちんと
保険料を払って
支え合いに貢献
したからこそ
将来年金を
受け取れるんじや
ないかな？

なるほど！



てっきり
自分の年金を
貯めてると
思ってたのに…

ゆいちゃん



A.05

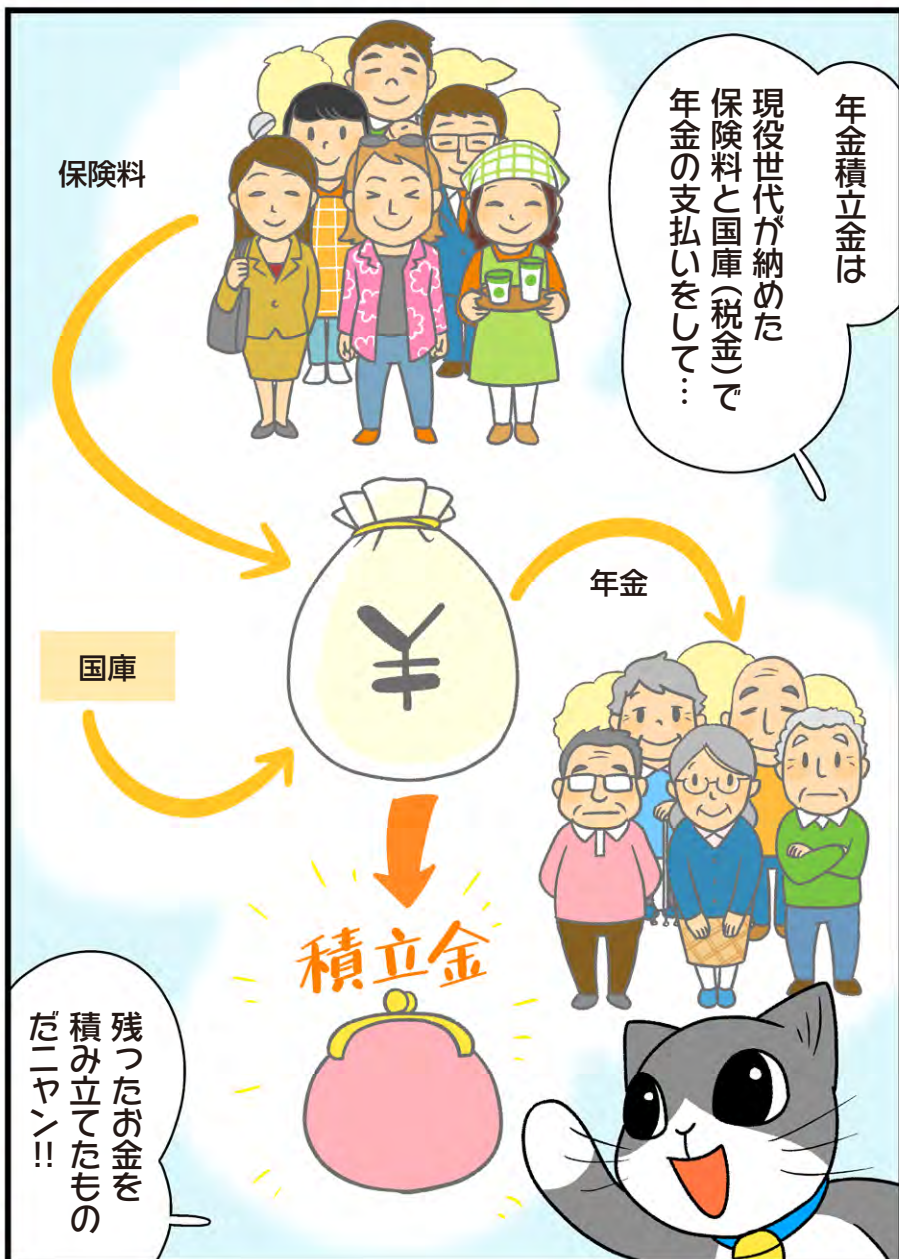
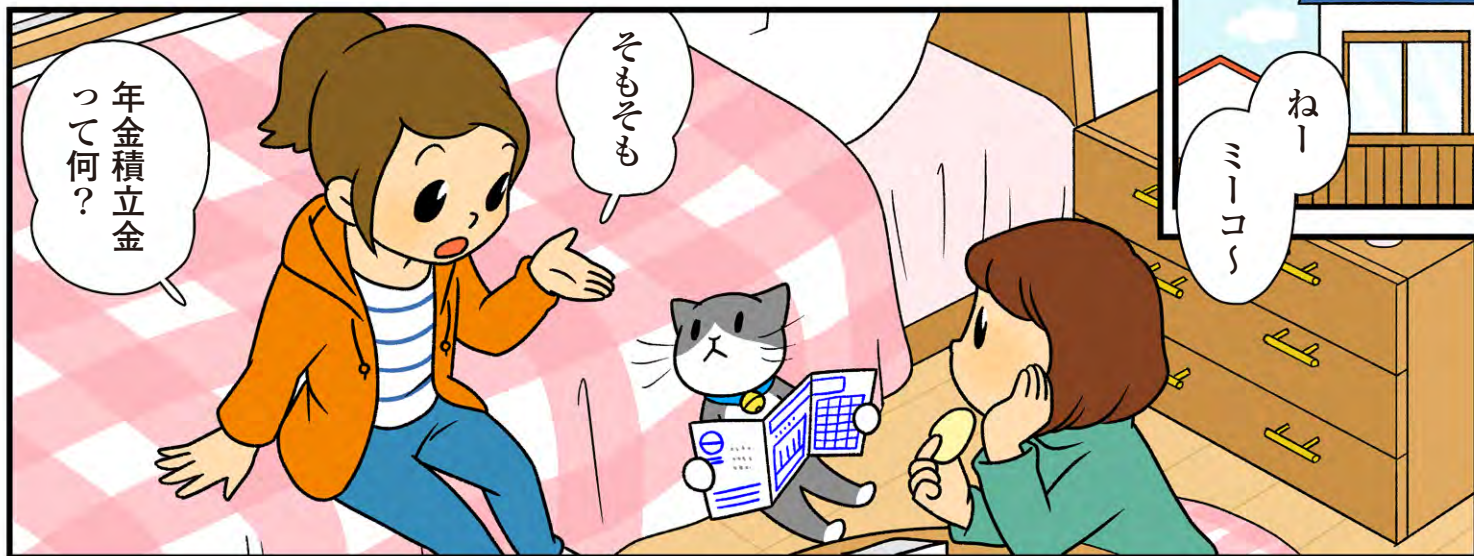
公的年金はその年の現役世代が納める保険料を同年の年金の給付に充てることで、現役世代の生活水準に合った給付を実現している。

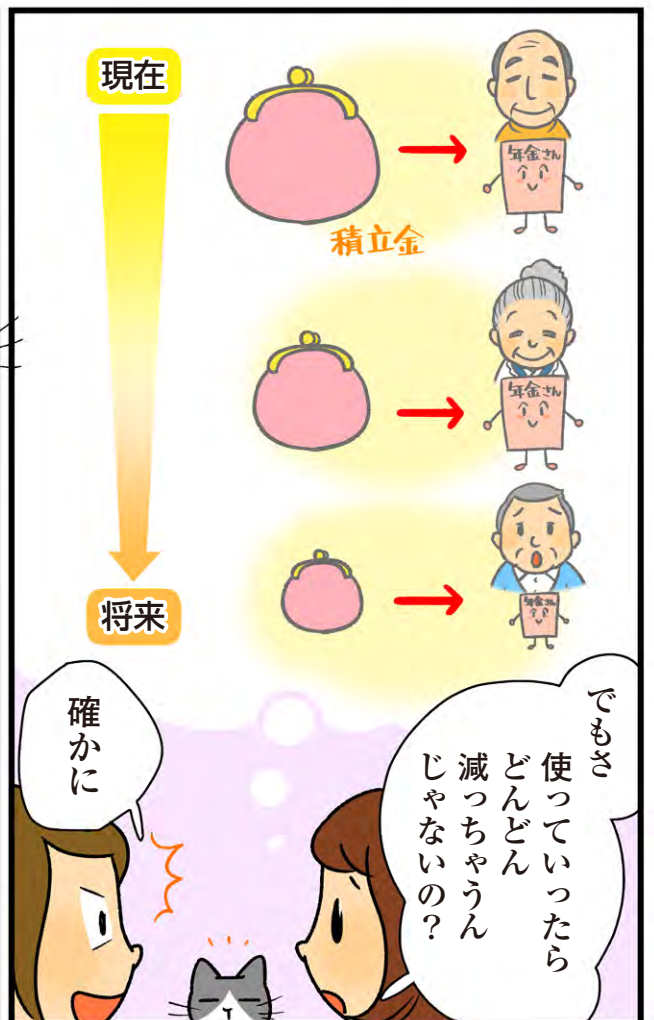
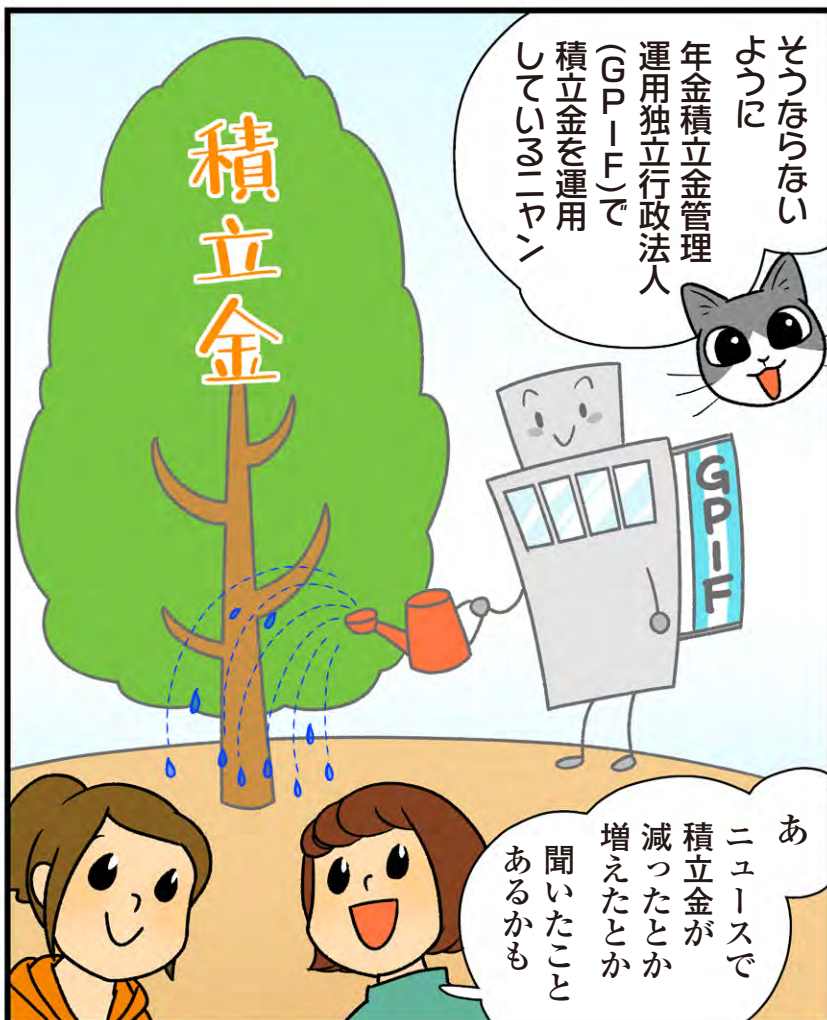
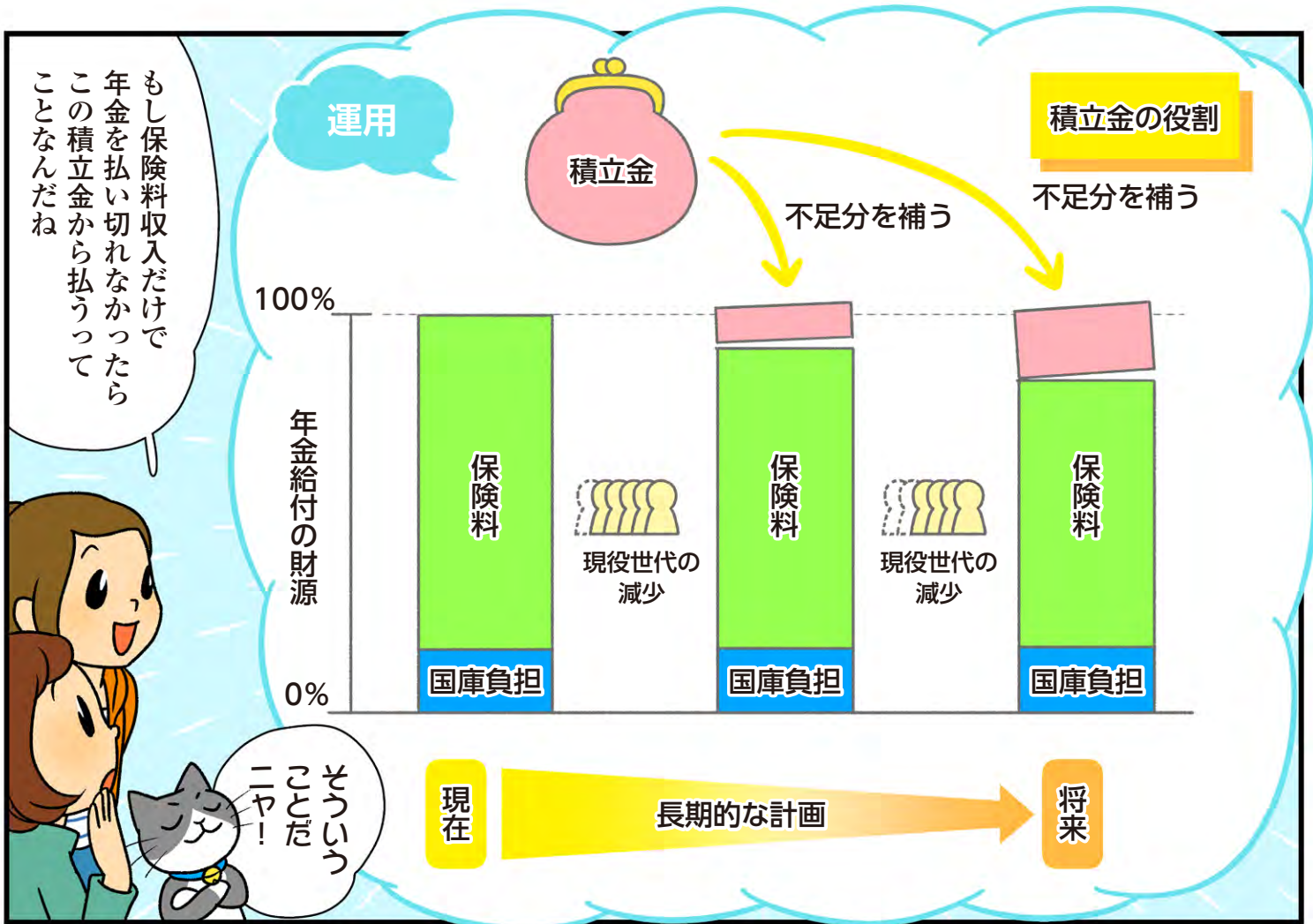




Q.06

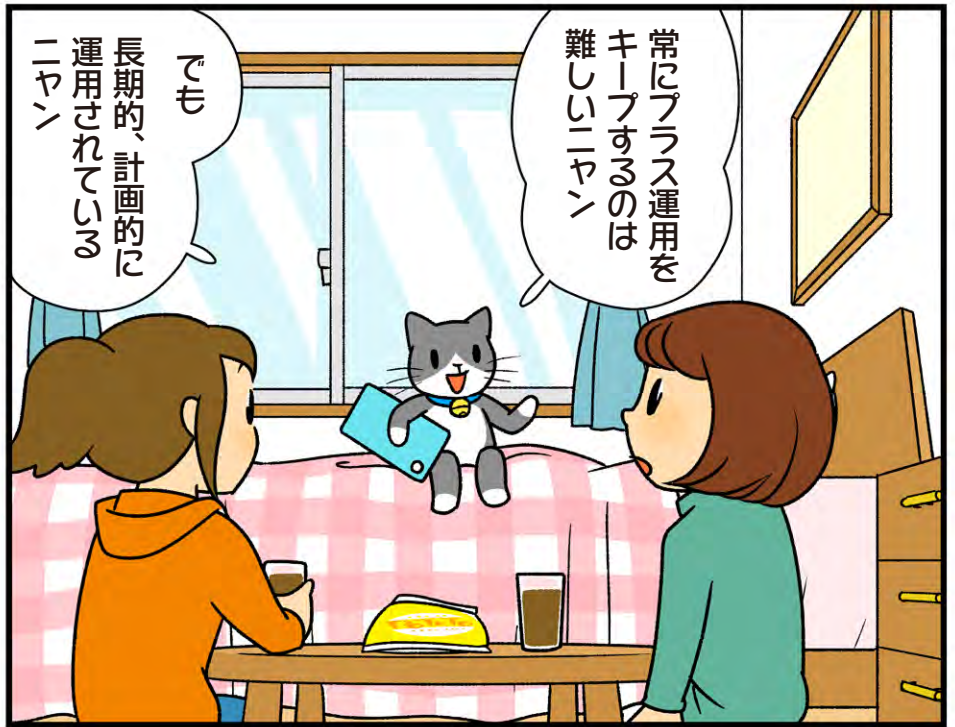
何のために積立金があるの？





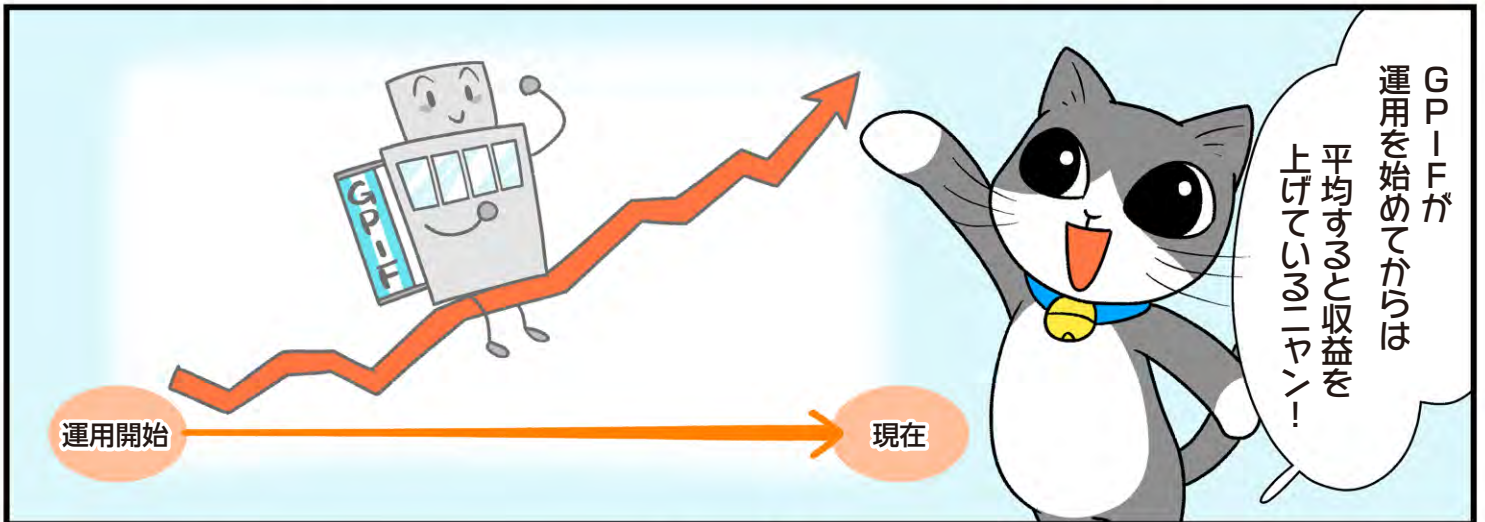


ほつ
GREEFの
ホームページを
見るニヤン



でも
長期的、計画的に
運用されたら
ニヤン

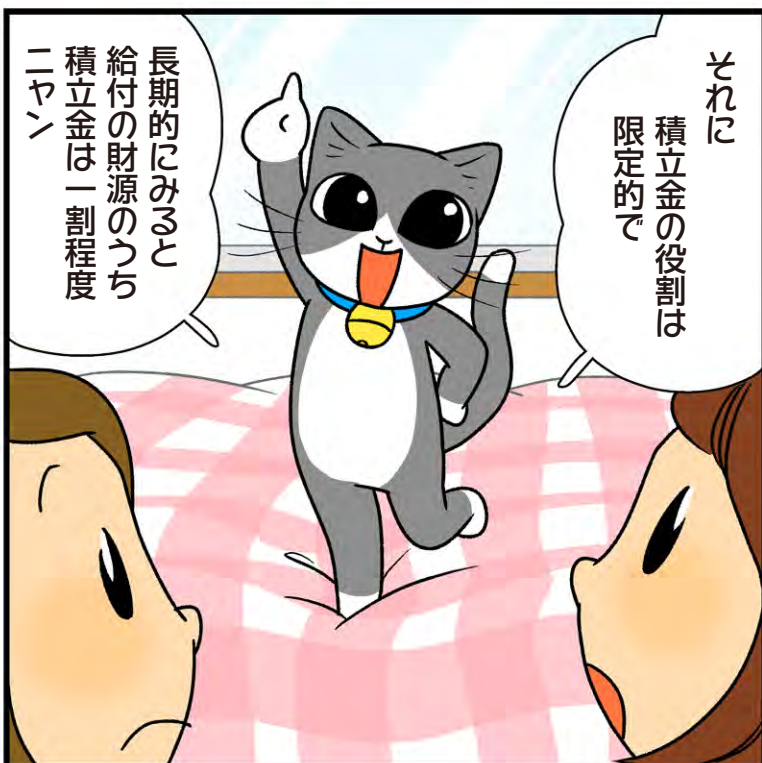
常にプラス運用を
キープするのは
難しいニヤン



運用開始

現在

GREEFが
運用を始めてからは
平均すると収益を
上げてくニヤン！



長期的にみると
給付の財源のうち
積立金は一割程度
ニヤン

それに
積立金の役割は
限定的で



そうは
言っても
一時的でも
減ったら
困るんじゃないの？

賦課方式だから
一時的に減っても
年金の支払いに
困ることはない
ニヤン

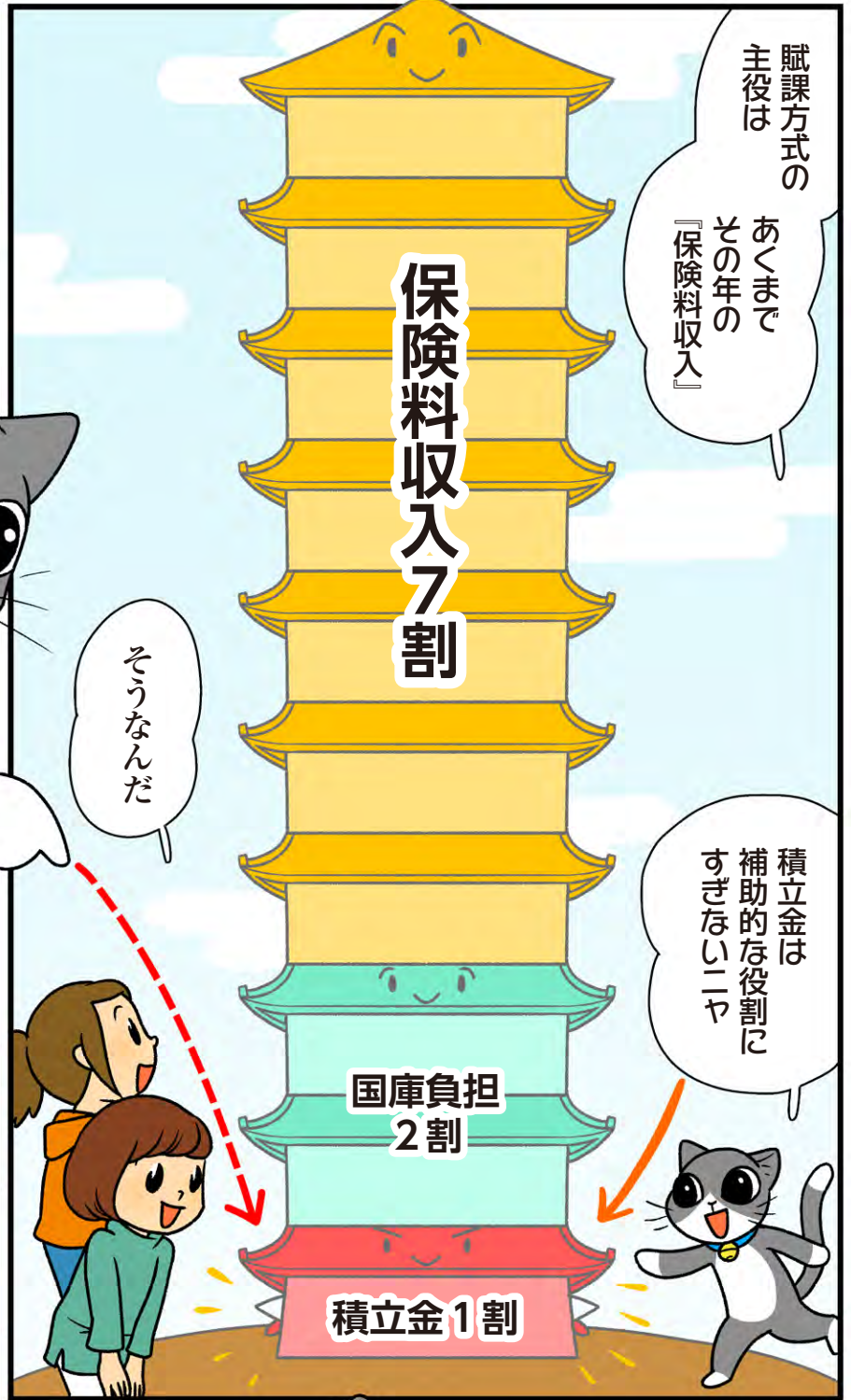


今より
少子高齢化が進む
将来の給付水準を
下支えすること
だニヤ

積立金の
目的は



でも
そうやって
使いだしたら
すぐに
なくなっちゃうん
じゃないの？



賦課方式の
主役は

あくまで
その年の
『保険料収入』

保険料収入
7割

積立金は
補助的な役割に
すぎないニヤ

国庫負担
2割

積立金
1割

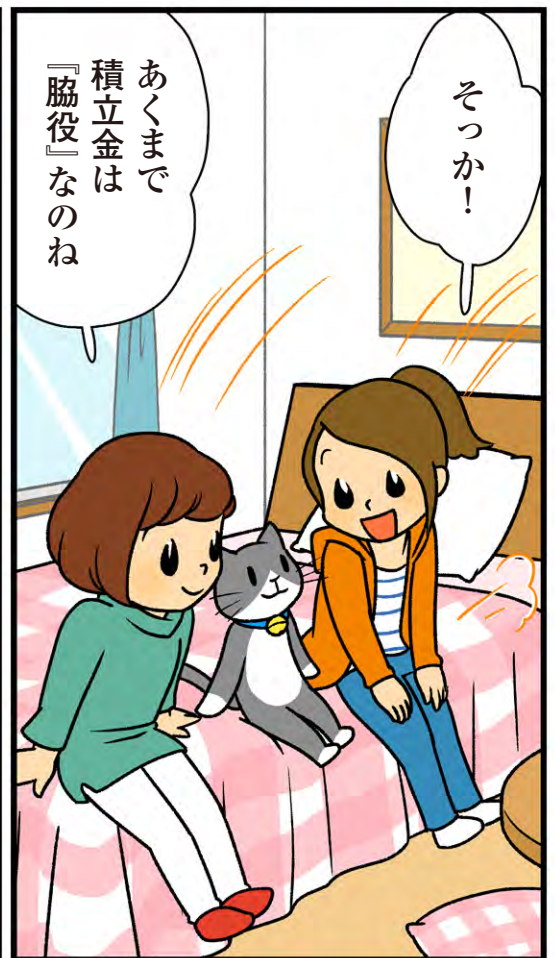
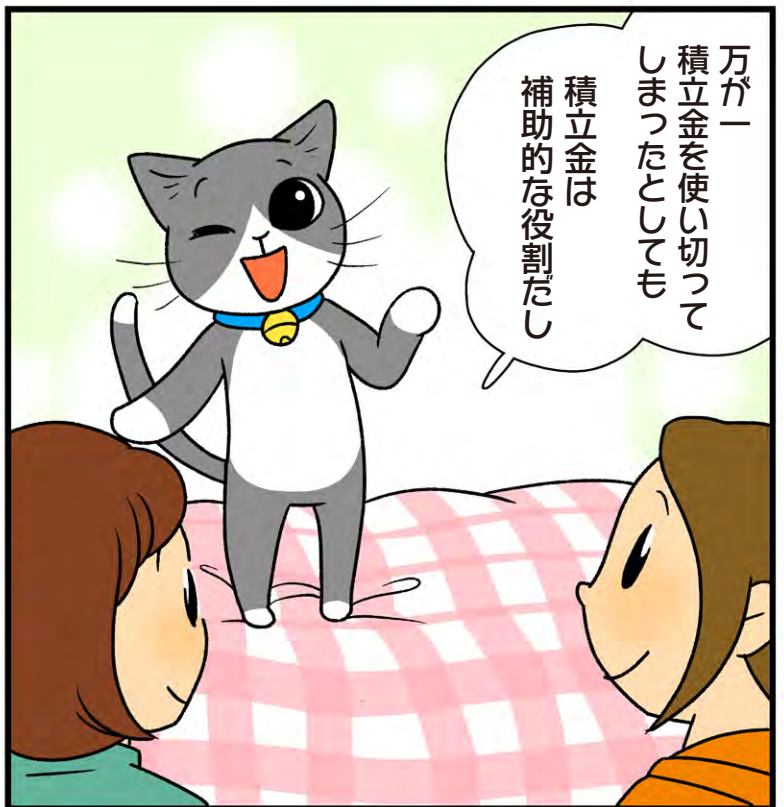
そうなんだ

※割合は、今後約100年間の平均的なもの



すぐ無くなる
ような額では
ないニヤン

そこまで心配する
ことはないニヤ
積立金の額は
約200兆円!!



A.06

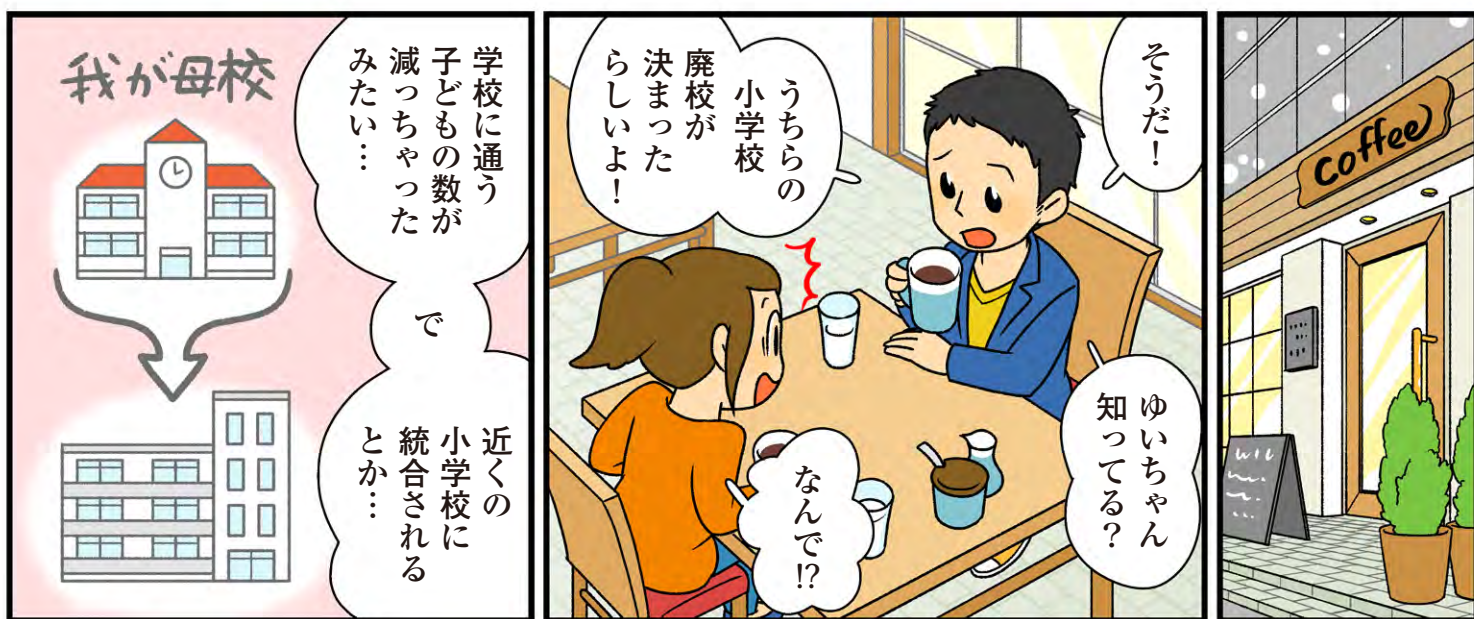
積立金は今より少子高齢化が進む将来の給付水準を下支えする役割を担っている。





Q.07

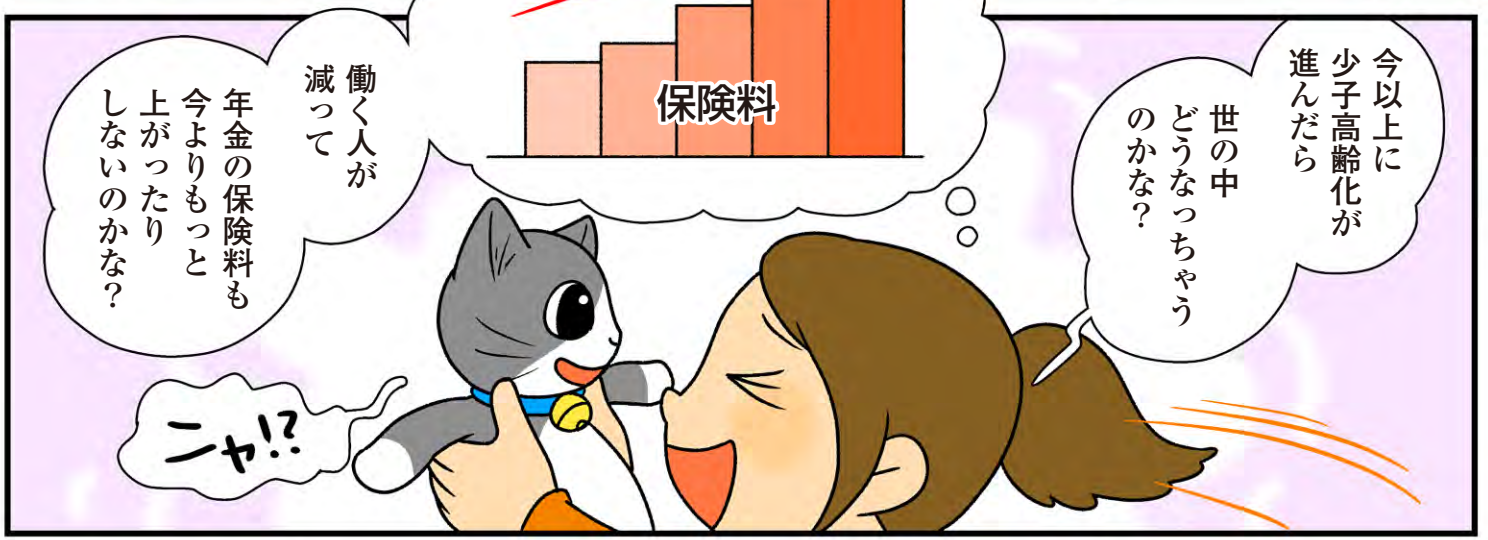
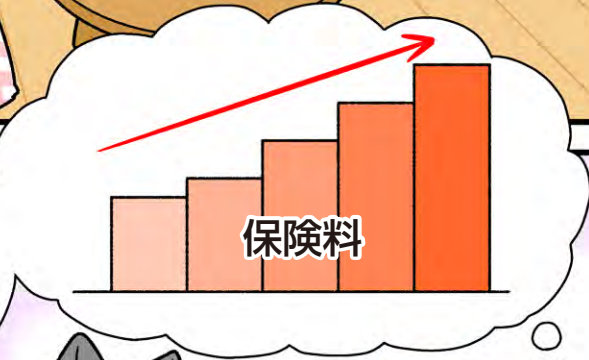
少子高齢化が進むと保険料率をもっと上げないといけないの？





…って
わけなの
ミーコ

少子高齢化って
いまいっぴんと
来てなかったけど
ひしひしと
実感しちゃった…



今以上に
少子高齢化が
進んだら
世の中
どうなっちゃう
のかな？

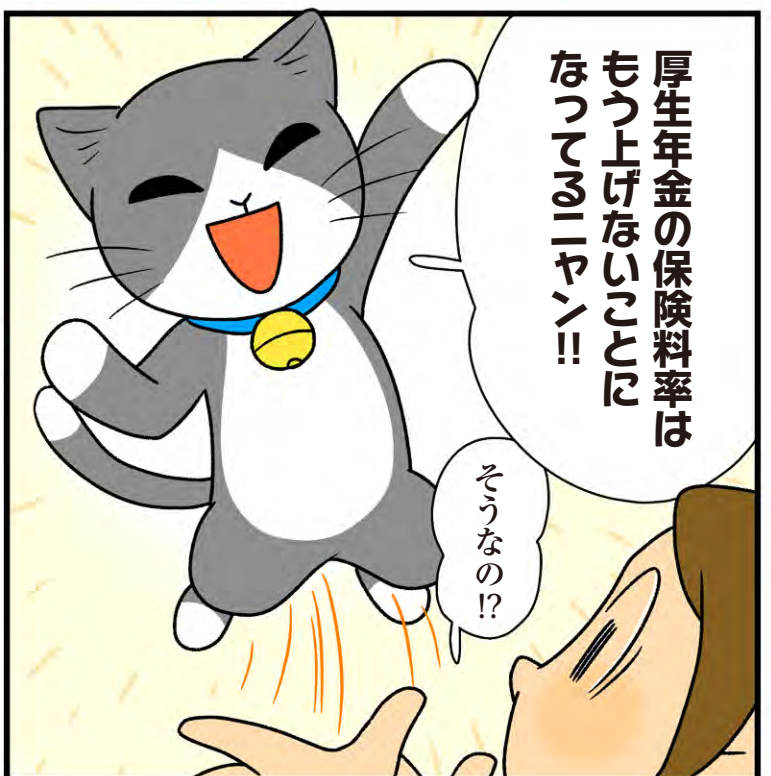
働く人が
減って
年金の保険料も
今よりもっと
上がった
りしないのかな？

ニャ!?



でも
なんで?!

なんの
切で
の?



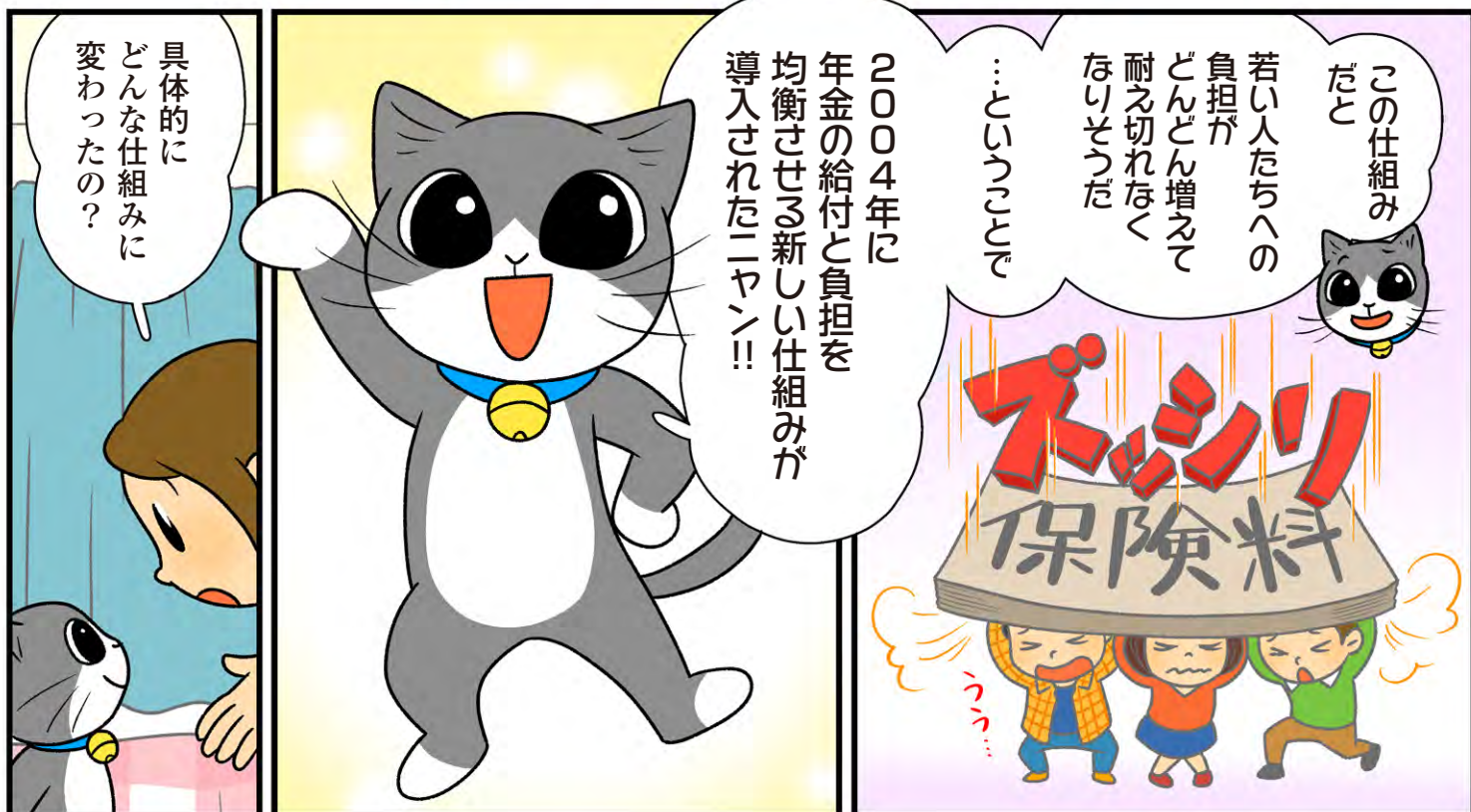
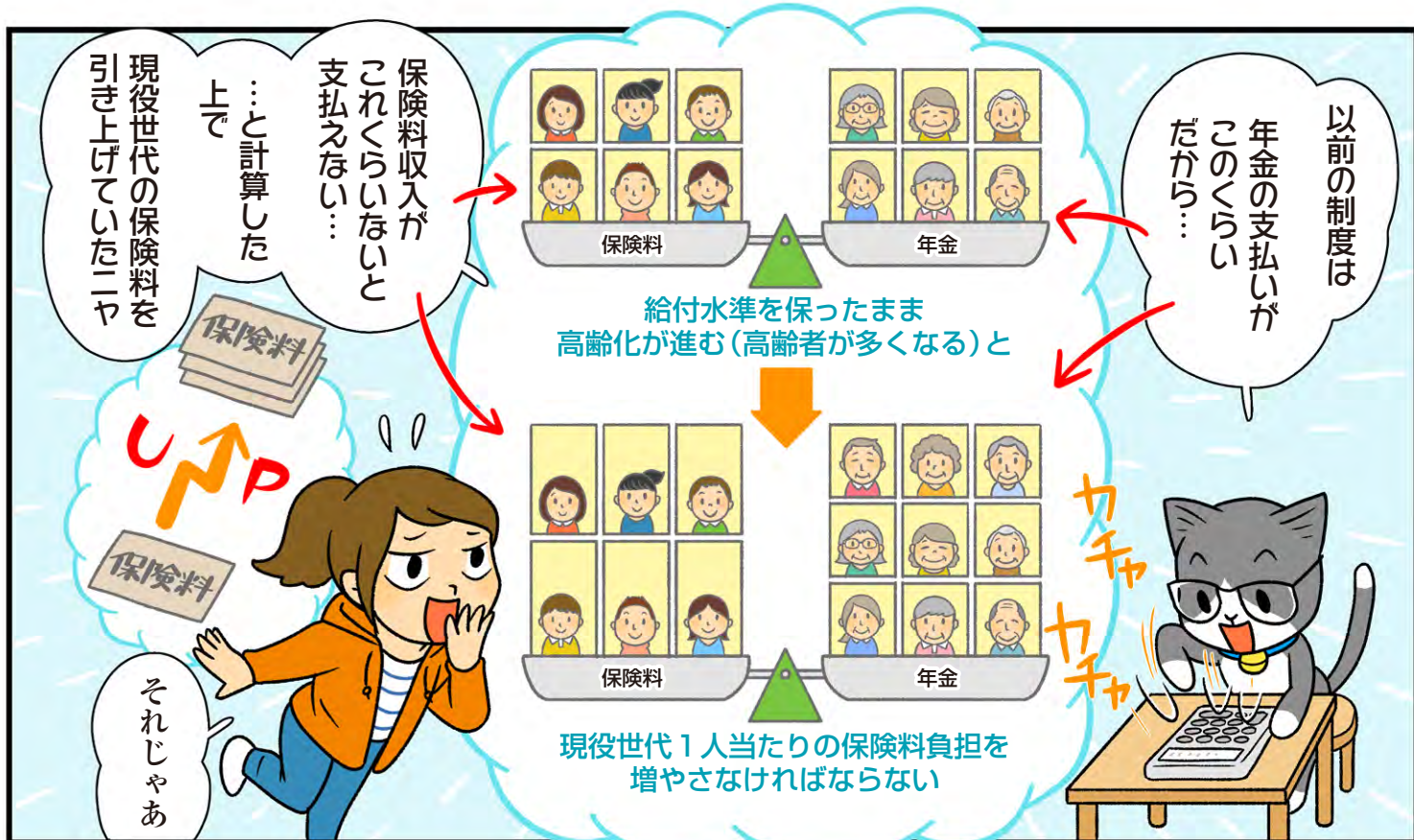
厚生年金の保険料率は
もう上げないことに
なってるニヤン!!

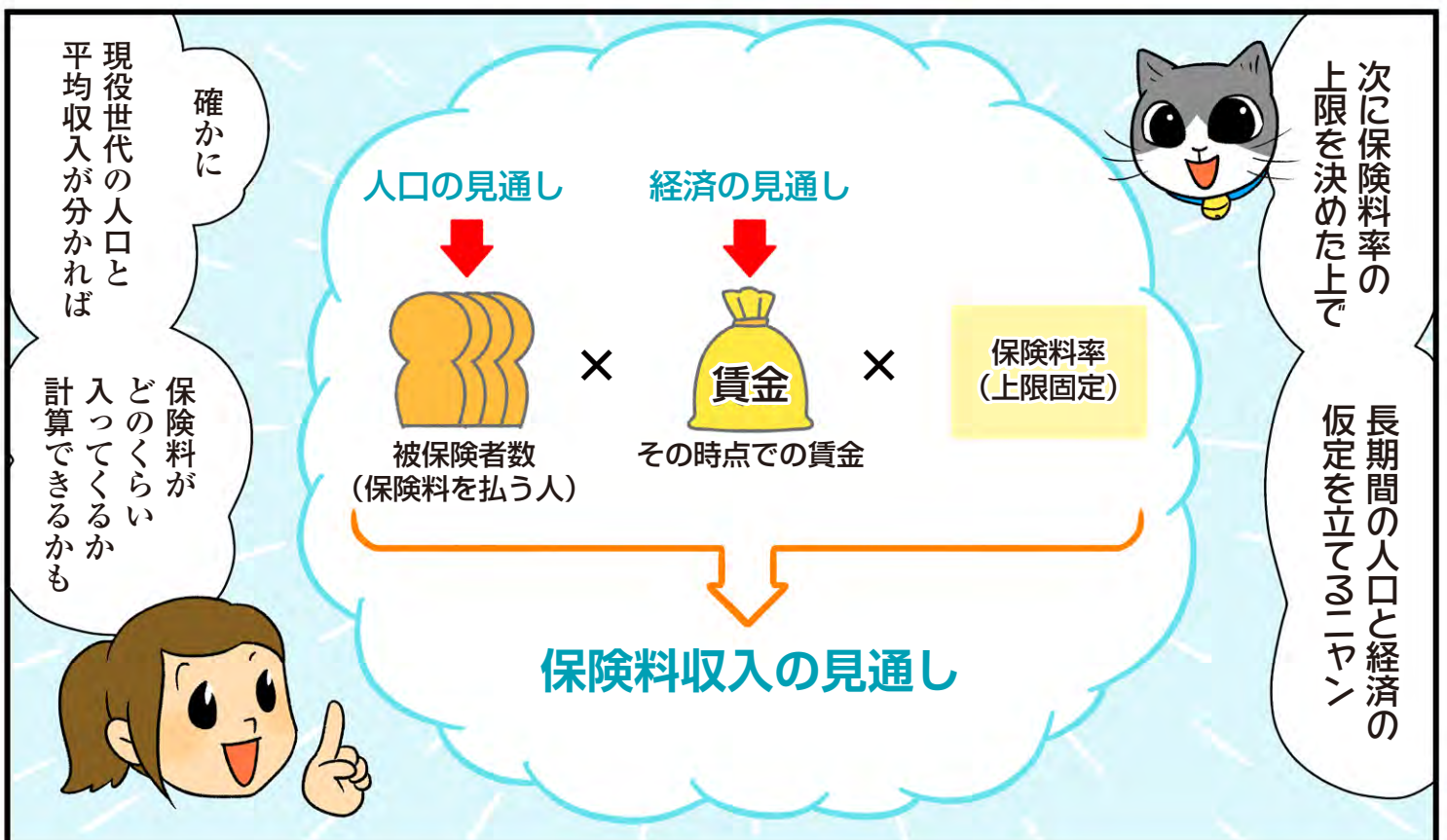
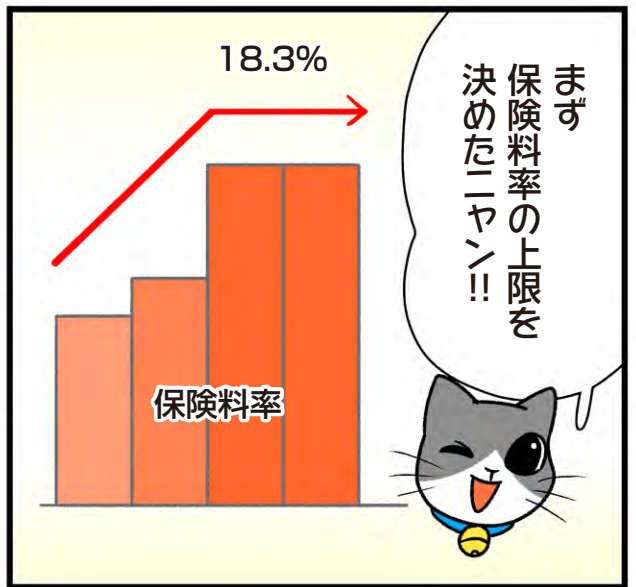
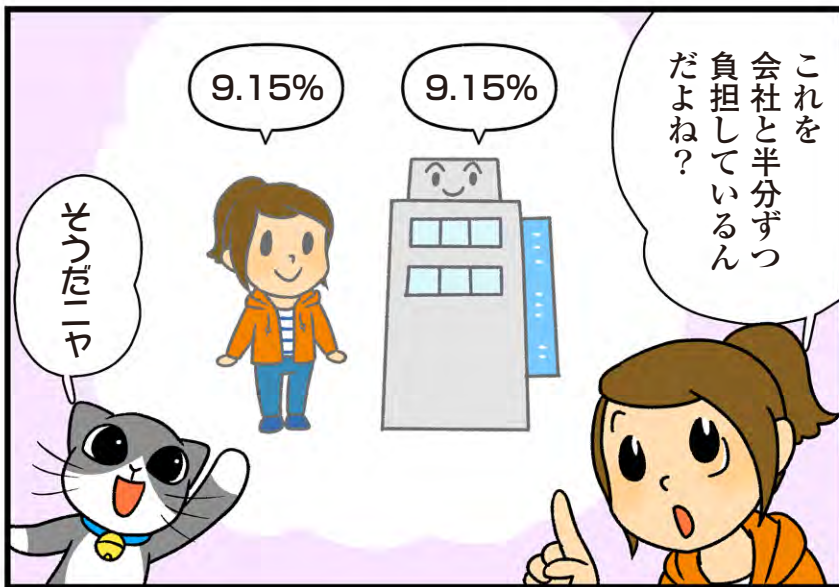
そうなの!?

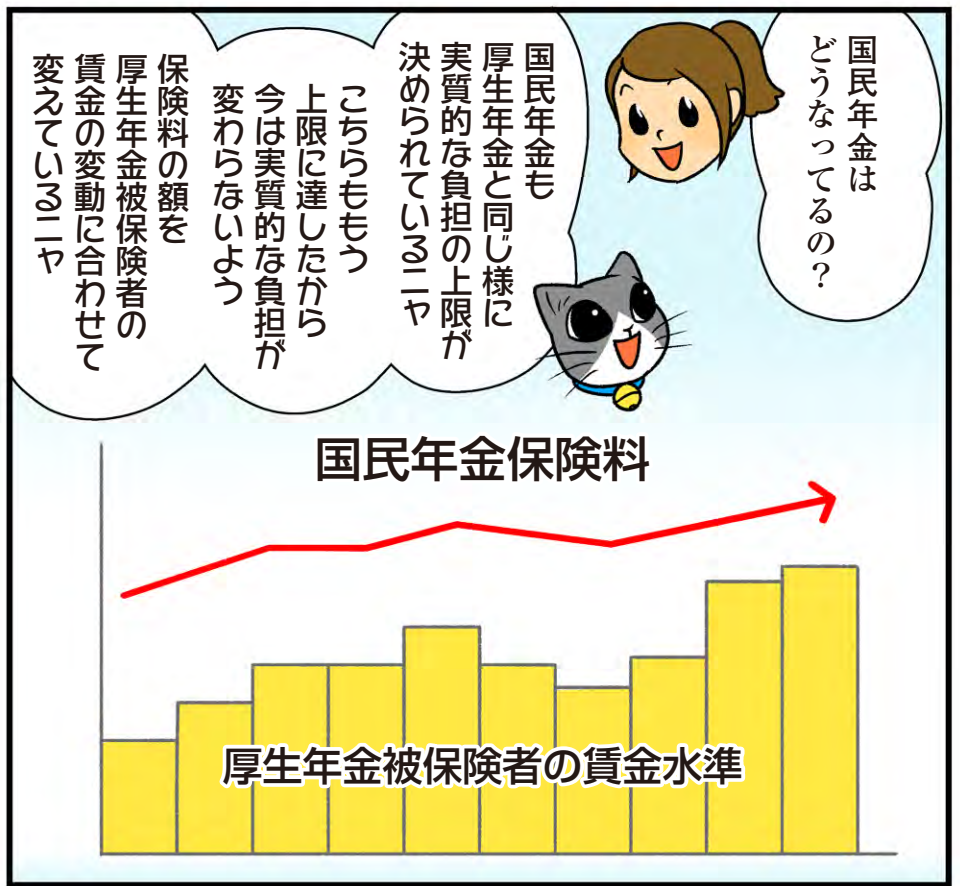
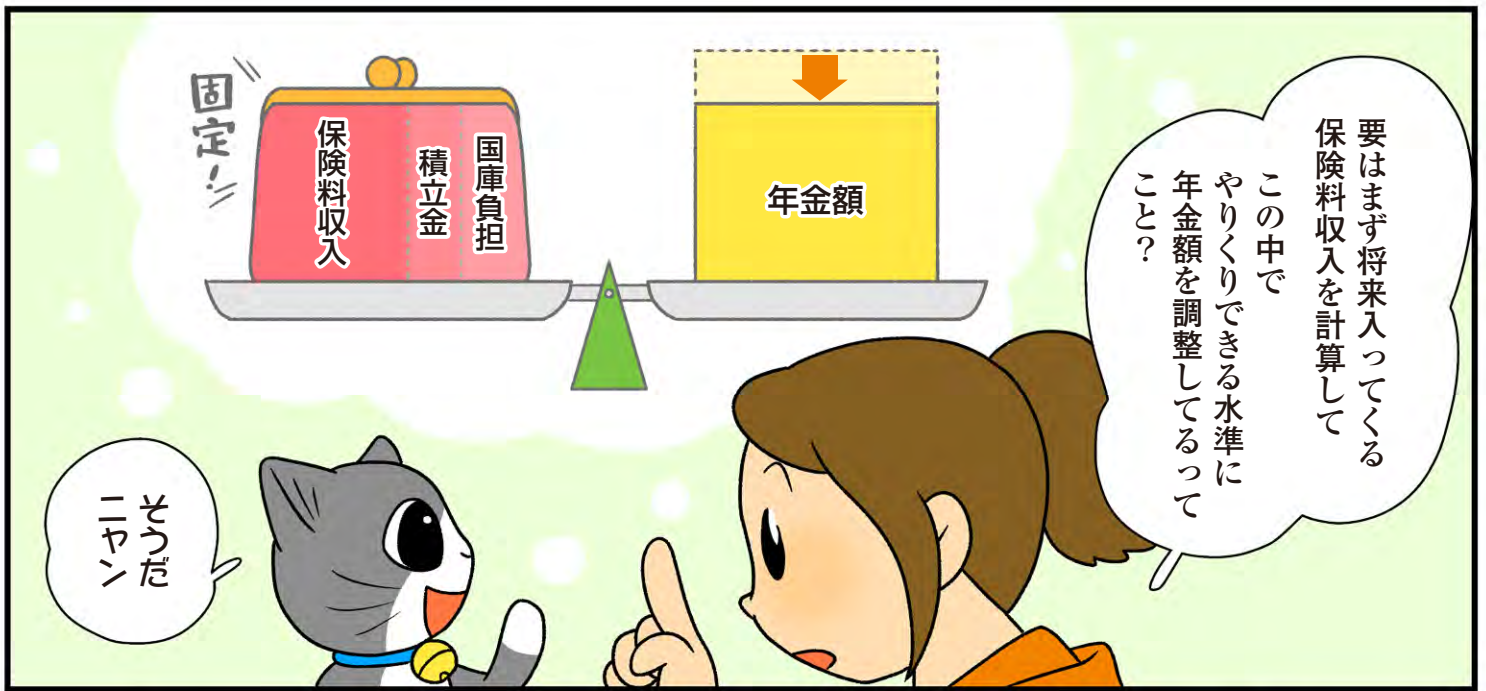


制度が見直された
ニヤンよ

え?!







本来
年金は毎年

現役世代の賃金や
物価の変動をもとに
支給額を改定
するんじゃないけれど

年金額が
保険料収入で
やりくりできる
水準になるまでは

賃金や物価の
伸びよりも
少し低い伸びで
改定するようには
いるんだニヤ

賃金(物価)

スライド調整率

年金改定率

そもそも未来は
決まってないニヤン

だからこそ
将来の姿を一つに
決めつけずに
幅広い色々なケースを
想定した「見直し」を
考える必要があるニヤン

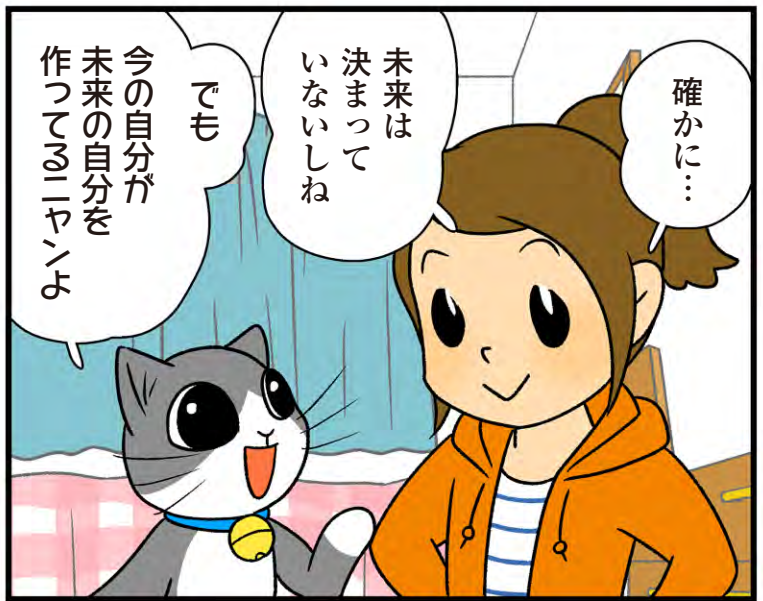
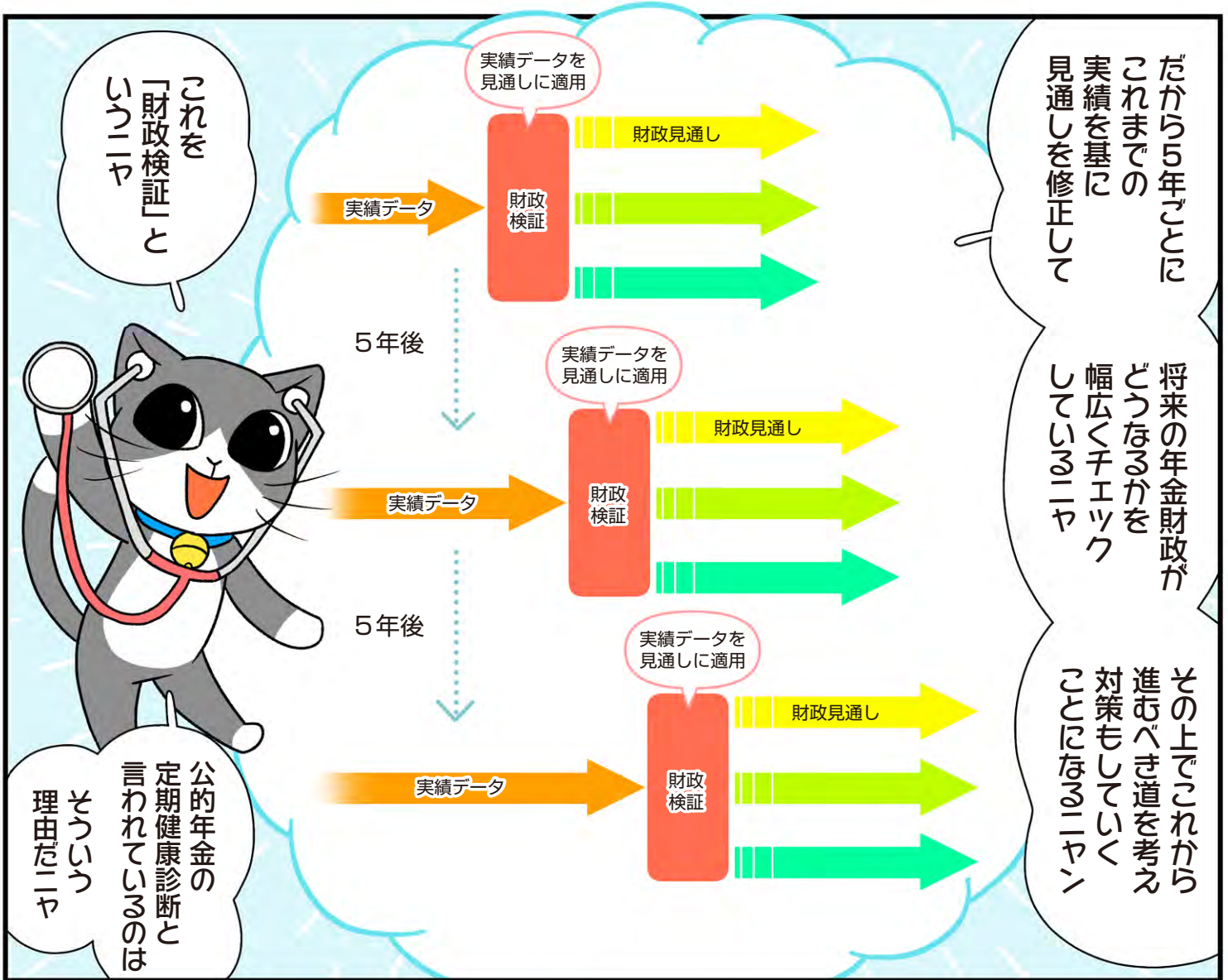
なるほど

そもそも
長期間の仮定を
立てるって言うても
そんな未来のことが
分かるものなの？

ふんふん

そして
その「見直し」も
定期的に作り直す
必要があるニヤン

そして
その「見直し」も
定期的に作り直す
必要があるニヤン



A.07

これ以上保険料水準は上げないことにしている。そのかわり、給付額の伸びを少しずつおさえる仕組みが導入された。収入(と積立金)の範囲でどれだけの年金を支払える見通しかを定期的に確認している。





Q.08

どんな未来になれば、私たちが 受け取る年金はより充実するの？



共働きの
家庭は...



兄夫婦

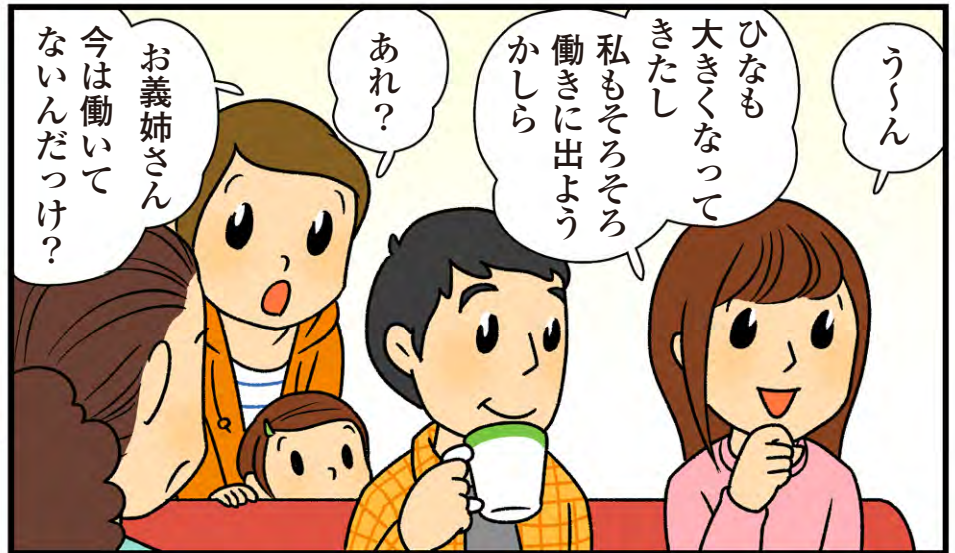
こんにちは

ひなちゃん
いらっしやうい



そういえば

お義姉さんみたいに
働き出す人が増えると
年金ってどうなるん
だろう？



うーん

ひなも
大きくなって
きたし

私もそろそろ
働きに出よう
かしら

あれ？

お義姉さん
今は働いて
ないんだっけ？

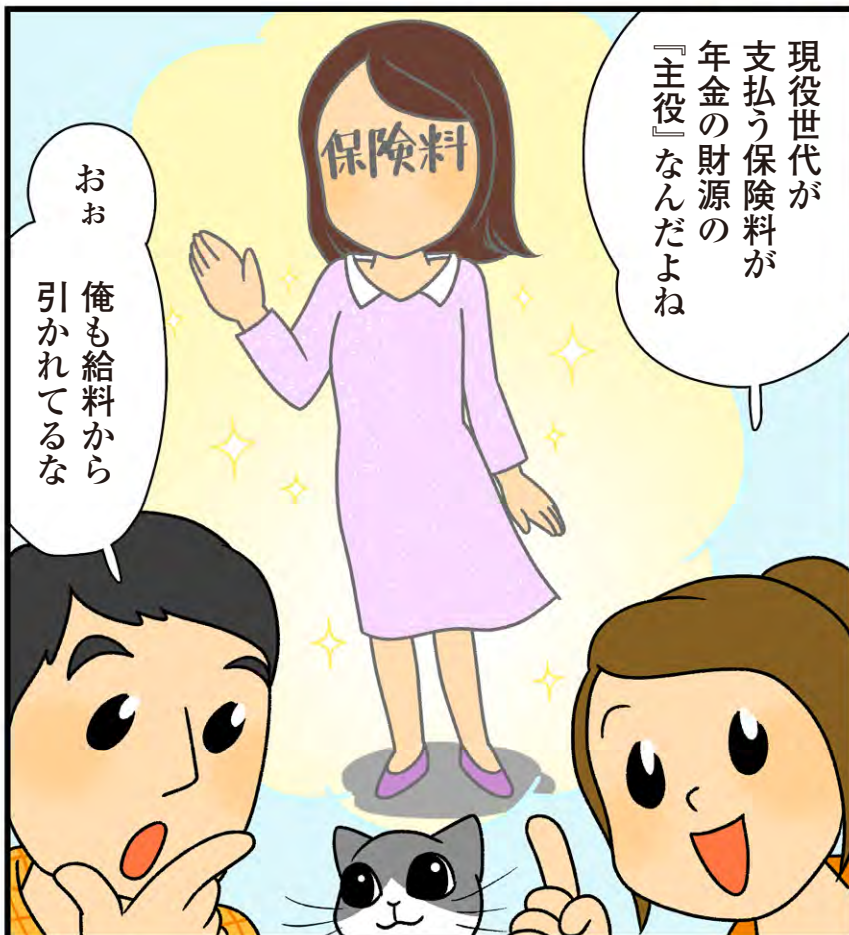
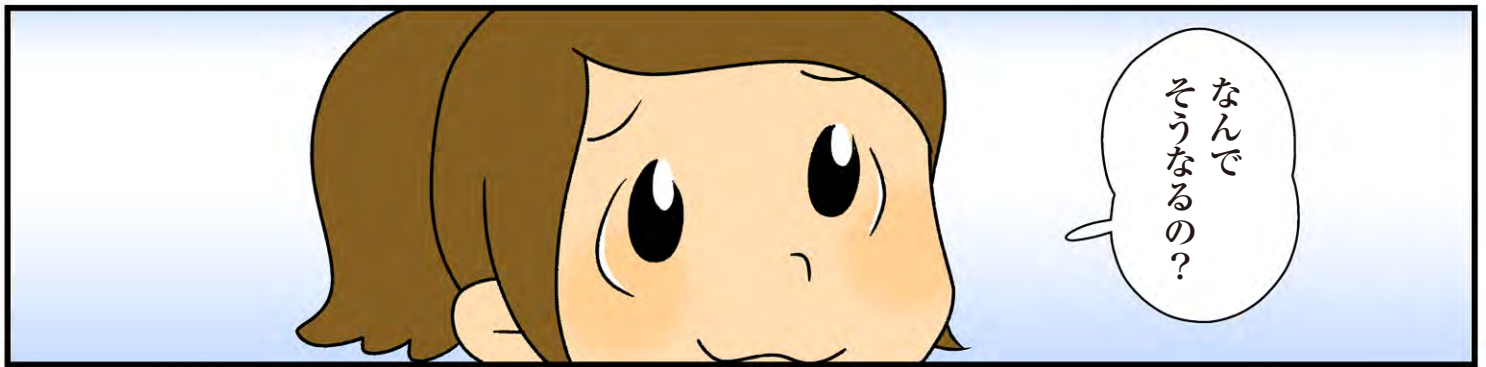
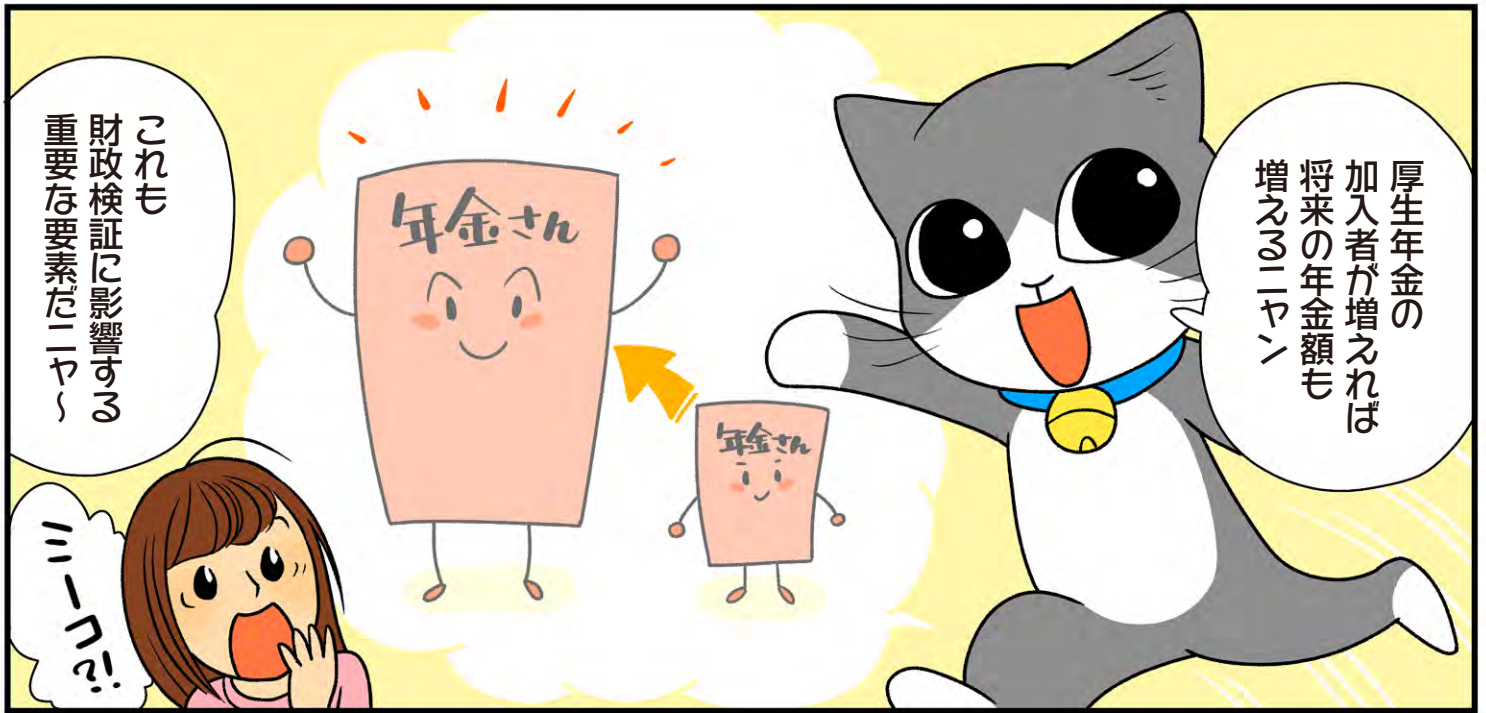


そうなの

ひなが産まれるまでは
働いてただけど
辞めちゃったのよ

そうなん
だ

でも
そろそろまた
働きたいなど
思ってる



※詳しくはの話を参照

※イメージは厚生年金保険のもの。国民年金の保険料は、収入にかかわらず定額(賃金スライドあり)であるが、公的年金の保険料全体に占める割合は約3%程度(2020年度)である。

人口の見通し

経済の見通し

被保険者数
(保険料を払う人)
労働力の見通し

その時点での賃金

保険料率
(上限固定)

※

その『主役』の保険料がどれくらいになるかは『人口』『労働力』『経済』の3つの要素で大きく変わってくるニャー

保険料収入の見通し

『労働力』と
というのは
働く人の数の
ことだニャ

『人口』は
現役世代が増えれば
保険料も増えるから
年金の財政に影響する
のはわかるんだけど
『労働力』って
何?

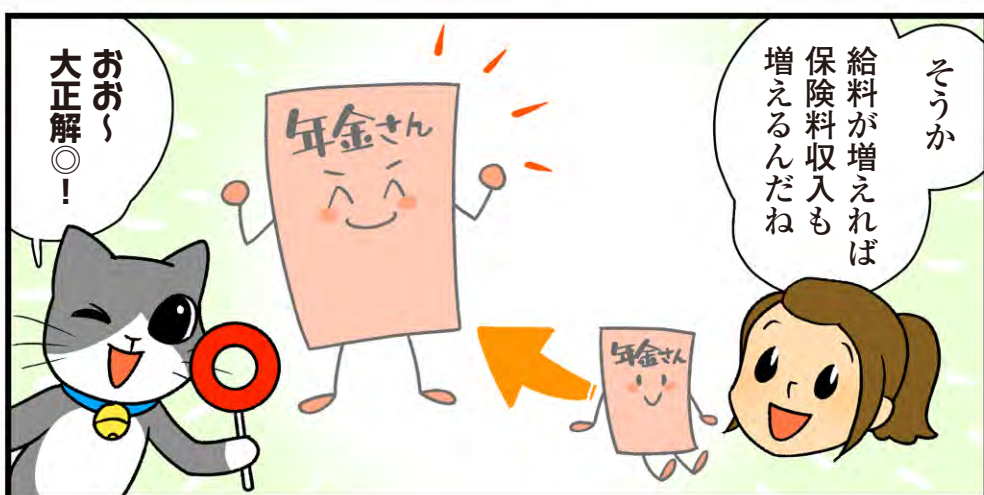
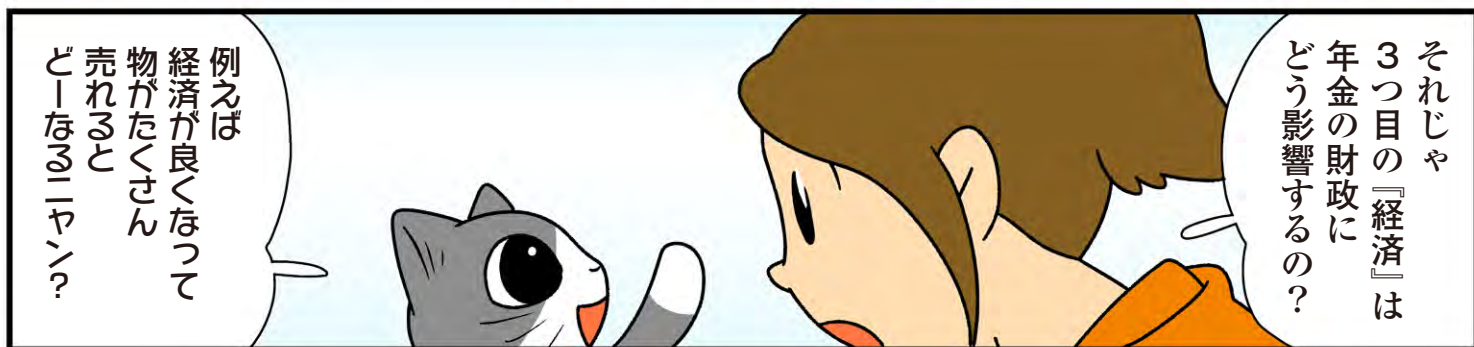
私の友達でも働いている人は多いかも

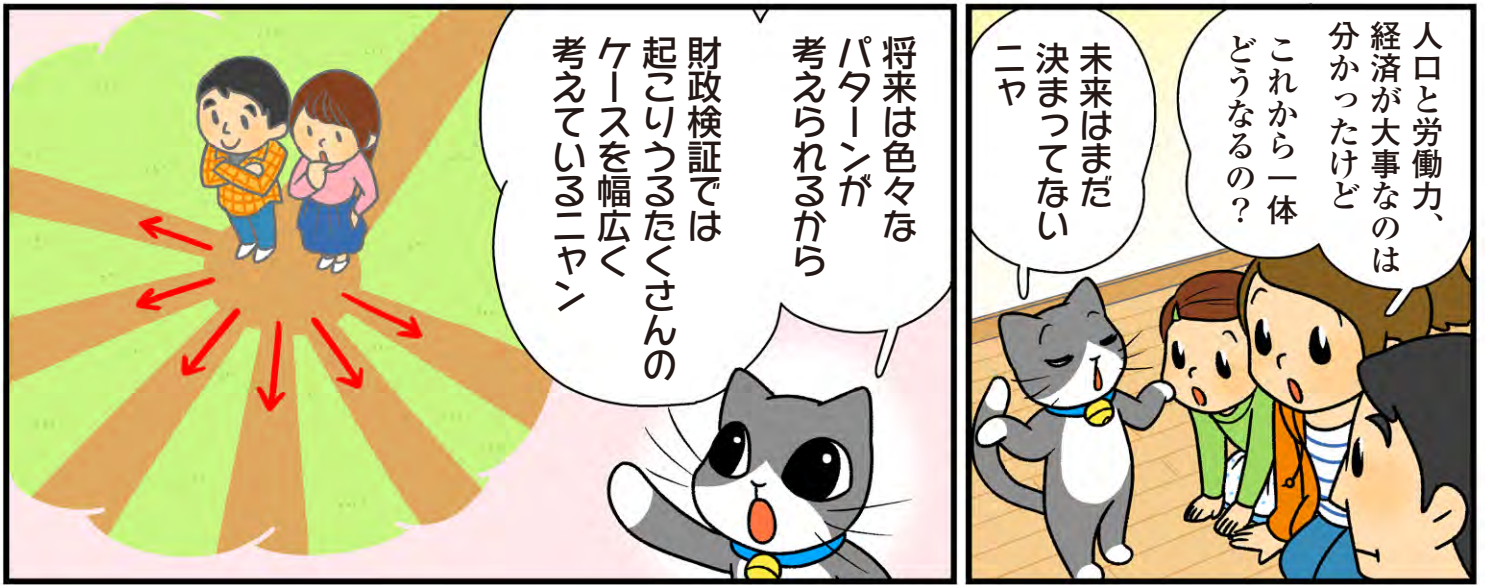
確かに昔に比べて働く高齢者や女性は増えたわよね

例えば現役世代が減ったとしても仕事をしていたいなかった高齢者や女性が働くようになっても働く人数が減らなければ保険料収入も維持できるニャン

賃金

保険料



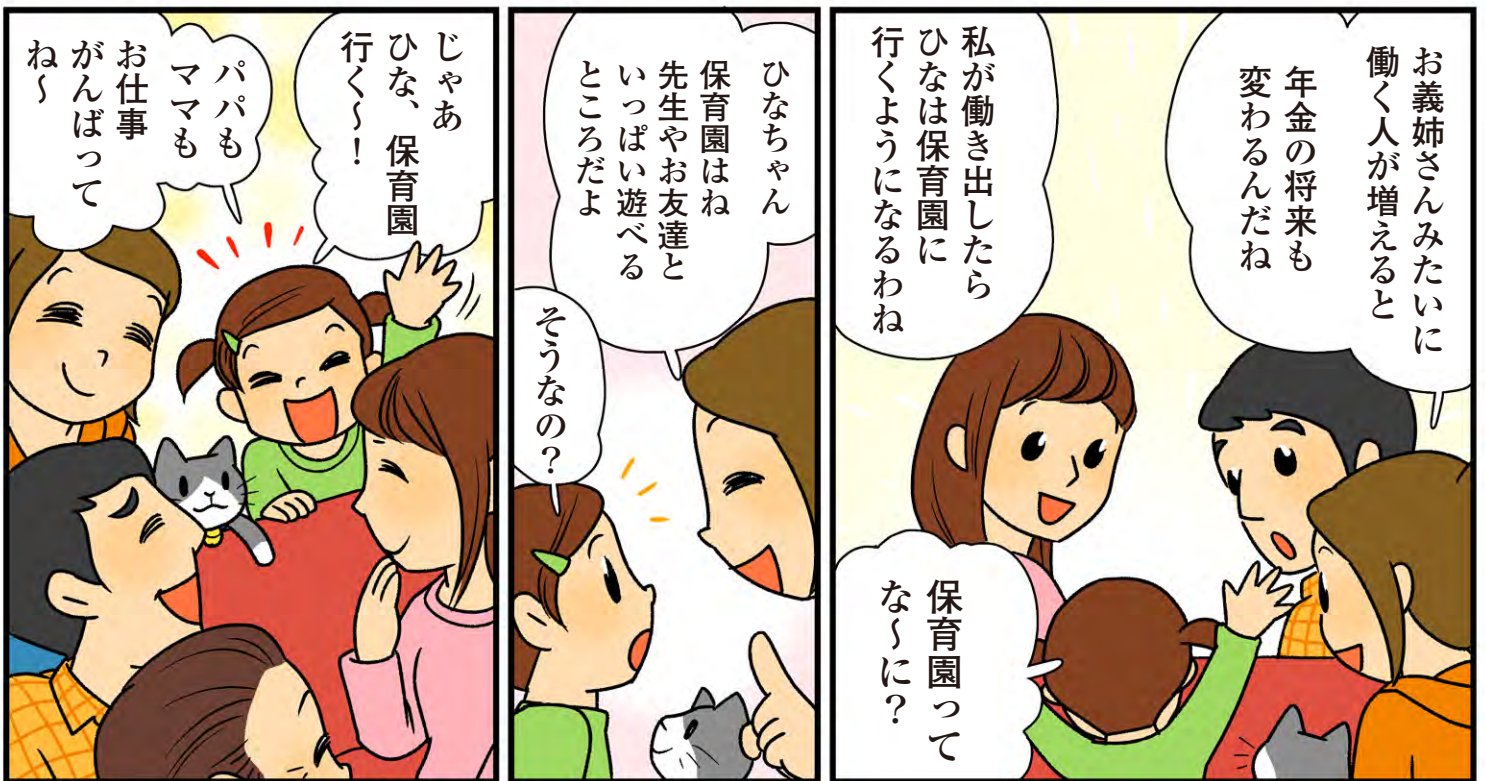


将来は色々なパターンが考えられるから
財政検証では起こりうるたくさんケースを幅広く考えていこうニヤニヤ

人口と労働力、経済が大事なものは分かったけどこれから一体どうなるの？
未来はまだ決まってるニヤ



だから結果も幅広くとらえる必要があるニヤニヤ
大切なのはどのパターンが当たったとかではニヤニヤ
今後どのような方向に進むべきか考えて必要な対策をとっていくことだニヤニヤ



お義姉さんみたいに働く人が増えると年金の将来も変わるんだね
私が働き出したらひなは保育園に行くようになるわね

ひなちゃん
保育園はね先生やお友達といっぱい遊べるところだよ

そうなの？

保育園ってなくに？

じゃあひな、保育園行く！

パパもママもお仕事がんばってね

A.08

より多くの人働き、経済を成長させれば、私たちが受け取る年金も増える。



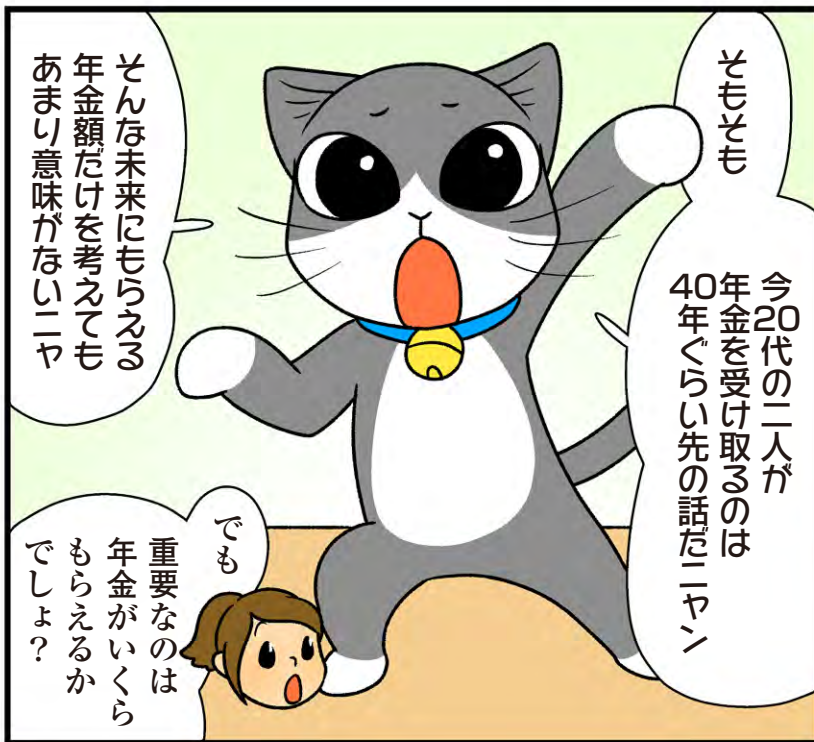


Q.09

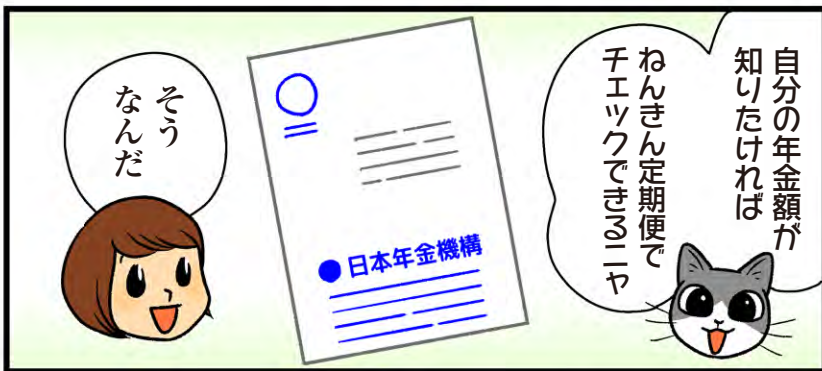
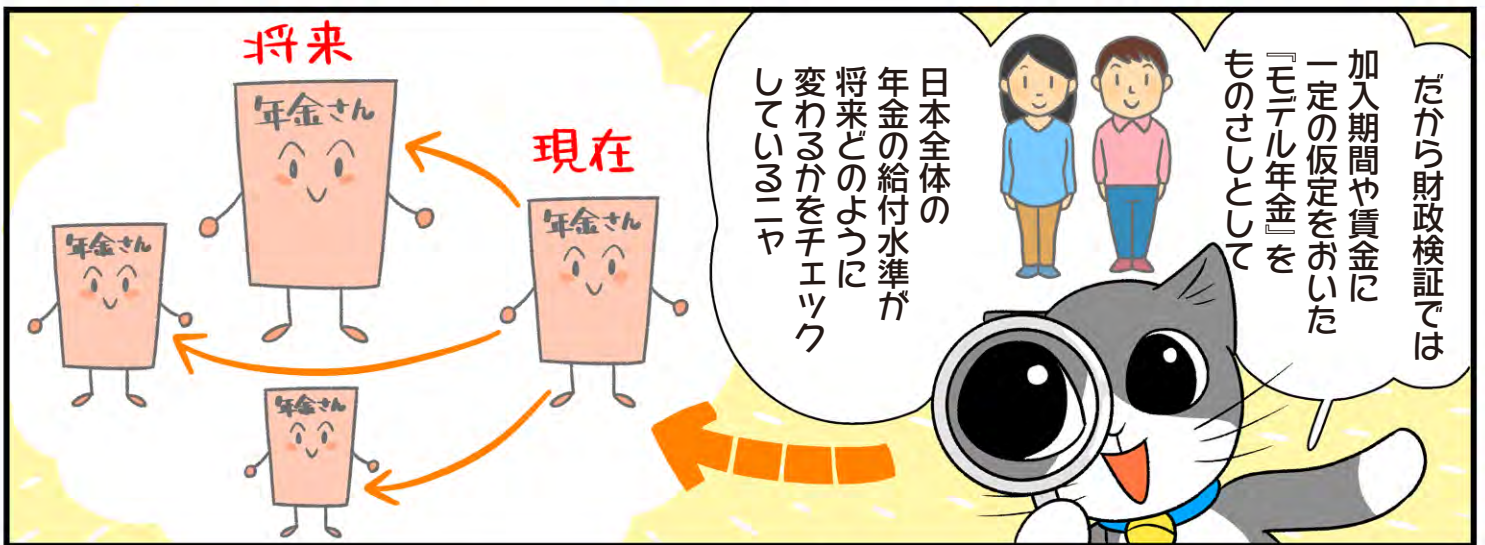
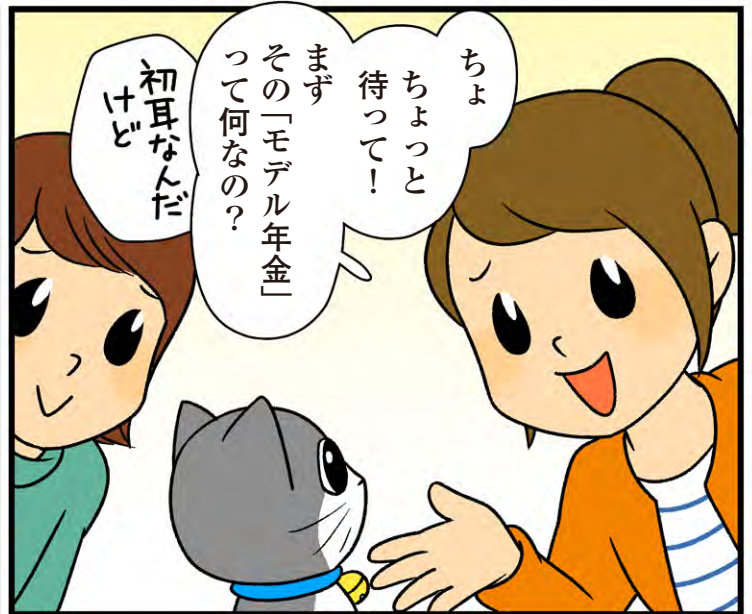
財政検証では、将来の年金の何を チェックしているの？

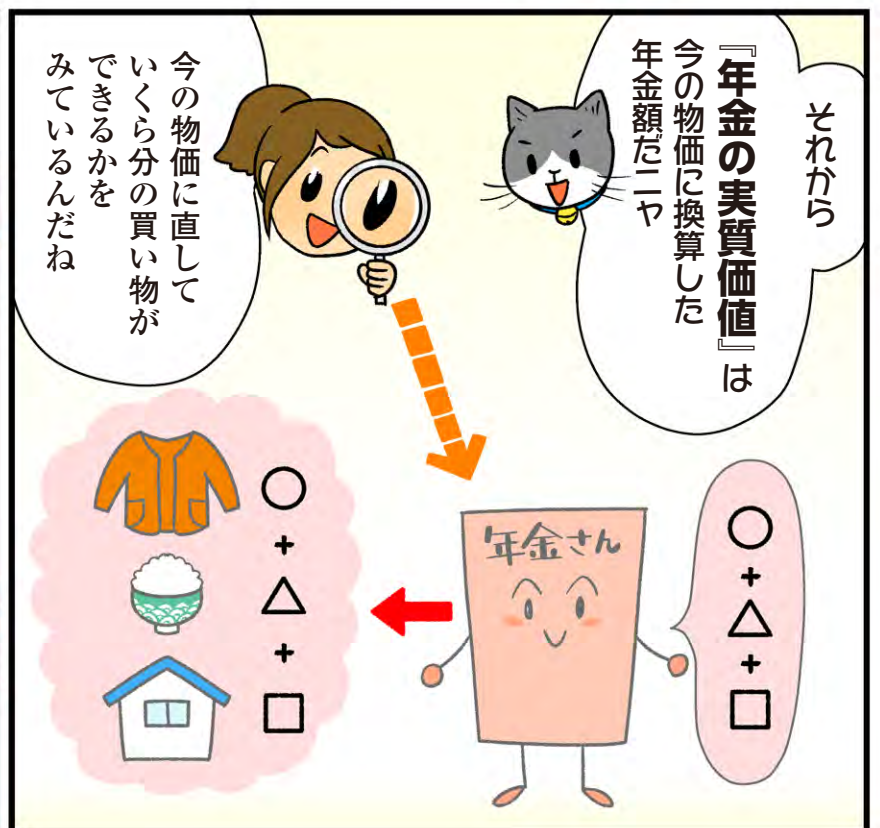
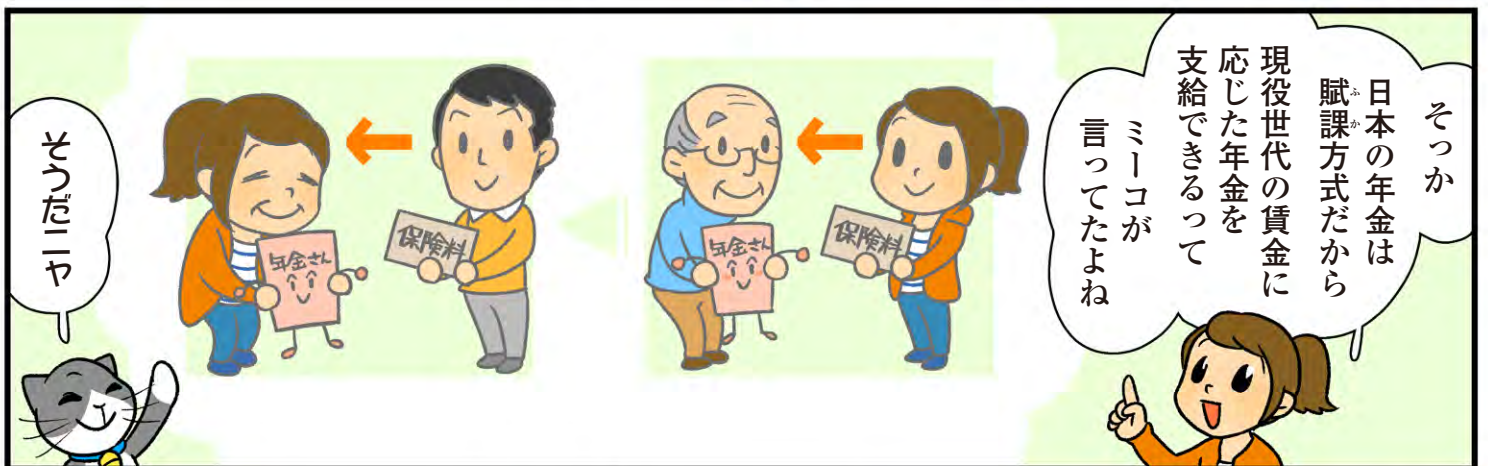
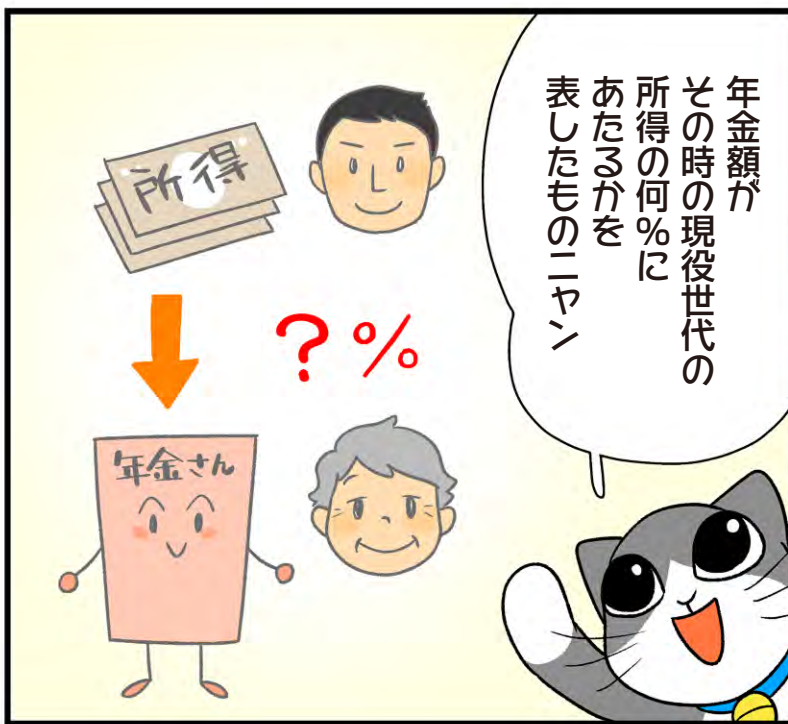


※詳しくは4、7話を参照



※詳しくは別話を参照





※詳しくは別の話を参照

所得代替率が変わらなくても…

賃金の
実質価値が
上昇すれば

年金の
実質価値も
上昇する

現役世代の賃金

もらえる年金額

『賃金の実質価値』
つまり
「今の物価に換算した賃金」が
上昇すれば
所得代替率が変わらなくても
『年金の実質価値』は上昇
するよ！

現役世代の賃金も
将来は変わって
いくニャー！

そっか
『年金の
実質価値』は
今の物価に
直したら年金額は
どのくらいになるか

二人とも
大正解!!

『所得代替率』は
そのときの
現役世代の所得
(≠生活水準)
と比べた
相対的な水準は
どのくらいかを
見ているんだね

で
結局
その『所得代替率』と
『年金の実質価値』は
将来どうなるの？

やっぱり
少子高齢化で
下がるのかな？

次の話で
説明する
ニャー

※詳しくは10話を参照

A.09

財政検証では、将来の年金額がその時の現役世代の所得の何%を示す「所得代替率」と、将来の年金額を現在の物価に換算した「年金の実質価値」、この2つをチェックしている。





Q.10

少子高齢化が進んだら将来の「所得代替率」や「年金の実質価値」はどうなるの？

※所得代替率については別の話を参照

ねえミーコ
所得代替率って
どのくらい
下がるの!?

財政検証の
結果を見ると

少子高齢化で
所得代替率が
下がるみたい
だね

人口比
(20~60歳 ÷ 65歳以上)

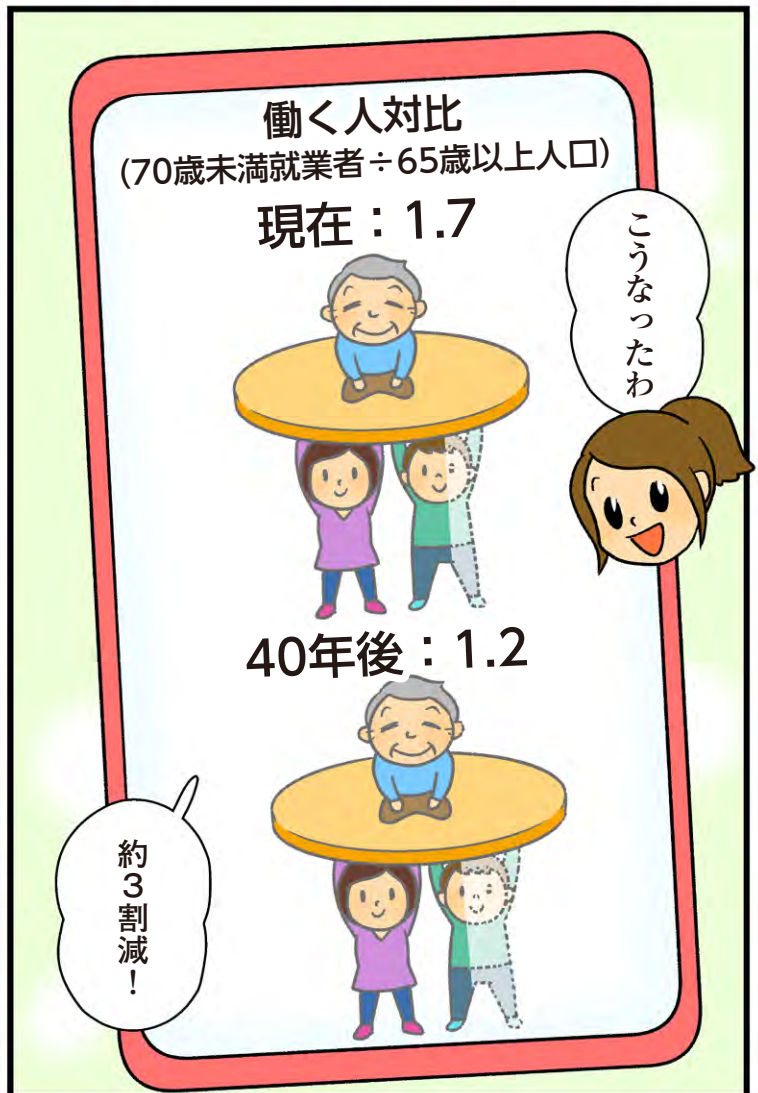
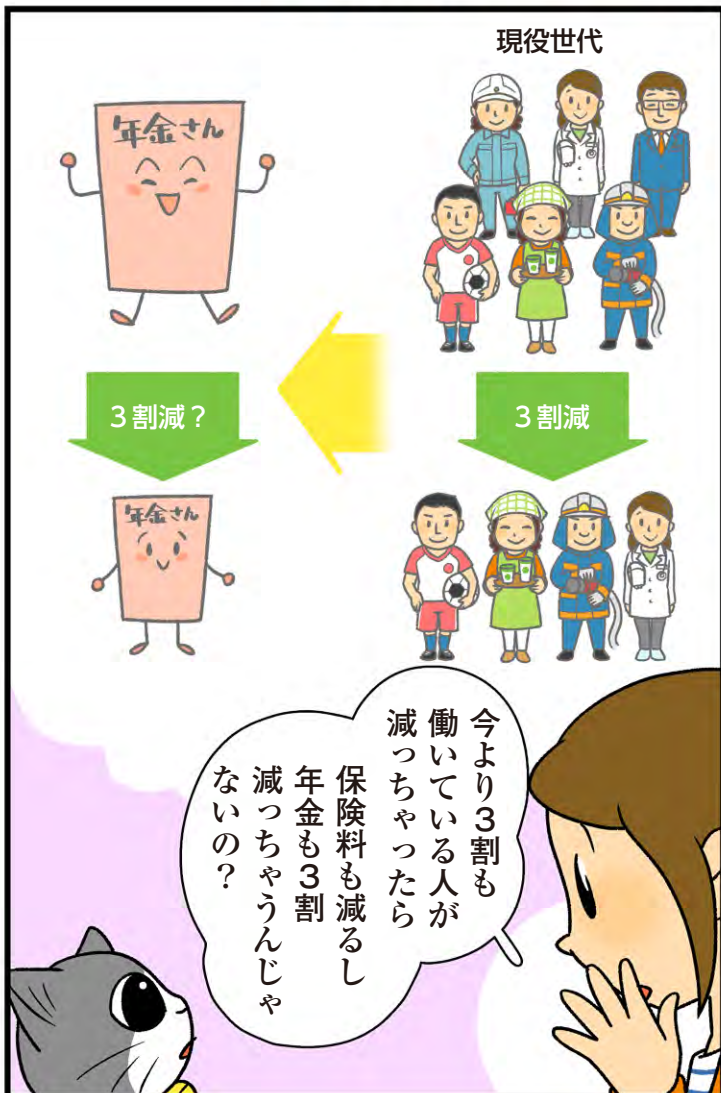
現在：1.7

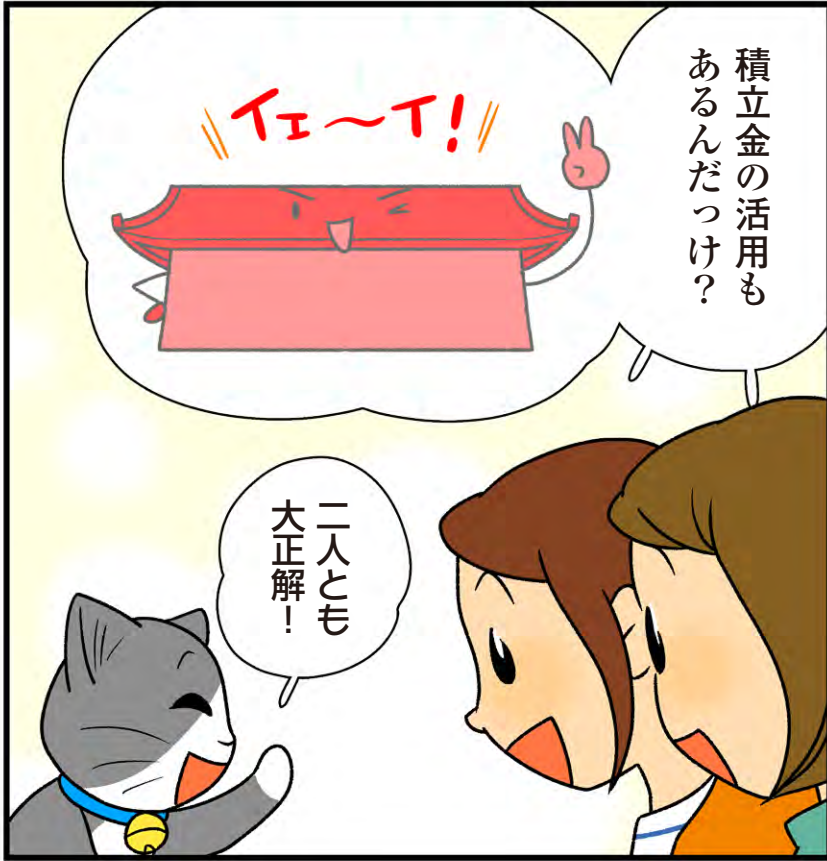
40年後：1.1

計算すると
こうなる
ニヤン!

じゃあ
少子高齢化に
注目して
所得代替率の
将来の見通しを
見てみるニヤン

まずは
現役世代が何人で
1人の高齢者を
支えることになるかを
調べてみるニヤン!

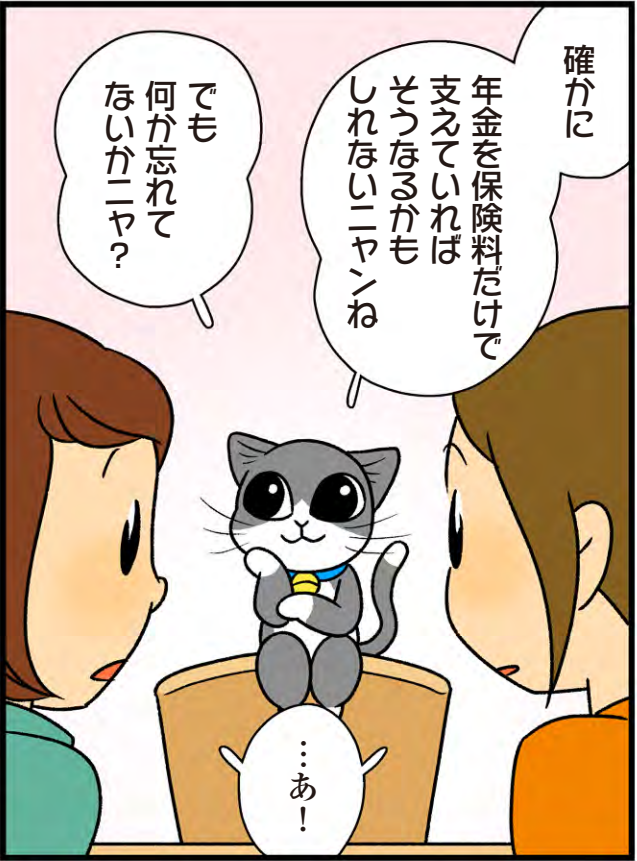




二人とも
大正解!



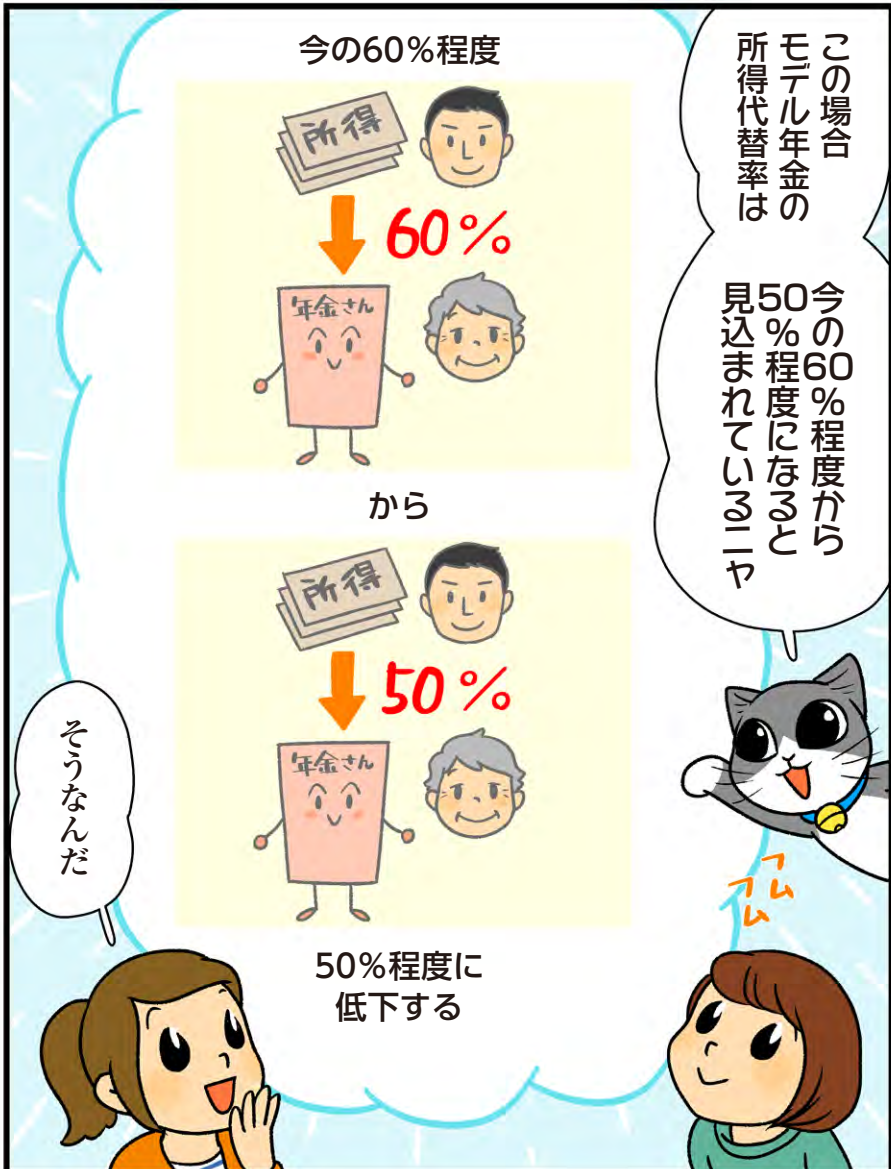
積立金の活用も
あるんだっけ?



確かに
年金を保険料だけで
支えていれば
そうなるかも
しれないニヤンね

でも
何か忘れて
ないかニヤ?

あ!



この場合
モデル年金の
所得代替率は
今の60%程度から
50%程度になると
見込まれているニヤ



経済成長と
労働参加が
進む場合には
さらに積立金を
活用すれば
将来の
所得代替率の低下は
2割ほどにとどまる
見込みだニヤン



所得代替率が下がっても…

年金さん

所得

所得代替率は
あくまで
現役世代の
所得に対する
相対的な割合だ
ニヤン

年金 ↓ アップ

賃金 ↓ アップ

年金さん

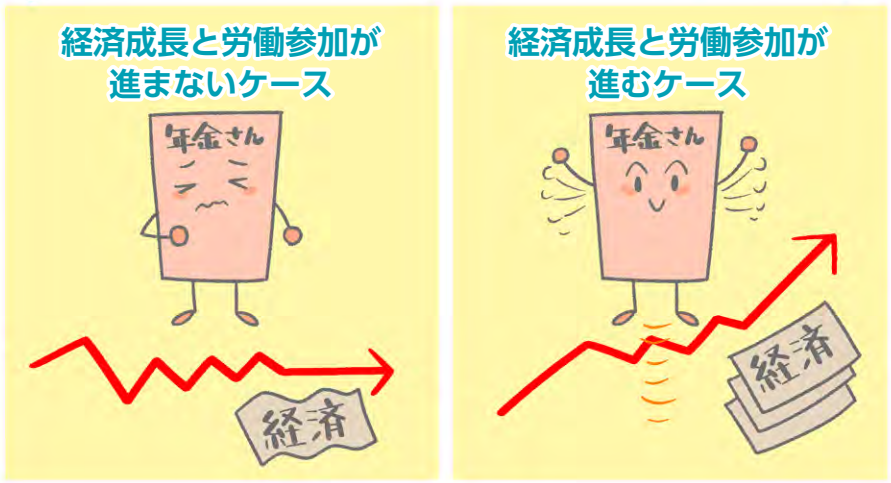
所得

だから
現役世代が豊かになって
実質賃金[※]が上がれば
所得代替率は
下がっても
年金の実質価値は
維持されたり
上がったたりすること
もあるニヤン

となる場合も

※物価の変動を考慮した賃金のこと





などなど…



財政検証では
色々なケースを
想定していて
それぞれのケースでの
試算結果を示している
ニヤン



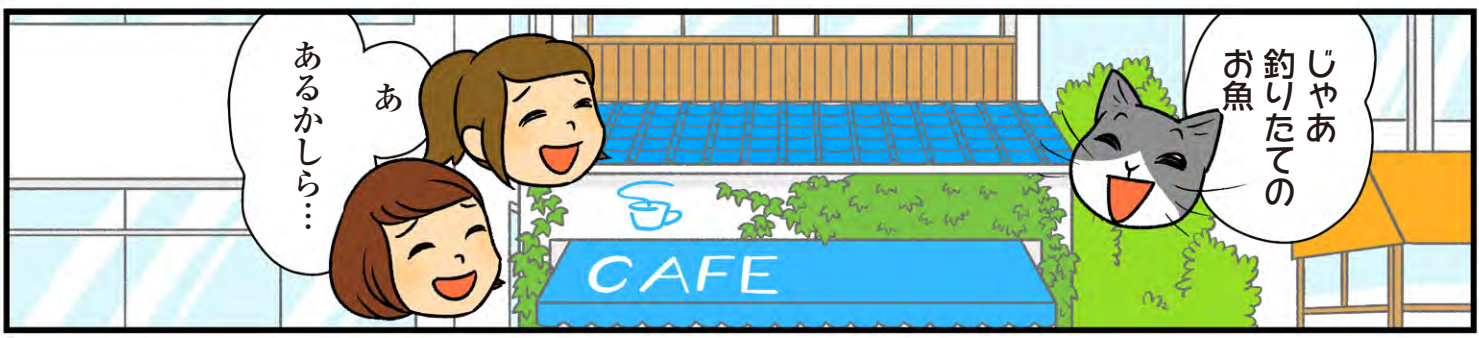
勉強に
なったらわ

ミーコ
好きなもの
注文して
レクチャー代よ



そうだ
ニヤン!

つまり
経済が成長して
より多くの人が
働ける社会を
作っていけるかが
カギってことね



あ
あるかしら…

じゃあ
釣ってたの
お魚

A.10

「所得代替率」は、経済成長と労働参加が進む場合、2割程度の低下にとどまる見通し。「年金の実質価値」は、現役世代の実質賃金が上がれば、維持されたり上がったりすることもある。

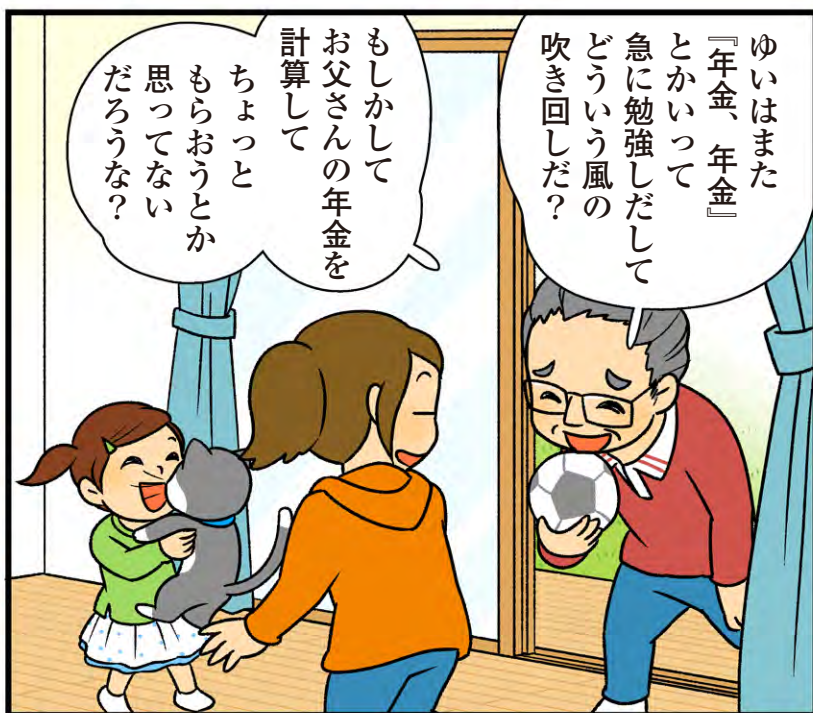
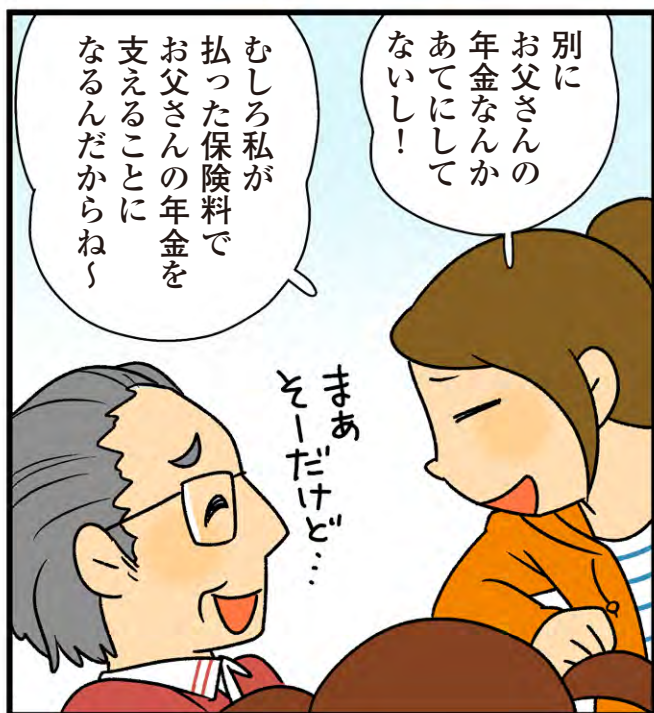
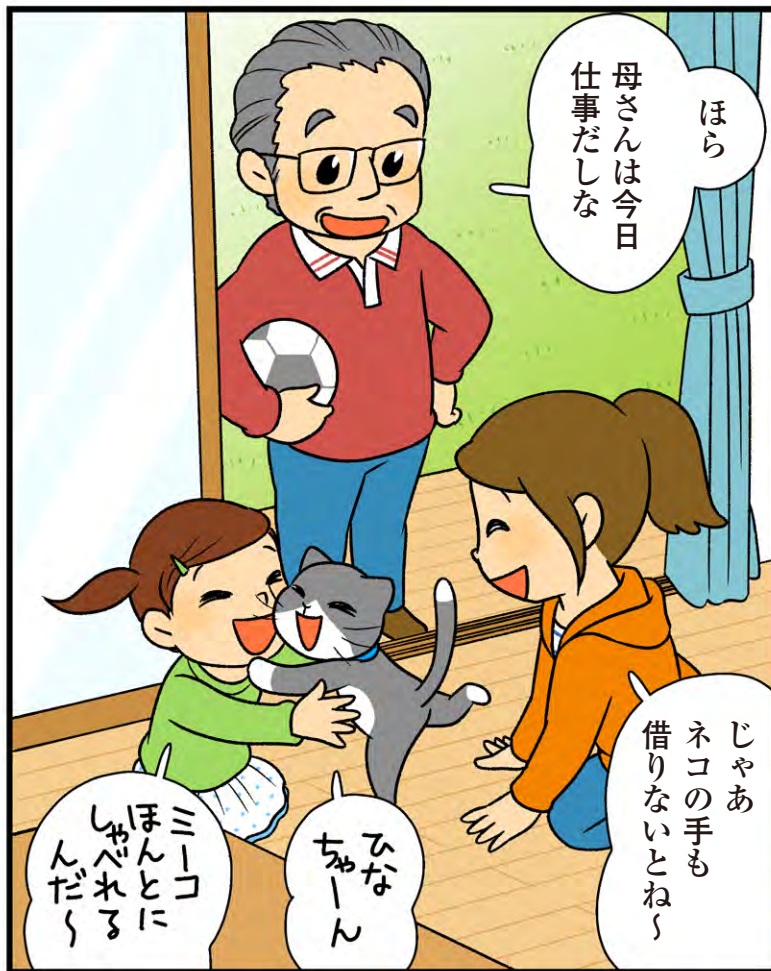




Q.11

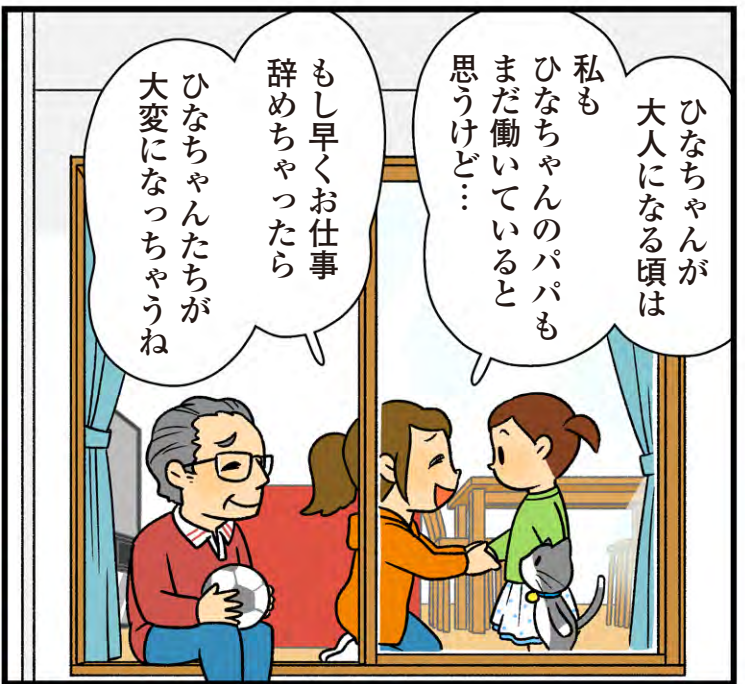
年金制度を支えるために、現役世代はもっと働かなきゃいけないの？





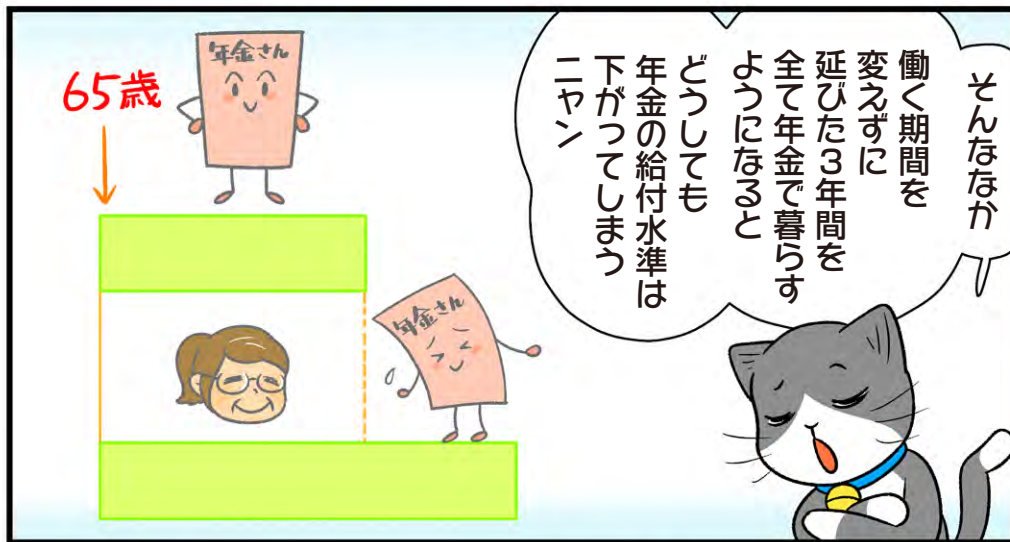


長く働くことは
より若い世代と一緒に
高齢化した社会を
支えていくためにも
重要なんだニヤ



ひなちゃんが
大人になる頃は
私も
ひなちゃんのパパも
まだ働いていると
思うけど...

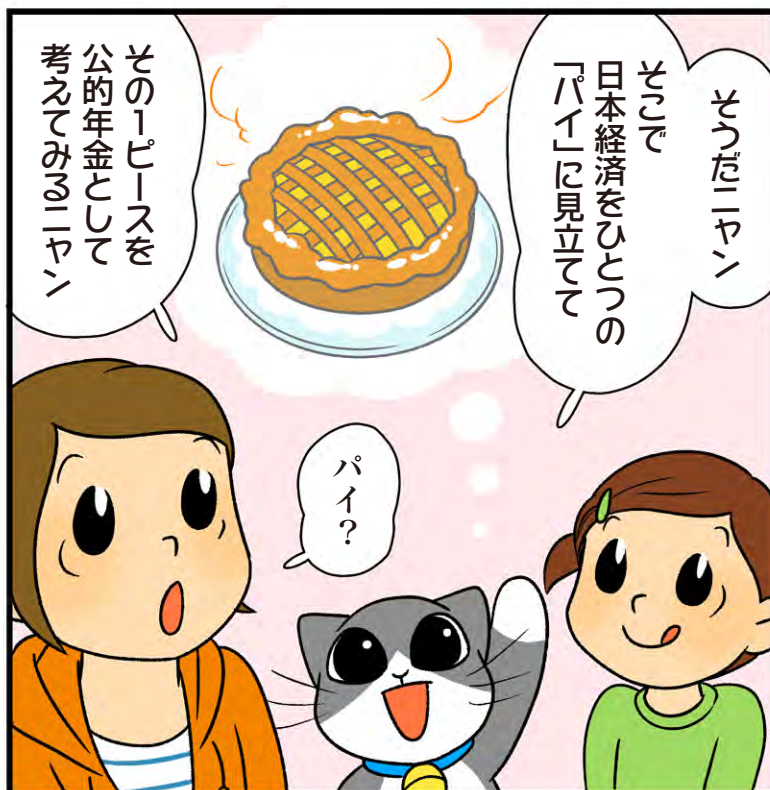
もし早くお仕事
辞めちゃったら
ひなちゃんたちが
大変になっちゃうね



そんななか
働く期間を
変えずに
延びた3年間を
全て年金で暮らす
ようになる
どうしても
年金の給付水準は
下がってしまう
ニヤン



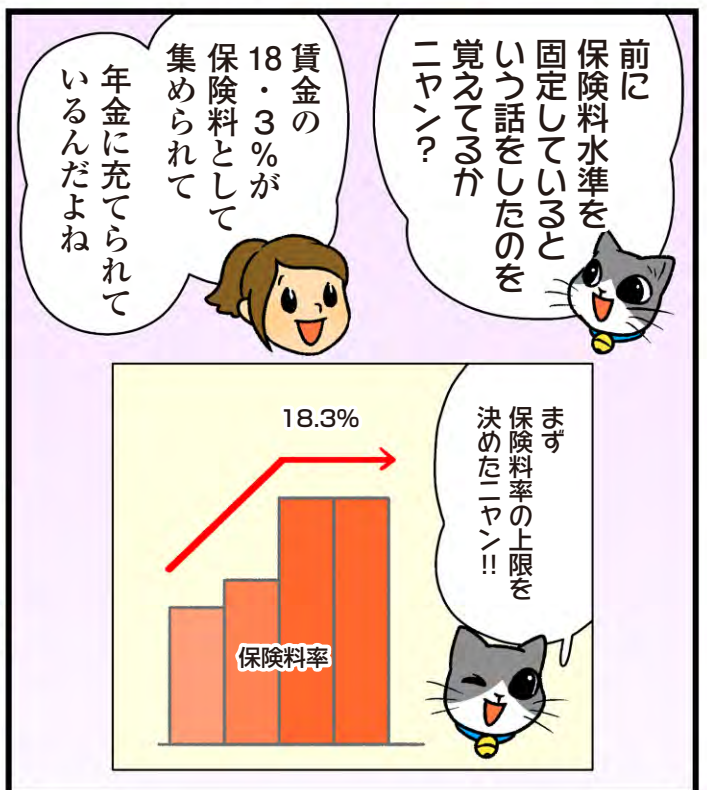
ユイちゃんが
65歳になる
ころ
65歳の余命は
今より約3年
延びる見通しだ
ニヤ



そのピースを
公的年金として
考えてみるニヤン

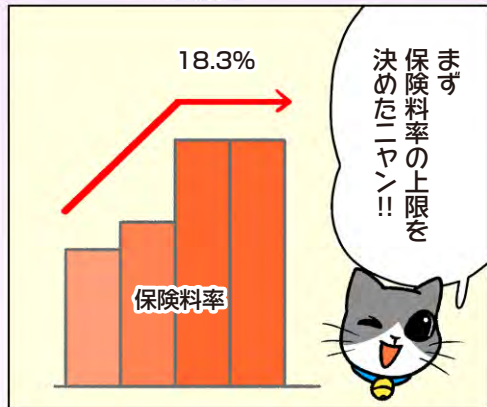
そうだニヤン
ところで
日本経済をひとつの
「パイ」に見立てて

パイ?

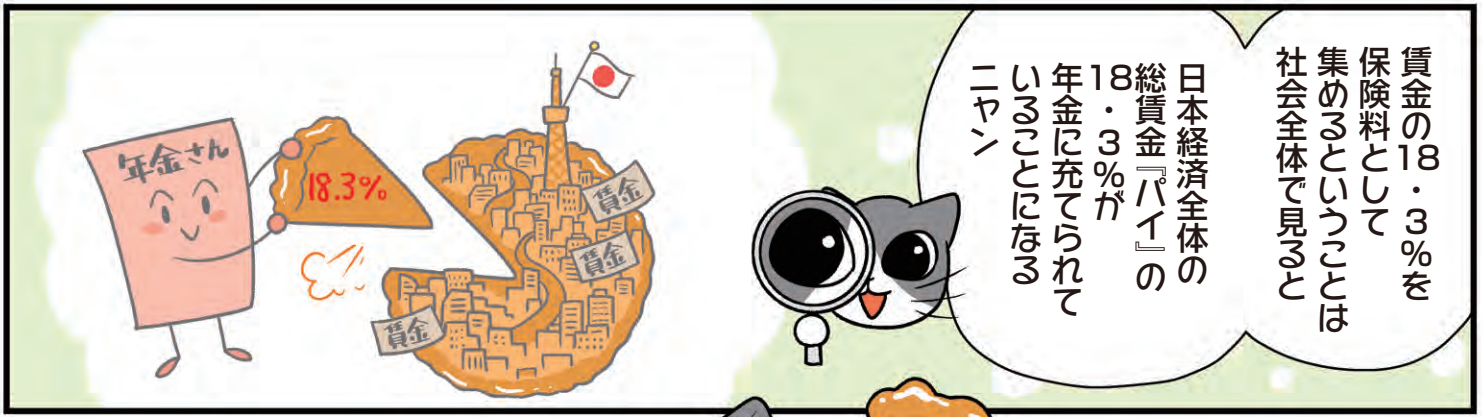


賃金の
18.3%が
保険料として
集められて
年金に充てられて
いるんだよね

前に
保険料水準を
固定していると
いう話をしたのを
覚えてるか
ニヤン?



まず
保険料率の上限を
決めたニヤン!!



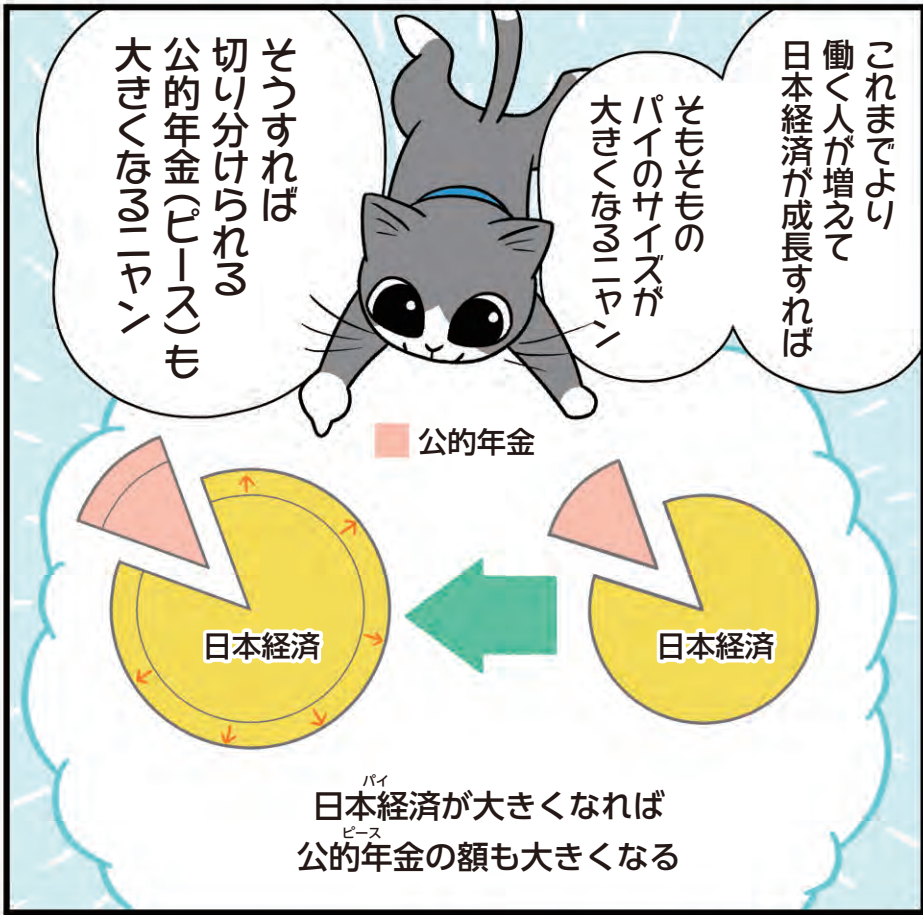
賃金の18・3%を
保険料として
集めるといことは
社会全体で見ると

日本経済全体の
総賃金『パイ』の
18・3%が
年金に充てられて
いることになる
ニヤン



高齡化が進んでも
若い世代の負担は
これ以上増えない！
とうとうパイは
なニヤン

つまり
保険料を固定
するってことは
年金に
振り分ける
パイの割合は
1ピース分
変わらず



これまでより
働く人が増えて
日本経済が成長すれば

そもそも
パイのサイズが
大きくなるニヤン

そうすれば
切り分けられる
公的年金(ピース)も
大きくなるニヤン

日本経済が大きくなれば
公的年金の額も大きくなる



でもそれだと
若い世代の負担は
増えないかも
だけど

寿命が延びて
高齡者が増えると
1人当たりの
パイの大きさは
小さくなるん
だよな？



いや
そうとは
限らないニヤ！

要はMサイズの
1ピースより
Lサイズの
1ピースの方が
大きくなるって
ことね!?

そうだ
ニヤ!!

こういうことは
年金の給付水準が
下がるのは
避けられないのか…

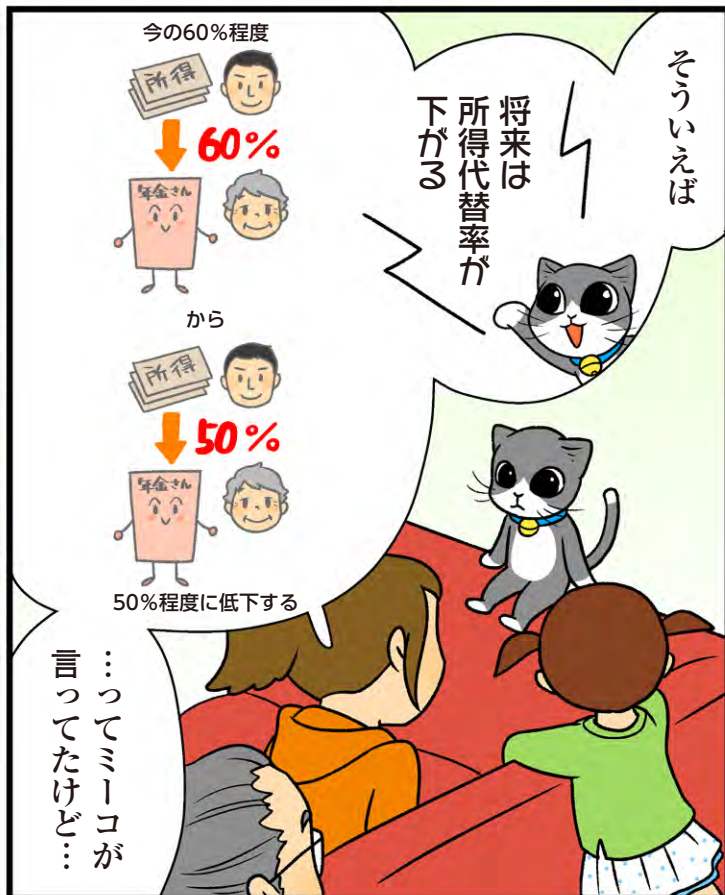


おじいちゃん
おばあちゃん
孫に何か
買ってあげる
こととかも
できなく
なっちゃう
のかな…



それって
私たちが
高齢者になった
ときの年金は

現役世代の
この子たちの
収入に比べると
だいぶ少なく
なっちゃうって
ことだよ



そういえば
将来は
所得代替率が
下がる

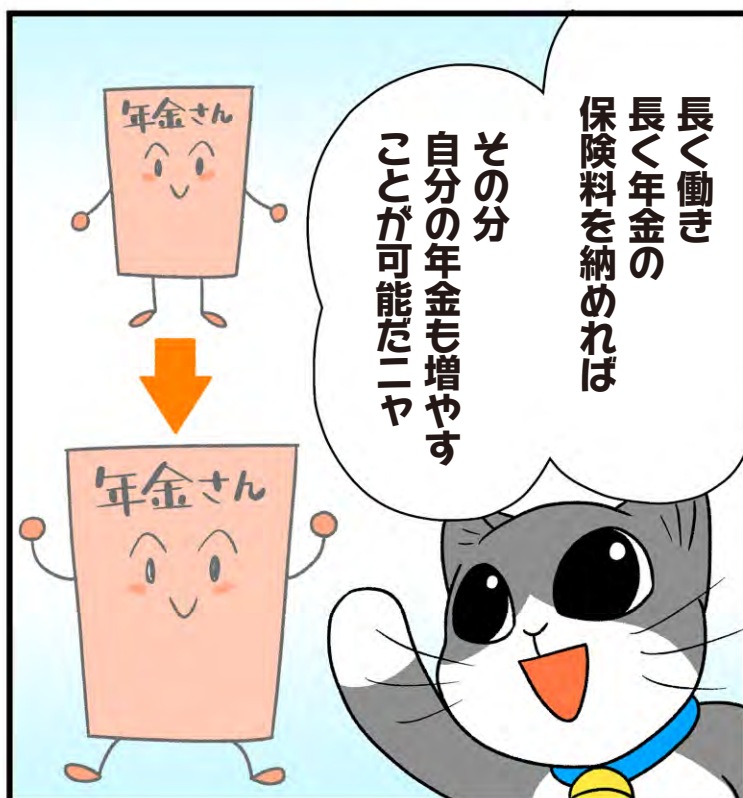
…ってミコが
言ってたけど…

※詳しくは10話を参照

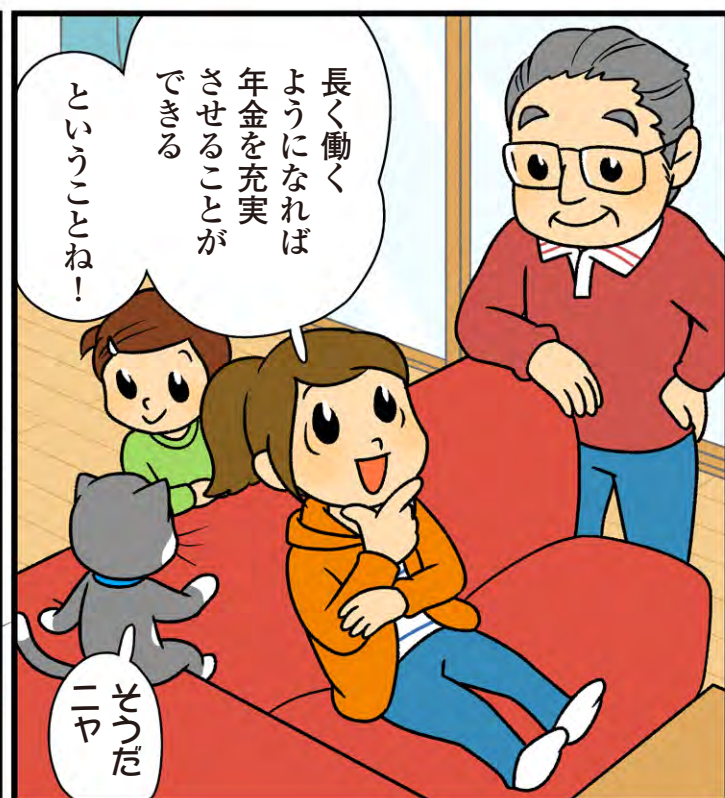


それは
働く期間が
今と変わらない
場合だニヤ!

あ…

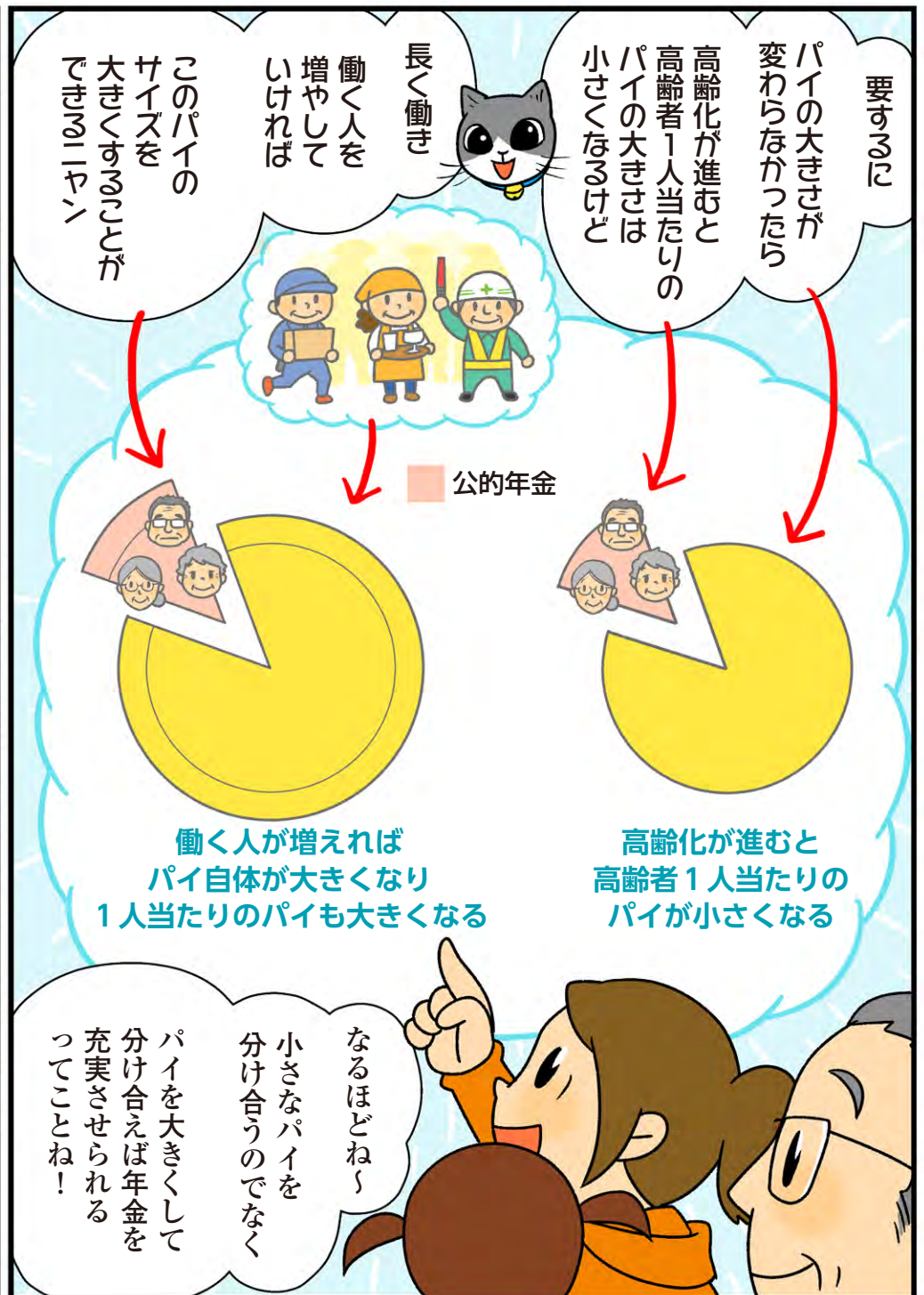
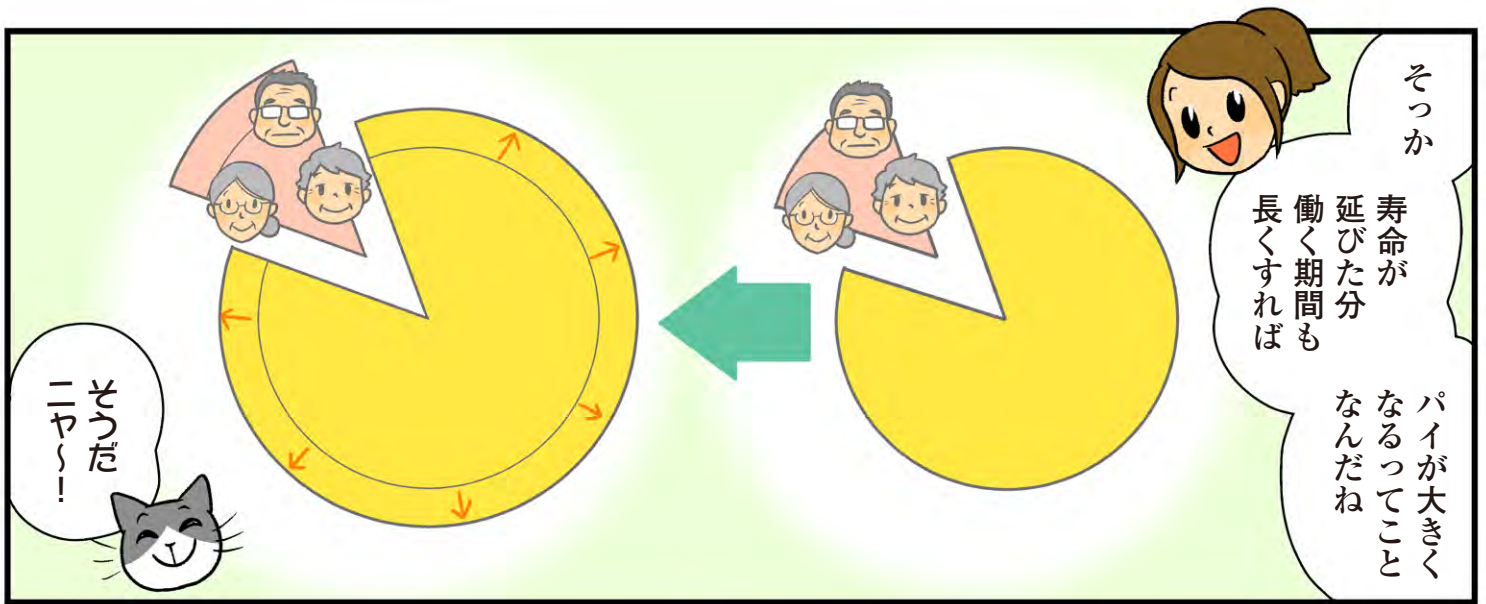


長く働き
長く年金の
保険料を納めれば
その分
自分の年金も増やす
ことが可能だニヤ

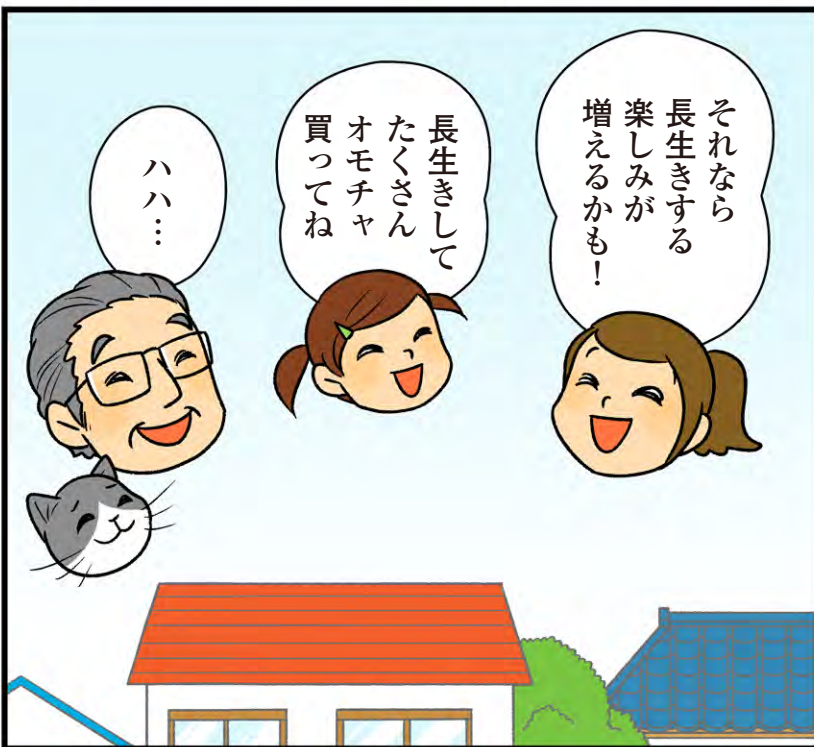


長く働く
ようになれば
年金を充実
させることが
できる
ということね!


そうだ
ニヤ



- 年金の受給開始年齢は原則65歳だが、最大75歳（2021年度までは70歳）まで繰り下げることができる
- 65歳に達した月から1カ月繰り下げごとに、受給額が0.7%ずつ増額
- 75歳まで繰り下げると受給額は最大で84%の増額



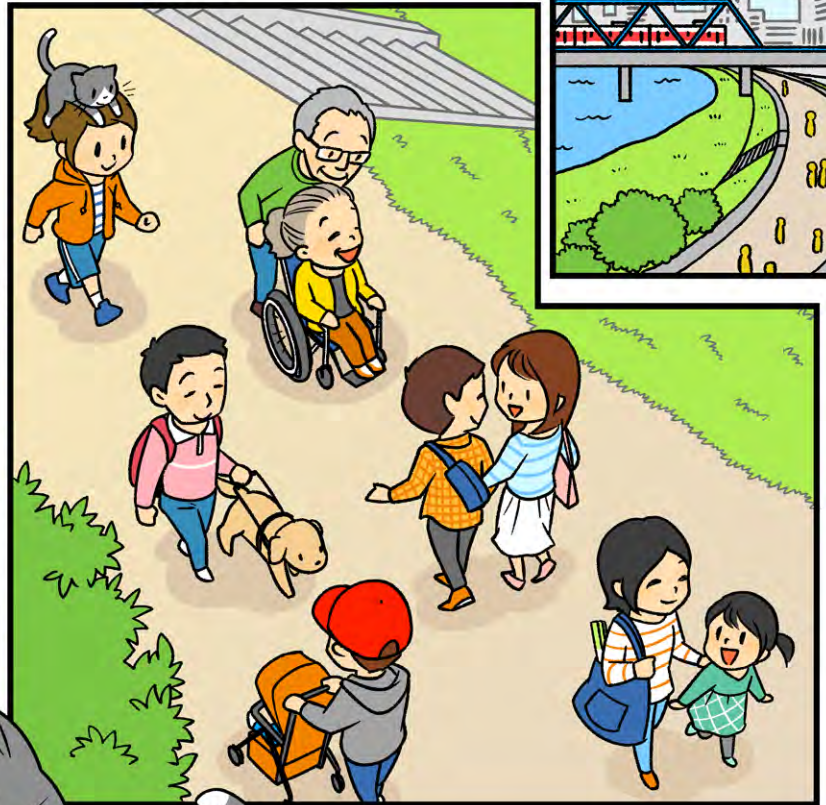
A.11 寿命が伸びるなか、より多くの人々が長く働ける社会を作れば、将来の自分たちの年金を充実させることができる。





Q.12

年金制度はいまの仕組みの ままでいいの？



こうやってみんなが笑顔でいるのを見ると
安心して暮らせることがいかに大切かってしみじみしちゃうよね

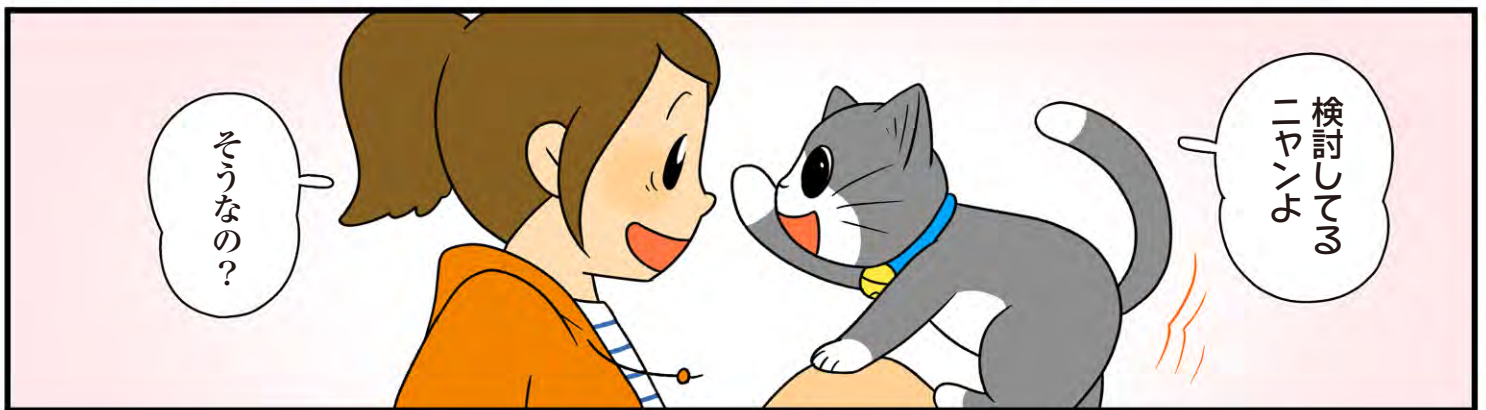
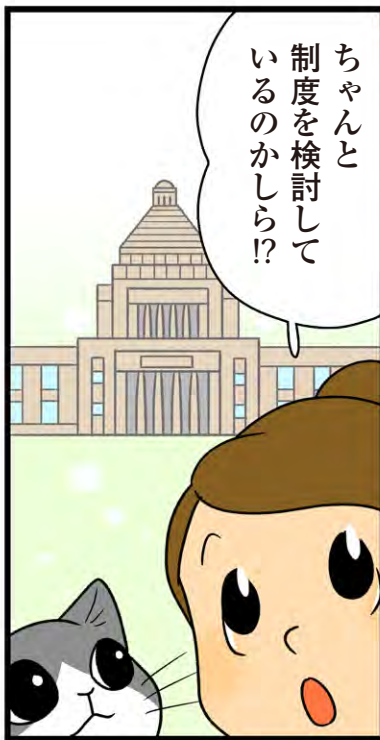
そうだニヤ

みんなが安心して暮らせる世の中になれば
より笑顔が増えてより豊かになるニヤ

自分の未来のためにもいい社会を創っていききたいね

そうニヤンね!!

年金なんて自分には関係ないずっと
未来の話だって思ってたけど
知れば知るほど
結局
未来の年金はこれからの「社会」をどう創っていかなんだなってわかってきたよ



※詳しくは7話を参照

2019年の
財政検証の結果を
見てみるニヤ

2019年財政検証のオプション試算では
寿命が伸び、長く多様に働く社会の変化を踏まえ
年金制度の見直す観点から、以下の2つについて
現行制度を変えた場合の試算を実施

- 被用者保険のさらなる適用拡大
- 保険料拠出期間の延長と
受給開始時期の選択

被用者保険の
さらなる
適用拡大って？

例えば

短時間で働く人が
もっと厚生年金に加入する

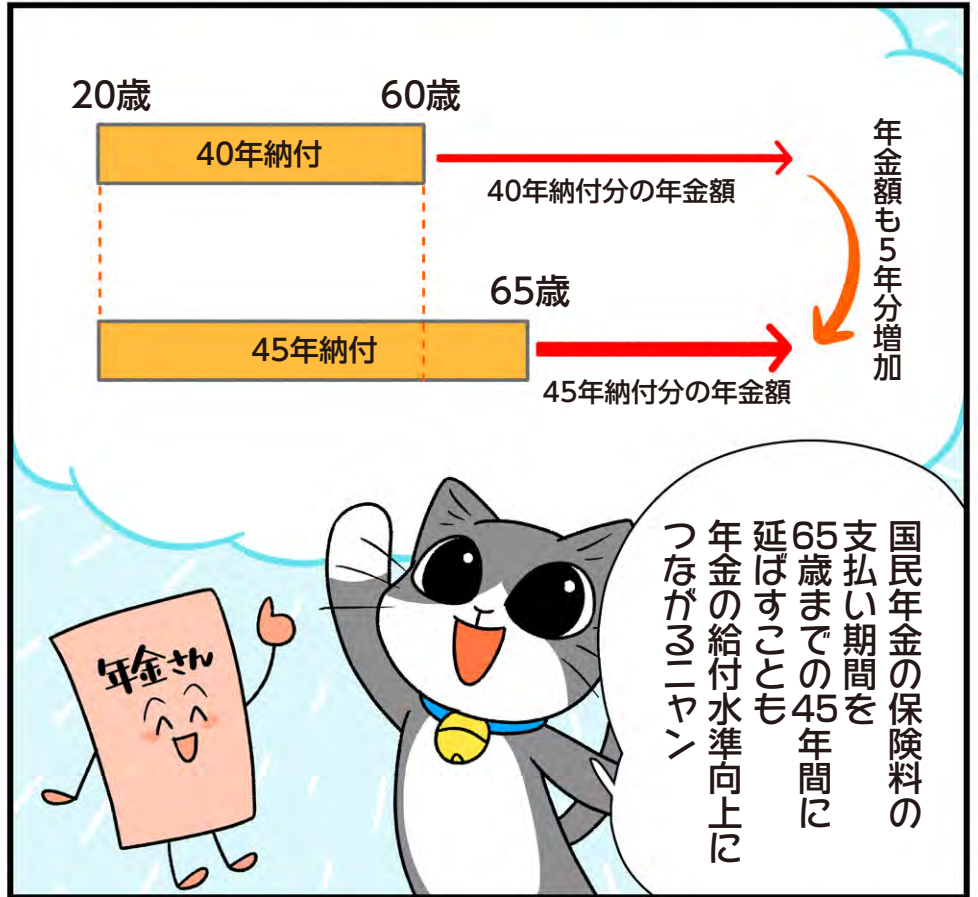
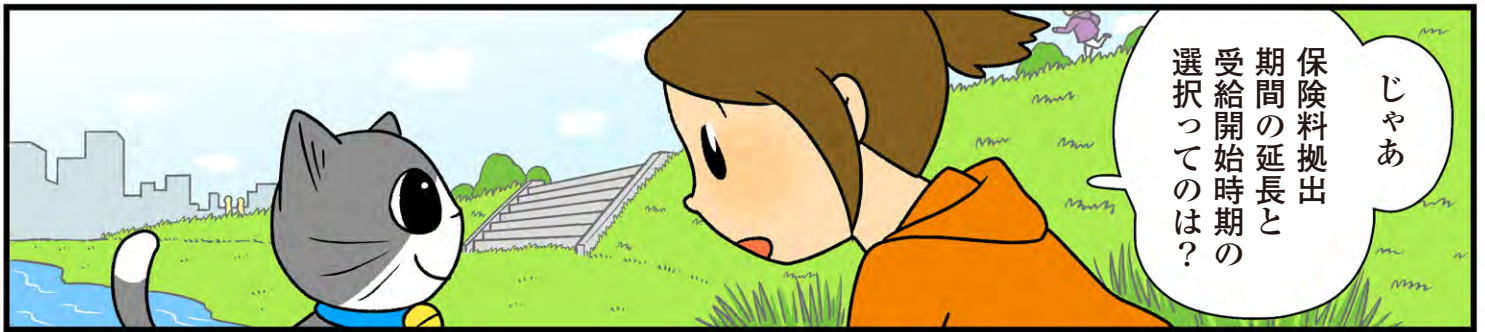
など…

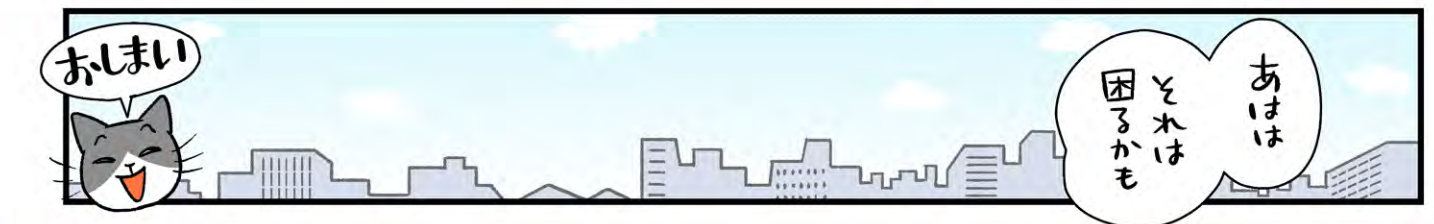
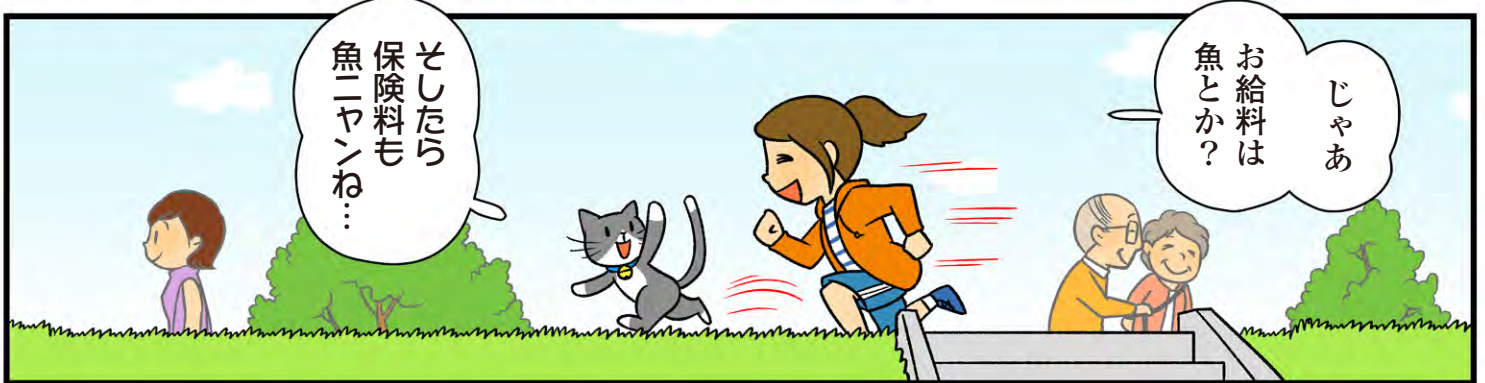
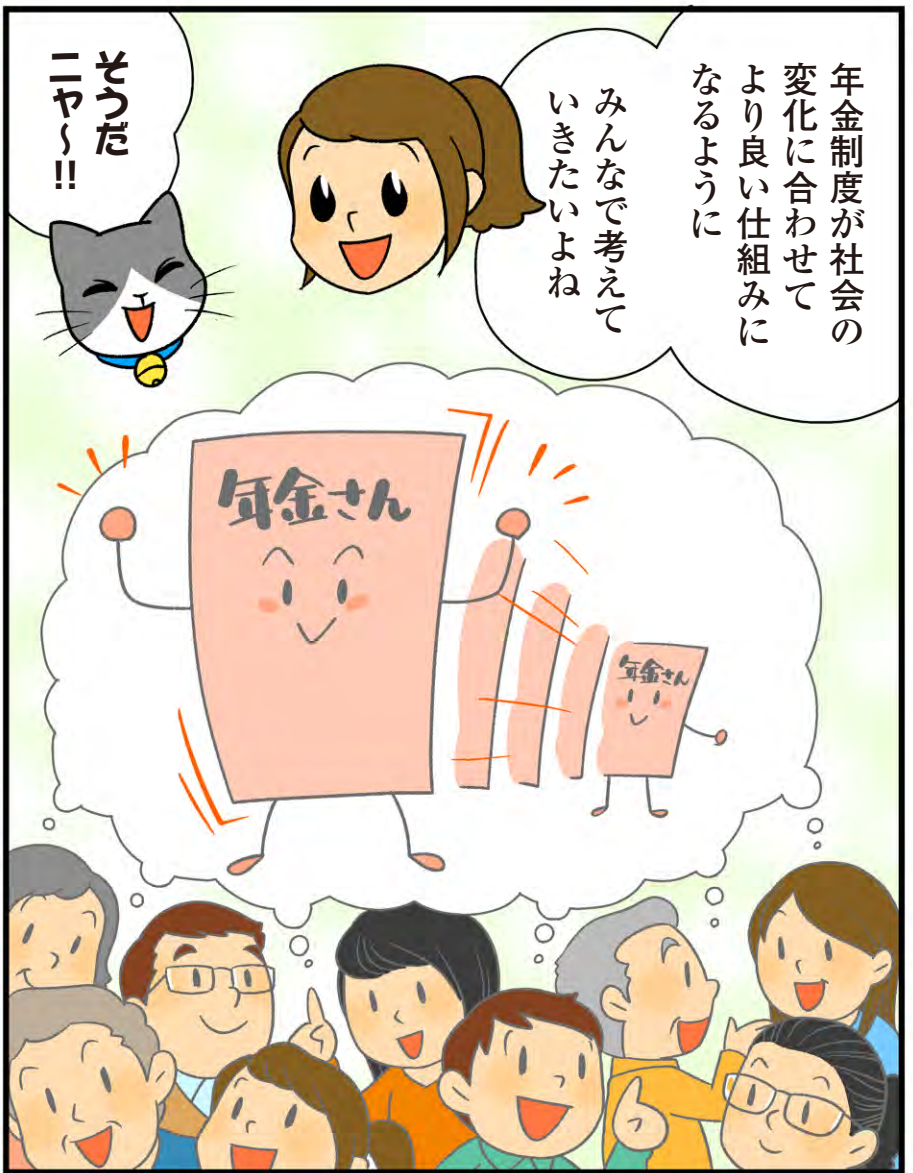
厚生年金加入対象者の
範囲が広がれば
年金の給付水準が
上がることも
分かったニヤン

へえ

厚生年金の
加入者が増えると

その人だけじゃなくて
みんなの年金が
底上げされるんだね





A.12

これからも社会が変化していくなかで、より良いものにするためにも、年金制度に（これからの見直しにも）関心を持ってみんなで考えていこう。

